

事業評価結果(No.1～No.182)

No.1	事務事業名	広聴広報事業			評価に対する今後の方向性	②維持・充実								
事業内容	<p>市長への手紙を受付・回答することにより、市政に対する皆さんの率直なご意見、ご提言をいただく。 infoメール(北杜市総合お問い合わせメール)の受付・回答により、手軽にお問い合わせいただく。 広報紙を作成し、月1回(毎月1日、18,300部)発行することにより、市の主要施策、事業やイベントなどの周知を行う。</p>				<p>市長への手紙は、本来の目的である市政への提言・意見という趣旨が薄れ、苦情の利用が多いため、制度のあり方を検討する必要があります。 infoメールは、回答までの時間も短く、有効に機能しています。 広報紙では、求められるニーズを把握し、市民の方が必要としている情報を提供していきます。</p>									
指標に係る評価														
事業費	19,182千円	活動指標	<table border="1"> <tr><td>市長への手紙</td><td></td></tr> <tr><td>目標</td><td>250</td></tr> <tr><td>実績</td><td>280</td></tr> <tr><td>単位</td><td>件</td></tr> </table>	市長への手紙		目標	250	実績	280	単位	件	達成率	<p>市長への手紙を、年間280受付・回答しました。 infoメールを、年間253件受付・回答しました。 広報紙を月1回(毎月1日、18,300部)発行しました。</p>	
市長への手紙														
目標	250													
実績	280													
単位	件													
担当課	北杜未来部秘書広報課	成果指標	<table border="1"> <tr><td>アンケート①市の広報や公開情報を見聞していますか</td><td></td></tr> <tr><td>目標</td><td>240</td></tr> <tr><td>実績</td><td>466</td></tr> <tr><td>単位</td><td>件</td></tr> </table>	アンケート①市の広報や公開情報を見聞していますか		目標	240	実績	466	単位	件	達成率	<p>広報・情報発信の充実により、多くの方に本市の魅力について興味を持っていただくため、北杜市魅力発信委員会を設置し、情報発信の方向性及び方法、内容について、ご意見をいただいた。R5年は委員会を年3回開催し、委員の皆様からは、広聴広報の内容について一定の評価をいただくとともに、課題も挙げられた。</p>	
アンケート①市の広報や公開情報を見聞していますか														
目標	240													
実績	466													
単位	件													

No.2	事務事業名	ホームページ等による情報提供事業			評価に対する今後の方向性	②維持・充実								
事業内容	<p>魅力発信委員(職員等)のHP編集SHIRASAGIの操作研修を行い、広く市の情報等を発信できる体制をつくる他、保守業者と連携し保守体制の充実を図る。</p>				<p>ホームページ記事について、庁内魅力発信委員にイベント終了期限の設定していただくため、北杜市魅力発信委員会を設置し、情報発信の方向性及び方法、内容について、ご意見をいただいた。R5年は委員会を年3回開催し、委員の皆様からは、広聴広報の内容について一定の評価をいただくとともに、課題も挙げられた。</p>									
指標に係る評価														
事業費	6,265千円	活動指標	<table border="1"> <tr><td>庁内魅力発信委員研修</td><td></td></tr> <tr><td>目標</td><td>1</td></tr> <tr><td>実績</td><td>1</td></tr> <tr><td>単位</td><td>回</td></tr> </table>	庁内魅力発信委員研修		目標	1	実績	1	単位	回	達成率	<p>庁内魅力発信委員研修を4月に行い、各担当課で記事を更新し新しい情報をHP閲覧者に発信する。 事業終了年月が設定されず、事業終了後も掲載される事例があったため回覧で周知改善を求めた。</p>	
庁内魅力発信委員研修														
目標	1													
実績	1													
単位	回													
担当課	北杜未来部秘書広報課	成果指標	<table border="1"> <tr><td>アクセス数</td><td></td></tr> <tr><td>目標</td><td>4,000,000</td></tr> <tr><td>実績</td><td>4,234,304</td></tr> <tr><td>単位</td><td>件</td></tr> </table>	アクセス数		目標	4,000,000	実績	4,234,304	単位	件	達成率	<p>ホームページビュー数は、前年の4,496,086件から4,234,304件へ9.41%減。</p>	
アクセス数														
目標	4,000,000													
実績	4,234,304													
単位	件													

No.3	事務事業名	ケーブルテレビ事業			評価に対する今後の方向性	④方法改善								
事業内容	<p>北杜市の情報を提供し、いきいきとした市の姿を伝えることで市民の一体感を育てる。 週刊ほくとニュースを、月～日 2回(19:30、22:30放送する。</p>				<p>引き続き「週刊ほくとニュース」の周知活動を行なうとともに、多くの市民ニーズに応えるために様々な内容のニュースを放送していく必要がある。</p>									
指標に係る評価														
事業費	27,495千円	活動指標	<table border="1"> <tr><td>週刊ほくとニュースの放送回数</td><td></td></tr> <tr><td>目標</td><td>14</td></tr> <tr><td>実績</td><td>14</td></tr> <tr><td>単位</td><td>回</td></tr> </table>	週刊ほくとニュースの放送回数		目標	14	実績	14	単位	回	達成率	<p>平成29年度に実施した番組アンケート結果で朝～昼の視聴者が少ないため平日は19時30分と22時30分の2回放送に変更。視聴者の声を聞きより良い番組作りを心がけた。また令和4年度からは月曜～日曜日まで毎日19時30分と22時30分の2回放送を実施。</p>	
週刊ほくとニュースの放送回数														
目標	14													
実績	14													
単位	回													
担当課	北杜未来部秘書広報課	成果指標	<table border="1"> <tr><td>アンケート①市の広報や公開情報を見聞していますか</td><td></td></tr> <tr><td>目標</td><td>457</td></tr> <tr><td>実績</td><td>466</td></tr> <tr><td>単位</td><td>件</td></tr> </table>	アンケート①市の広報や公開情報を見聞していますか		目標	457	実績	466	単位	件	達成率	<p>令和3年度導入のLINEや既存のYouTubeでいつでも北杜市CATVニュースを視聴できる状況になっている。</p>	
アンケート①市の広報や公開情報を見聞していますか														
目標	457													
実績	466													
単位	件													

事業評価結果(No.1～No.182)

No.4	事務事業名	地域力創造アドバイザー事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	各課で抱える課題等の解決に向け、アドバイザーによる研修会を開催 令和6年1月11日、12日 2回開催			多様化、複雑化する市民ニーズへの対応、新たな課題への対応や継続事業の改善等を鑑み、現状を維持していくことが必要と考えます。		
指標に係る評価						
事業費	0千円	活動指標	地域力創造アドバイザーへの相談件数	達成率	令和5年度は研修会がメインとなったため、これまで以上に多くの職員に対して研修を行うことができましたが、一方で、各課がアドバイザーから相談を受ける機会が少なくなっていました。	
			目標	4		B
			実績	1		
単位	件					
担当課	北杜未来部政策推進課	成果指標	アドバイスにより改善等が図られた件数	達成率	研修会の内容等について、参加者の満足度は高かったものの、アドバイザーからの助言を受けられる機会が少なかったため、解決に至った案件が減ってしまいました。	
			目標	4		B
			実績	1		
単位	件					

No.5	事務事業名	政策調査事業		評価に対する今後の方向性	⑥縮小・継続	
事業内容	地域の諸課題や社会情勢の現状を的確に把握するための各種調査を実施する。			主要施策の検討における基礎調査がスムーズに実施でき、迅速な検討が可能となりましたが、予算規模については市政の状況を考慮しながら再度検討が必要と考えられます。		
指標に係る評価						
事業費	0千円	活動指標	各種調査の実施	達成率	令和5年度については、本事業を活用して調査等を行う必要がある案件がありませんでした。	
			目標	3		C
			実績	0		
単位	件					
担当課	北杜未来部政策推進課	成果指標	政策検討時の基礎資料となった件数	達成率	令和5年度については、調査等を行わなかったため、成果として残せませんでした。	
			目標	3		C
			実績	0		
単位	件					

No.6	事務事業名	行政改革推進事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・推進体制 行政改革推進本部を中心に行政改革に係る重要事項や組織横断的な課題等の検討を行う。また、チェック機能として、有識者等から構成される行政改革推進委員会に進捗等を報告するとともに、専門的知見や市民目線からの提言・評価を踏まえ、必要な見直し、改善等を図る。 ・進行管理及び取組状況の公表 取組を着実に推進するため、具体的な活動目標を設定したアクションプランに基づき、適切な進捗管理を行うとともに、市民に対し、毎年度の取組状況の評価結果を公表する。 			当該年度の検証を行い、次年度以降、更に改善を図る中で目標達成に向けた取組を進めていきます。		
指標に係る評価						
事業費	57千円	活動指標	北杜市行政改革推進委員会の開催回数	達成率	北杜市行政改革推進委員会を開催し、令和5年度のアクションプランに基づく取組状況の評価結果等に対する意見をいただきました。各委員からいただいた意見を踏まえ、評価結果の見直しを検討するとともに、次年度以降の取組の参考とさせていただきます。	
			目標	1		A
			実績	1		
単位	回					
担当課	北杜未来部政策推進課	成果指標	取組項目における達成状況	達成率	69の取組項目数に対し、54項目、約78%の達成状況であります。	
			目標	69		B
			実績	54		
単位	項目					

事業評価結果(No.1～No.182)

No.7	事務事業名	公共施設等総合管理計画推進事業			評価に対する今後の方向性	⑥縮小・継続
事業内容	「北杜市公共施設等総合管理計画」に基づき、公共施設等の最適配置と財政規模に応じた更新等の対策費用の平準化を実践していくための基本方針や方向性、年次計画を定める「個別施設計画」を策定し、PDCAサイクルを構築する中で計画の進行状況を着実に進める。				個別施設計画に基づき、毎年、PDCAサイクルによりフォローアップを行っていきます。	
					指標に係る評価	
事業費	11,972千円	活動指標	北杜市公共施設等総合管理計画推進本部会議の開催		達成率	個別施設計画の策定に当たり、当初予定したとおり推進本部会議を開催しました。
			目標	4	A	
			実績	4		
単位	回					
担当課	北杜未来部政策推進課	成果指標	計画の評価に基づく達成状況		達成率	個別施設計画の開始年度が令和6年度からであるため、達成状況の評価は令和7年度に実施することとなります。
			目標	80	/	
			実績	-		
単位	%					

No.8	事務事業名	新庁舎建設推進事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	市役所本庁舎の位置を始めとした今後の整備の方向性について、「市役所の位置、総合支所のあり方庁内検討委員会」を開催し、検討を進める。				新・行政改革大綱に基づき、引き続き計画的に取組を進めていきます。	
					指標に係る評価	
事業費	1,639千円	活動指標	北杜市役所の位置、総合支所のあり方庁内検討委員会の開催		達成率	市役所本庁舎の整備を推進するため、庁内検討委員会を当初の目標以上に開催し、協議を進めました。
			目標	1	A	
			実績	2		
単位	回					
担当課	北杜未来部政策推進課	成果指標	新・行政改革大綱アクションプランに基づく進捗状況		達成率	新・行政改革大綱の年次計画に基づき、取組を実施することができました。
			目標	100	A	
			実績	100		
単位	%					

事業評価結果(No.1～No.182)

No.9	事務事業名	未来創造オープンカレッジ事業			評価に対する今後の方向性	④方法改善	
事業内容	産業(ヘルスケア、IT、アウトドア、食品、農業等)、芸術・文化、子育て、教育、環境など、本市の活力ある未来を創るうえで必要な各分野に係る対談及び講演会を開催する。				講師の理解を得る中で、YouTubeライブ配信を実施することで、視聴者の増加を図っていきたい。 また、令和6年度は合併して20周年となるため、幸せを実感できるまちの実現に向け、特に未来を担う若者世代を対象とした講演会を開催するとともに、北杜市に生まれてよかった、住んでよかったと思えるようシビックプライドの醸成も図りたい。		
指標に係る評価							
事業費	914千円	活動指標	セミナー開催回数		達成率	A	本市にゆかりのある各界の著名人を選考し、セミナー等は、計画通りに開催することができた。
			目標	3			
			実績	3			
		単位		回			
担当課	北杜未来部未来創造課	成果指標	イベント等の参加人数		達成率	B	セミナーへの参加目標人数を集客することができなかった。SNSや広報、チラシなどを配布することにより、さらに多くの方々に聴講していただくことにより、シビックプライドに努めていく。
			目標	600			
			実績	549			
		単位		人			

No.10	事務事業名	テレワーク普及促進事業			評価に対する今後の方向性	④方法改善	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営。 コミュニティマネージャーによる企業・個人利用者同士の交流や地域住民及び地元事業者との交流を推進。 地域コミュニティの創出や地域の定着を促進。 イベント、教室など開催による利用者増を図る。 				イベントや教室等を開催することで、これまで以上に多くの方にコワーキングスペースを知っていただくことができ、情報発信を通じて、利用者の増加を目指していきます。 さらに、企業などにも利用者登録していただけるよう、積極的に働きかけを行っていく予定です。		
指標に係る評価							
事業費	1,902千円	活動指標	イベント、教室開催件数		達成率	A	地域おこし協力隊を、コワーキングスペースの管理人として、イベントを企画催行した。また、施設利用の促進のために、県内外の企業と市民の方に対して積極的に周知及び情報発信を行い、利用促進を図った。
			目標	12			
			実績	25			
		単位		件			
担当課	北杜未来部未来創造課	成果指標	コワーキングスペース施設利用者人数		達成率	A	イベントや教室等を開催したことにより施設利用者が増加しました。また、月額利用者の増加も、施設利用者の増加に寄与した。
			目標	600			
			実績	967			
		単位		人			

No.11	事務事業名	情報化推進事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	ログミーツ(議事録システム)導入し、職員の議事録作成業務の軽減を図った。専用端末及び専用マイクを購入し本庁、各総合支所(8支所)、包括支援センター、ネウボラ推進課、上下水道センターへ配布し運用を行っている。				現在は100時間/月の契約を行っております。契約プランについては、50時間・100時間・200時間とありますが、現在の利用状況を鑑みると契約状況は現状維持で問題ないと考えております。しかし、目標達成に向け、庁内の会議の際には積極的な利用を行ってもらえるよう推進してまいります。		
指標に係る評価							
事業費	660千円	活動指標	ログミーツ(議事録システム)の使用時間		達成率	B	利用時間の目的に対し十分な利用がありましたが、目標時間達成には至りませんでした。多い月は70時間使用する月もありますが、少ない月は30時間程度に止まっています。これは時期によって会議の頻度が違うためです。例えば、議会開催月や市長と語る会が開催された月、定例監査の実施月等は多くなっています。なお、業務に対する時間は引き続き削減されております。
			目標	600			
			実績	488			
		単位		時間			
担当課	北杜未来部未来創造課	成果指標	職員の議事録作成時間の短縮		達成率	A	職員の議事録作成に係る業務時間の削減に効果がありました。会議の内容は都度異なるので、定期的な会議に実際に利用した者に対しヒアリングを行い効果検証を行いました。
			目標	30			
			実績	30			
		単位		%			

事業評価結果(No.1~No.182)

No.12	事務事業名	産官学連携事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	連携協定を締結している大学等と協働して地域活性化事業等に取り組む。 山梨大学:アートマネジメント講座 東京藝術大学:生涯学習講座 北杜高校:地域に根ざした人材育成 日本体育大学:体育分野における相互振興 山梨学院大学:地域活性化と山梨学院大学の教育研究推進の連携協定 ㈱LIFULL:二拠点居住、移住定住促進の連携協定 ㈱クスリのサンロード:市民が健康的で安心して暮らせる社会の実現に向け相互に連携し市民サービスの向上を図るための協定 JETROやまなし:北杜市における企業等の海外展開を通じて地域経済の活性化を図るための協定				連携協定の締結をしたことによって、お互いの課題解決に向け、協議を重ねながら取り組み、魅力あるまちづくりを推進していく。		
					指標に係る評価		
事業費	0千円	活動指標	地域活性化事業数		達成率	A	各大学・企業との連携協定に基づき、地域課題解決を目指しております。地域活性化に向けた協定の締結を進めておりますが、連携後を中心となる部署との調整に時間が掛かっております。
			目標	1			
			実績	8			
単位	事業						
担当課	北杜未来部未来創造課	成果指標	施策提言数		達成率	A	各大学・企業が、本市をフィールドとして、地域活性化策に取り組んでいます。また、企業と協力して、本市の自然を活用しながら、市内外に魅力を発信し、シビックプライドの醸成にも努めています。
			目標	0			
			実績	0			
単位	施策						

No.13	事務事業名	国際交流事業			評価に対する今後の方向性	④方法改善	
事業内容	米国ケンタッキー州マディソン郡 大韓民国抱川市				今後グローバル化が進み、子育て世代や未来を担う若い世代に、豊かな国際感覚を持った教育環境が必要であることが見込まれることから、国際交流の推進は必要です。円安が進んでいるため、コストが今まで以上に掛かることが懸念されます。		
					指標に係る評価		
事業費	6,092千円	活動指標	マディソン郡中学生ホームステイの派遣・受入人数		達成率	B	コロナ感染症が5類に移行されたことで、マディソン郡側米国市民の受け入れが可能となりました。大韓民国抱川市の市制施行20周年に招待され、訪問した。
			目標	12			
			実績	2			
単位	人						
担当課	北杜未来部未来創造課	成果指標	中学生ホームステイ派遣者の満足度		達成率	A	令和2年に北杜市側でホームステイを受入予定でしたが、コロナウイルスの影響で受け入れができなかった子どもたちを、令和5年に受け入れし、高い評価を得ました。その他のメンバーは、甲陵高校との短期のホームステイに参加し、交流を深めました。また、令和5年はホームステイの受け入れ年として設定されていたため、成果指標(北杜市派遣者の満足度)のパーセントを0に設定しました。
			目標	95			
			実績	100			
単位	パーセント						

No.14	事務事業名	姉妹・友好都市国内交流事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	姉妹都市:新潟県上越市、東京都羽村市 友好都市:静岡県袋井市、東京都西東京市、荒川区、新宿区、東村山市 北杜市と7自治体間において、行政組織の交流に加え、各イベント等への参加などの幅広い交流活動を行う。				本事業は、継続することで定着し、効果を発揮しています。さらに、近年は災害発生時に姉妹・友好都市が相互に協力するなど、交流事業の取組みが多様化しています。このような背景をふまえ、事業の継続が必要です。また、今後は市職員と姉妹都市の市民ではなく、姉妹都市の市民同士の交流が図られるよう計画し、取組んでいく必要があります。		
					指標に係る評価		
事業費	396千円	活動指標	姉妹・友好都市の参加・受入イベント数		達成率	B	新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことにより、多くのイベントが再開された。
			目標	25			
			実績	20			
単位	回						
担当課	北杜未来部未来創造課	成果指標	姉妹・友好都市の交流人数		達成率	A	コロナ感染症が5類に移行後、交流が再開され、イベントへ参加しました。今後はさらに、市民同士の交流が図られるよう取り組んでいきます。
			目標	400			
			実績	502			
単位	人						

事業評価結果(No.1~No.182)

No.15	事務事業名	企業誘致・立地活動推進事業			評価に対する今後の方向性	②維持・充実	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内で新たに設備投資を行う企業に対し、固定資産税の課税免除措置を講ずる。 ・企業立地、企業投資を実施する際の手続き等について、企業負担の軽減を図るために支援する。 ・企業動向や事業用地などについて、情報の取得や発信に努める。 ・産業立地事業費助成金交付要綱により、県の補助制度と併せて市内に立地した企業へ助成する。 				将来、工業団地の整備をしたいとは考えていますが、計画及び整備に数年経過するため、市有地を有効活用して企業誘致を図っていきます。 また、アンテナを高く保ち、企業誘致を希望する企業が、本市にスムーズに交渉できるように努めていきます。		
					指標に係る評価		
事業費	0千円	活動指標	指定事業所の件数		達成率	C	企業ニーズに適合する立地用地の情報をできるだけ早く提供するために、情報収集を積極的に行い提供した。指定事業所の認定には至らなかった。
			目標	1			
			実績	0			
			単位	件			
担当課	北杜未来部未来創造課	成果指標	指定事業所の件数		達成率	C	目標としていた企業件数の誘致を達成することはできなかったが、引き続き、企業ニーズに適合する用地を提供し、企業誘致を図っていきます。
			目標				
			実績				
			単位				

事業評価結果(No.1～No.182)

No.16	事務事業名	市民バス運行事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	市内を4つのエリア(明野・須玉エリア、高根・長坂・大泉エリア、小淵沢エリア、白州・武川エリア)に区分し、エリアを結ぶ幹線の路線バスとエリア内の支線(デマンドバス、明野・須玉エリアは小型路線バス)による運行を、交通事業者に委託して行う。				人口は減少するものの、交通不便者の数は増加することが見込まれることから、公共交通としての市民バスの需要は高まるため、これを維持していく必要があります。引き続き、公共交通のあり方について、エリアごとに評価・検証し、市全体の公共交通として最適なものにしていきます。	
指標に係る評価						
事業費	166,025千円	活動指標	幹線の路線数	達成率	地域による議論を深め、地域の特性にあったエリアごとの支線を運行し、4つのエリア(生活圏)を有機的につなげるため、幹線を整備して一定の運行頻度を確保することにより、地域交通ネットワークを構築し、地域間移動の利便性を高めています。	
			目標	A		
			実績			
			単位		路線	
担当課	企画部企画課	成果指標	幹線の利用者数	達成率	幹線、支線ともに利用者数は増加しており、エリアをまたぐ移動を担う幹線とエリア内の移動を担う支線の組み合わせは成果を上げています。路線ごとの利用者数や1乗車当たりの運行経費等を評価・検証し、利用者数が増加するよう検証していきます。	
			目標	B		
			実績			
			単位		人	

No.17	事務事業名	廃止代替バス路線運行委託			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	韮崎市と共同で廃止代替バスの運行を交通事業者に委託し、市民の日常生活を営むために必要な交通手段を維持する。				市民の日常生活の移動手段として必要な公共交通であるため、廃止代替バス路線は維持していきます。今後、北杜市地域公共交通計画に基づき、利用促進による利用者の維持・増加を図るとともに、幹線の市民バスを含めた最適化に向けて、地域でのあり方の検討を進めます。	
指標に係る評価						
事業費	20,840千円	活動指標	廃止代替バス運行距離	達成率	民間のバス路線廃止前の路線を維持し、市民が日常生活を営むために必要な代替の交通手段を確保しました。	
			目標	A		
			実績			
			単位		キロメートル	
担当課	企画部企画課	成果指標	利用者数	達成率	乗車人数、1乗車当たりの公費負担額ともに目標値を達成する成果を得ることができたことから、廃止代替バスを維持することができます。	
			目標	A		
			実績			
			単位		人	

No.18	事務事業名	地域委員会運営事業			評価に対する今後の方向性	⑦縮小・方法改善
事業内容	各町に地域委員会委員(124名)を任命し、各地域委員会の代表者で組織する地域委員会連絡協議会を開催する。また、地域委員会委員に対し、市議会の定例会閉会後に市政報告を行う。				地域委員会連絡協議会を開催し、情報交換や検討を行い、地域委員会予算使途提案事業の全事業実施を目指します。一方、合併から19年が経過しており、地域委員会の在り方の検討、地域委員会予算使途提案事業の内容等の見直しを行います。	
指標に係る評価						
事業費	5,132千円	活動指標	地域委員会連絡協議会開催回数	達成率	各町地域委員会正副会長による地域委員会連絡協議会を開催し、地域づくりの課題解決のため、情報交換を行いました。	
			目標	A		
			実績			
			単位		回	
担当課	企画部企画課	成果指標	地域委員会予算使途提案事業の実施割合	達成率	昨年度と比較して新型コロナウイルス感染症への対応により中止とした事業が減少したことにより数値は向上しましたが、目標値達成までには至りませんでした。	
			目標	B		
			実績			
			単位		%	

事業評価結果(No.1～No.182)

No.19	事務事業名	シティプロモーション推進事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	首都圏を中心に北杜市の知名度を高めるためのプロモーション活動を行う。				継続して、移住希望者や関係人口に対し、市の魅力発信を行うため、都市部においてリアルでのイベント、プロモーション及び相談会を開催するとともに、SNS等による市の魅力発信を行う必要があります。また、イベントや相談会において移住に関するアンケートによる調査等を行い、意見を反映する中でシティプロモーションの効果を高めます。	
指標に係る評価						
事業費	1,967千円	活動指標	相談会開催数		達成率	A
			目標	30		
			実績	28		
			単位	日		
担当課	企画部ふるさと納税課	成果指標	15～49歳の転入者数		達成率	C
			目標	720		
			実績	205		
			単位	人		

No.20	事務事業名	移住定住ガイドブック作成事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	移住定住ガイドブックを作成し、トップセールス及び移住相談会において配布したり、公共施設の窓口等に設置したりする。				本市で生活することの不安を解消するため、必要な各種支援制度などを網羅したガイドブックを作成し、継続的にPRすることは必要であります。	
指標に係る評価						
事業費	575千円	活動指標	作成数		達成率	A
			目標	3,000		
			実績	3,000		
			単位	部		
担当課	企画部ふるさと納税課	成果指標	配布数		達成率	B
			目標	3,000		
			実績	2,970		
			単位	部		

No.21	事務事業名	田舎体験ツアー開催事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	農業、グルメ、しごと、子育て及び住まい等を体験してもらうことや施設を見学することのほか、先輩移住者との交流会を開催する。				移住を後押しするため、ターゲット、目的を明確にして、引き続き本市の魅力体験していただく機会を提供することは必要であります。	
指標に係る評価						
事業費	649千円	活動指標	開催数		達成率	A
			目標	2		
			実績	3		
			単位	回		
担当課	企画部ふるさと納税課	成果指標	移住相談件数(全体)		達成率	B
			目標	753		
			実績	555		
			単位	件		

事業評価結果(No.1～No.182)

No.22	事務事業名	移住定住相談推進事業		評価に対する今後の方向性	④方法改善		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・移住定住相談員を設置し、相談員が各種相談会及びセミナーに参加する。 ・ふるさと回帰支援センター等に開設する移住定住臨時相談所に、地域おこし協力隊、移住定住相談員及び職員がオンラインや対面で、移住定住に関する情報を提供する。 ・住居、空き家バンク等の移住定住に関する相談に対応するため、移住定住相談窓口において情報の提供及び発信を行う。 			移住定住を促進する上で、移住定住希望者が求める様々な情報提供やニーズに対応するため、空き店舗の利活用を含め、移住定住を円滑に進める体制を構築する必要があります。			
				指標に係る評価			
事業費	9,795千円	活動指標	空き家物件登録数		達成率	新型コロナウイルス感染症が第5類へ移行し、行動制限が緩和されたことや空き家バンクリフォーム費補助金の利用効果により、空き家バンク利用者登録や成約が増加しています。	
			目標	35			A
			実績	42			
			単位	件			
担当課	企画部ふるさと納税課	成果指標	移住相談件数		達成率	移住希望者は、メディアやSNSの情報を収集している傾向のため、相談件数は減りましたが、依然として地方移住への関心は高い状態です。	
			目標	548			C
			実績	254			
			単位	件			

No.23	事務事業名	移住促進お試し住宅事業		評価に対する今後の方向性	①拡大・充実		
事業内容	定住促進を図るため、移住希望者に、お試し住宅として市営住宅を短期間使用できるように提供する			R5年度からふるさと納税課が所管し、移住定住相談から移住体験までワンストップで対応することにより利用向上につながることから、継続して移住体験の場を提供する必要があります。			
				指標に係る評価			
事業費	742千円	活動指標	利用件数(延べ)		達成率	新型コロナウイルスの影響がないH28年度～R1年度までの実績平均を基に、R5年度所管代えにより5月から受入れを考慮し、目標を44件、271日としました。新型コロナウイルス感染症5類へ移行となったこともあり、また、提供する市営住宅の間取りを1LDKから3LDKとしたことにより、利用状況が向上しました。	
			目標	44			B
			実績	36			
			単位	世帯			
担当課	企画部ふるさと納税課	成果指標	お試し住宅を利用した方の累計移住世帯数(事業開始以降の累計世帯数)		達成率	新型コロナウイルス感染症が第5類へ移行により、東京圏のほか関西及び中国地方からの利用者が増加しています。	
			目標	60			A
			実績	60			
			単位	世帯			

No.24	事務事業名	ふるさと納税推進事業		評価に対する今後の方向性	②維持・充実		
事業内容	ふるさと納税パンフレットの作成、配布及び寄附者へ返礼品を送付することにより、本市の魅力を外にPRし、寄附者の獲得を図る。また、「企業版ふるさと納税制度」「クラウドファンディング」を積極的に活用していくため周知活動を行う。			ふるさと納税業務の一部について外部委託を行い、事務処理の効率化を整備してきました。その結果、寄附者のニーズに沿った新たな地場産品創出(体験型ふるさと納税等)業務に注力することができました。引き続き、同体制を維持していくなかで、「クラウドファンディング」の積極的な活用と「企業版ふるさと納税」を推進するために、各企業への働きかけなど事業の拡充に努めます。			
				指標に係る評価			
事業費	820,117千円	活動指標	ふるさと納税事業者説明会実施数		達成率	ふるさと納税制度の趣旨と参画するメリットに一定の理解を得られました。	
			目標	2			A
			実績	2			
			単位	回			
担当課	企画部ふるさと納税課	成果指標	寄附件数		達成率	北杜ファン獲得に想定以上の成果を上げました。	
			目標	16,000			A
			実績	58,127			
			単位	件			

事業評価結果(No.1～No.182)

No.25	事務事業名	交通災害共済事業			評価に対する今後の方向性	⑥縮小・継続
事業内容	●加入申込書を郵送 前年度加入世帯+新規転入世帯:約4,700世帯 ●情報の周知 ケーブルテレビ:1回 市広報誌:1回				山梨県総合事務組合が実施主体となり県内市町村が共同利用している事業であり、事務組合から交付される事務費で委託に係る経費は賄えている。しかし、当市に限らず年々加入者数が減少している現状を踏まえると、事業継続の是非について検討する必要があります。	
					指標に係る評価	
事業費	261千円	活動指標	ケーブルテレビを利用した情報の周知		達成率	ケーブルテレビや市の広報誌等を利用し、市民に対し情報の周知を図りました。
			目標	1	A	
			実績	1		
単位	回					
担当課	総務部総務課	成果指標	加入者数		達成率	市の総人口の約16%の市民が交通災害共済に加入している状況であるが、同様の制度を利用している近隣市町と比較すると加入率は低い。ケーブルテレビ等の広報活動を行っているが、加入率は年々減少しています。
			目標	9,150	C	
			実績	7,170		
単位	人					

No.26	事務事業名	行政区運営事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	区長報酬、行政事務取扱い交付金、区長研修会の補助等により円滑な区の運営及び活動を促すほか、行政区への加入促進を図り地域の活性化、自治会活動保険加入により安心して地域活動が行えるよう支援する。 持続可能な行政区運営ができるよう、各地域において時代の変化に対応するように変革する必要性があることを説き、またそれを支援する。				引続き行政と行政区の良好な関係を維持し、連携を円滑にいく必要があります。 行政区への加入率についても、根気強く地域コミュニティの重要性を理解してもらい、加入促進を図っていく必要があります。 行政区においても、新規転入者及び未加入者が区に加入しやすい環境を整えるために、変革をしていく必要性があります。	
					指標に係る評価	
事業費	35,126千円	活動指標	各町の区長会実施回数		達成率	行政区長会を開催し、行政からの依頼や行政区からの要望、取組み等を吸上げ連携を図りました。 転入窓口において、全転入者を対象に行政区の案内及び加入促進を図りました。 行政区の運営や新規加入促進を支援するために、行政区長に「行政区ハンドブック」を配布しました。
			目標	2	B	
			実績	1		
単位	回					
担当課	総務部総務課	成果指標	行政区加入率		達成率	転入者に対し行政区の意義について説明し、加入の促進を図った。行政区加入率は依然低下傾向にあり、引続き地域コミュニティの役割について理解を求めていく必要があります。
			目標	72.6	B	
			実績	67.5		
単位	%					

No.27	事務事業名	消費者行政相談事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	消費生活相談窓口を毎週木曜日に開設し、国家資格を有する相談員を配置。消費知識の普及啓発を目的に、広報紙への注意喚起の記事掲載や、リーフレット・啓発グッズ等の配布。				市民からの相談は消費生活が行われている限り一定数あるため、現状の消費生活相談体制を維持し問題解決に導く必要があります。	
					指標に係る評価	
事業費	3,644千円	活動指標	消費生活相談窓口の開設		達成率	消費生活相談員を配置し、消費生活相談窓口を週1回開設しました。
			目標	1	A	
			実績	1		
単位	回					
担当課	総務部総務課	成果指標			達成率	相談窓口を開設することで救われた消費者はいる一方で、近年インターネット商品取引きによるトラブル、特殊詐欺等が多様化・巧妙化するなかで消費者問題は絶えず、成果指標を表すことは困難です。
			目標			
			実績			
単位						

事業評価結果(No.1～No.182)

No.28	事務事業名	職員研修事業			評価に対する今後の方向性	④方法改善	
事業内容	北杜市人材育成基本方針に基づき、山梨県市町村職員研修所等で開催される研修を計画的かつ積極的、有効的に活用する。また、市独自の研修会を実施する。				多様化、複雑化する市民ニーズへの対応、また、人材育成の観点からも、職員の資質向上や能力開発を効果的に行っていく必要があると考えます。		
					指標に係る評価		
事業費	3,970千円	活動指標	研修受講者数		達成率	新型コロナウイルス感染症の影響により職員研修所での受入れ人数が縮小されたことで、階層研修の受講者は少なくなりましたが、人事評価研修やコンプライアンス研修など庁舎内での研修を充実させたことで、受講者数は昨年度より若干改善しました。	
			目標	1,000			B
			実績	999			
			単位	人			
担当課	総務部人事課	成果指標	職員研修受講率		達成率	日程の変更調整や欠席理由書の提出を依頼するなど引き続き対応したところですが、業務都合や急な会議等により欠席となる職員が多かったため、受講率は昨年度よりも低くなりました。	
			目標	100			B
			実績	54.5			
			単位	%			

事業評価結果(No.1～No.182)

No.29	事務事業名	消防団員活動推進事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	消防団員に報酬や出勤手当を支給するとともに、公務災害補償や福祉共済への加入、退職報償金の支給などを通じて活動を支援する。				地域防災力の中核を担う組織として、今後も団員確保に努めるとともに、団員活動を支援していきます。		
指標に係る評価							
事業費	72,228千円	活動指標	出勤人数(延べ)		達成率	A	火災・台風等の災害出動、火災予防などの啓発活動、ポンプ操法や中継送水などの訓練を実施しています。
			目標				
			実績	4,823			
		単位	人				
担当課	総務部消防防災課	成果指標	消防団員		達成率	B	平時から消防団員の確保に努めていますが、少子化、若者の減少により条例定数との乖離が顕著になっています。
			目標	1,884			
			実績	1,552			
		単位	人				

No.30	事務事業名	消防団運営事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	消防車両・消防ポンプの維持管理や消防物品の購入、教育訓練の実施など消防団の運営を支援する。				地域防災力の中核を担う組織として、今後も運営を支援していきます。		
指標に係る評価							
事業費	42,994千円	活動指標	消防車両保有台数		達成率	A	火災やその他災害に備え、保有している消防車両・消防ポンプ、その他消防資機材の管理を適切に行っています。
			目標	116			
			実績	116			
		単位	台				
担当課	総務部消防防災課	成果指標	小型ポンプの更新		達成率	A	更新年数に達した小型ポンプを更新計画どおりに行っています。
			目標	-			
			実績	-			
		単位	台				

No.31	事務事業名	女性消防団員活動支援事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	女性の視点で防火・防災・防犯に関する啓発活動を幅広く実施できるよう報酬や出勤手当の支給、活動服の貸与などを通じて女性消防団員を支援する。				女性消防団員の必要性は今後も高まっていますので、人員確保に努めていきます。		
指標に係る評価							
事業費	443千円	活動指標	女性団員数		達成率	B	それぞれの事情により活動が継続できず、女性消防団員数が減少していますが、ラッパ隊に女性消防団員が加入するなど活動範囲を広げるような取組みを行っています。
			目標	20			
			実績	6			
		単位	人				
担当課	総務部消防防災課	成果指標	啓発活動		達成率	A	市内の放課後児童クラブと連携し、小学生に対して防災教室を実施しています。
			目標	3			
			実績	5			
		単位	回				

事業評価結果(No.1~No.182)

No.32	事務事業名	消防施設維持管理事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	火災等の有事に備えるため消防施設等の維持管理を図る。				消防施設の適切な維持管理を実施し消防団活動を支援していく。	
					指標に係る評価	
事業費	6,529千円	活動指標	消防車両車庫の管理		達成率	ポンプ車などの消防車両を保管している車庫について消防活動に支障がないよう適切に管理している。
			目標	116	A	
			実績	116		
			単位	箇所		
担当課	総務部消防防災課	成果指標	修繕件数		達成率	消防施設の適切な管理のため修繕を実施している。
			目標	14	A	
			実績	14		
			単位	件		

No.33	事務事業名	消防施設整備事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	火災等の災害に備えるため、耐震性貯水槽(防火水槽)の新設及び消防施設の整備を図る。				地域の要望を考慮し、消防水利や消防施設を整備します。	
					指標に係る評価	
事業費	19,909千円	活動指標	防火水槽の管理数		達成率	火災をはじめとする災害時に使用する防火水槽や消火栓などの消防水利、また、消防ポンプ庫など消防施設を管理しています。
			目標	872	A	
			実績	872		
			単位	基		
担当課	総務部消防防災課	成果指標	防火水槽の設置数		達成率	耐震性貯水槽(防火水槽)や消防施設の整備に努めています。
			目標	-	A	
			実績	-		
			単位	基		

No.34	事務事業名	水防活動事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	水防資機材の充実を図る。				水防計画に基づく資機材整備を行います。	
					指標に係る評価	
事業費	297千円	活動指標	水防資機材整備箇所数		達成率	予定箇所及び被災箇所への水防資機材配備の充実を図った。
			目標	3	A	
			実績	3		
			単位	式		
担当課	総務部消防防災課	成果指標			達成率	成果指標の設定が困難な事業であります。
			目標			
			実績			
			単位			

事業評価結果(No.1～No.182)

No.35	事務事業名	防災ラジオ運営事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続								
事業内容	災害時に自動的に起動して緊急情報を受信する防災ラジオの放送設備について維持管理を行う。				避難情報を配信には様々な媒体で配信することが求められているため必要な事業です。	指標に係る評価								
事業費	602千円	活動指標	<table border="1"> <tr><td>防災ラジオの保守点検</td><td>達成率</td></tr> <tr><td>目標</td><td>1</td></tr> <tr><td>実績</td><td>1</td></tr> <tr><td>単位</td><td>回</td></tr> </table>	防災ラジオの保守点検	達成率		目標	1	実績	1	単位	回	A	防災ラジオの配信のため保守点検を行います。
防災ラジオの保守点検	達成率													
目標	1													
実績	1													
単位	回													
担当課	総務部消防防災課	成果指標	<table border="1"> <tr><td>防災ラジオ配信試験</td><td>達成率</td></tr> <tr><td>目標</td><td>12</td></tr> <tr><td>実績</td><td>12</td></tr> <tr><td>単位</td><td>回</td></tr> </table>	防災ラジオ配信試験	達成率	目標	12	実績	12	単位	回	A	月に1回試験放送を行い配信訓練を含めて実施しています。	
防災ラジオ配信試験	達成率													
目標	12													
実績	12													
単位	回													

No.36	事務事業名	災害対策事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続								
事業内容	災害用衛星携帯電話の維持管理を行う。 災害発生時に住民が迅速・的確に避難するため、Web版ハザードマップの保守・更新を行います。 防災における地域のリーダーの育成を行います。				関係法令に基づき継続して事業を行う必要があります。 災害対策事業は市民の防災意識の高揚を図る上で有効な事業であり、継続的に行う必要があります。	指標に係る評価								
事業費	1,634千円	活動指標	<table border="1"> <tr><td>衛星電話配備数</td><td>達成率</td></tr> <tr><td>目標</td><td>2</td></tr> <tr><td>実績</td><td>2</td></tr> <tr><td>単位</td><td>台</td></tr> </table>	衛星電話配備数	達成率		目標	2	実績	2	単位	台	B	発災時に備え関係機関との通信手段として衛星電話を備えています。 防災士養成事業へ4名参加しました。
衛星電話配備数	達成率													
目標	2													
実績	2													
単位	台													
担当課	総務部消防防災課	成果指標	<table border="1"> <tr><td>防災士取得者数</td><td>達成率</td></tr> <tr><td>目標</td><td>4</td></tr> <tr><td>実績</td><td>4</td></tr> <tr><td>単位</td><td>人</td></tr> </table>	防災士取得者数	達成率	目標	4	実績	4	単位	人	B	防災士を4名が取得しました。	
防災士取得者数	達成率													
目標	4													
実績	4													
単位	人													

No.37	事務事業名	地域防災計画推進事業			評価に対する今後の方向性	⑥縮小・継続								
事業内容	法令や上位計画の改正等を踏まえ、市地域防災計画及び業務継続計画の見直しを行います。 災害時に迅速に対応できるよう、職員の初動体制の確立を図ります。				法令、上位計画等の更新や市の防災施策の変更に対応するよう毎年計画の見直しを行うため、事業を継続する必要があります。	指標に係る評価								
事業費	522千円	活動指標	<table border="1"> <tr><td>地域防災計画改訂の回数</td><td>達成率</td></tr> <tr><td>目標</td><td>1</td></tr> <tr><td>実績</td><td>1</td></tr> <tr><td>単位</td><td>回</td></tr> </table>	地域防災計画改訂の回数	達成率		目標	1	実績	1	単位	回	A	地域防災計画、業務継続計画等の改訂により災害対策の更新がされました。
地域防災計画改訂の回数	達成率													
目標	1													
実績	1													
単位	回													
担当課	総務部消防防災課	成果指標	<table border="1"> <tr><td>北杜市防災会議の回数</td><td>達成率</td></tr> <tr><td>目標</td><td>1</td></tr> <tr><td>実績</td><td>1</td></tr> <tr><td>単位</td><td>回数</td></tr> </table>	北杜市防災会議の回数	達成率	目標	1	実績	1	単位	回数	A	防災会議を開催し関係機関との協議により改訂を行いました。	
北杜市防災会議の回数	達成率													
目標	1													
実績	1													
単位	回数													

事業評価結果(No.1～No.182)

No.38	事務事業名	防災訓練事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	地域の防災力を高めるため、訓練を実施する。				訓練方法を検討し、実施して行きます。		
					指標に係る評価		
事業費	798千円	活動指標	防災訓練実施依頼の数		達成率	A	行政区・自治会等に通知を行い防災訓練の実施を依頼しました。
			目標	165			
			実績	165			
			単位	団体			
担当課	総務部消防防災課	成果指標	防災訓練参加者数		達成率	A	地域で工夫して訓練を実施しており参加人数が増加しました。
			目標	11,428			
			実績	8,336			
			単位	人			

No.39	事務事業名	防災備蓄品整備事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	防災備蓄食品及び備蓄資機材の整備や各避難所が速やかに開設できるよう避難所に防災備蓄倉庫を設置します。				5年間で避難者想定数の9,000人分の備蓄食、備蓄水や必要な資機材を備蓄、また、避難所の速やかな開設のため各避難所へ防災備蓄倉庫を設置していく必要があります。		
					指標に係る評価		
事業費	31,098千円	活動指標	災害用備蓄食		達成率	A	災害に備え、想定避難者数9,000人の1日3食分、水3ℓを備蓄します。
			目標	5,400			
			実績	5,400			
			単位	食			
担当課	総務部消防防災課	成果指標	防災備蓄倉庫設置数		達成率	A	備蓄倉庫を設置し備蓄品を保管することで避難所の速やかな開設を行うことができます。
			目標	11			
			実績	11			
			単位	棟			

No.40	事務事業名	AED管理事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	緊急時に誰もがいつでも使用できるよう適正に管理するために保守点検業務を委託する。				現状で引き続き維持管理を行っていきます。		
					指標に係る評価		
事業費	369千円	活動指標	AED設置台数		達成率	A	各総合支所及び本庁に設置したAEDを適正に管理できました。
			目標	9			
			実績	9			
			単位	台			
担当課	総務部消防防災課	成果指標	点検を行った回数		達成率	A	AEDは緊急時に使用出来るよう配備しています。
			目標	1			
			実績	1			
			単位	回			

事業評価結果(No.1～No.182)

No.41	事務事業名	防犯街路灯整備事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	地域の要望により、予算の範囲内で防犯灯を支給する。				地区からの要望により、予算の範囲内で購入し支給を行っていきます。	指標に係る評価
事業費	1,760千円	活動指標	区長会での情報の周知	達成率	各地区に広く周知を行い、適正に設置・管理することができました。	
			目標	8		A
			実績	8		
			単位	回		
担当課	総務部消防防災課	成果指標	支給数	達成率	予算の範囲内で地区からの要望に対応し、効率的に支給することができました。	
			目標	117		A
			実績	190		
			単位	基		

No.42	事務事業名	減災力の強いまちづくり推進事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	平常時から自然災害に対する自助力・共助力を高めるため、「減災に強いまちづくり事業」として、出前塾・地域減災リーダー育成・特定地区総合防災訓練を行う。				減災力の強いまちづくり事業は市民の意識の高揚を図る上で有効な事業であり、継続的に行う必要があります。	指標に係る評価
事業費	2,577千円	活動指標	地域減災リーダー育成研修開催回数	達成率	地域減災リーダー育成研修を4回実施しました。地域等において出前塾を15回実施しました。	
			目標	3		B
			実績	4		
			単位	回		
担当課	総務部消防防災課	成果指標	地域減災リーダー認定者累計数	達成率	14名を減災リーダーとして認定しました。	
			目標	120		B
			実績	114		
			単位	人		

No.43	事務事業名	防災行政無線維持管理事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	防災行政無線は災害時における市民への情報の伝達手段としており、災害時に適切に運用できるよう、平常時から整備をするものである。				現状で難聴箇所等の確認を行い、有事に備えていきます。	指標に係る評価
事業費	29,200千円	活動指標	難聴箇所点検件数	達成率	申請のあった難聴箇所については、全て点検調整を行いました。	
			目標	3		A
			実績	3		
			単位	件		
担当課	総務部消防防災課	成果指標		達成率		
			目標			
			実績			
			単位			

事業評価結果(No.1～No.182)

No.44	事務事業名	多文化共生推進事業			評価に対する今後の方向性	②維持・充実	
事業内容	外国人の生活基盤支援を充実させるため、地域におけるつながりの強化や、日本語を学ぶ機会の創出、就業支援など地域・社会での活躍促進を図る。				様々な国籍、文化的違いを持つ外国人の方々の生活基盤を充実させるためには、より多くの人々のつながりや、日本語を学ぶ機会の促進が必要になると考えます。地域、社会で多くの外国人が活躍できるよう、さらに充実した学習する機会を創設していく必要があると考えます。		
					指標に係る評価		
事業費	704千円	活動指標	日本語教室の開催回数		達成率	通常の日本語教室カリキュラムに加え、参加者等の要望を受け市消防防災課担当職員を講師に外国人に向けた防災教室も開催しました。感染症対策をとりながら当初の予定回数通りに開催することができました。	
			目標	15			A
			実績	15			
			単位	回			
担当課	市民環境部市民サービス課	成果指標	日本語教室への参加人数		達成率	該当者へ案内通知を送るとともに、市内企業へ直接出向き、日本語教室の周知をしました。ほぼ予定通りの外国人の方に参加していただき、参加した学習者からは、日本語が上達した、住んでいる地域の人々とのコミュニケーションが増え、参加して良かったなどのご意見をいただいております。日本語教室の他、外国語に対応した観光パンフレット、ホームページ、AIチャットボットにより情報を提供しています。	
			目標	30			B
			実績	29			
			単位	人			

No.45	事務事業名	男女共同参画推進事業			評価に対する今後の方向性	④方法改善	
事業内容	「男女共同参画都市宣言」・第2次北杜市男女共同参画推進プラン(ほくとほほえみ夢プラン)に基づき、男女共同参画推進委員会を中心に、情報誌「社のほほえみ」の発行や「ほほえみフォーラム」の開催などによる推進活動及び啓発活動を行う。				男女共同参画の全体像を捉え、数値で評価することは難しいところですが、男女共同参画推進委員会の日常的な取り組みを積み重ねていくことが一つの方法と考えます。女性も男性も、互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合いつつ、性別にとらわれることなく、その個性と能力を十分に発揮できる豊かな社会の実現を目指すことが必要と考えます。		
					指標に係る評価		
事業費	1,373千円	活動指標	情報誌「社のほほえみ」発行		達成率	情報誌「社のほほえみ」は、家庭部会・職場部会・地域部会のそれぞれの部会での調査・研究活動の内容を分かりやすくまとめ上げ、例年発行しているもの。令和5年度は、令和5年12月16日に開催した「ほほえみフォーラム2023」の紹介を含め、一年の総括として3月に発行し、全戸配布しました。	
			目標	1			A
			実績	1			
			単位	回			
担当課	市民環境部市民サービス課	成果指標	各種委員会の女性の登用率		達成率	各種委員会の女性の登用率は一概にすぐ上がるものではありませんが、男女問わず適任者が登用されるような仕組みづくりが必要だと考えます。	
			目標	31.8			B
			実績	30.4			
			単位	%			

事業評価結果(No.1～No.182)

No.46	事務事業名	未収納金対策充実・強化事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	催告に応じない滞納者について、滞納者が保有する預貯金、不動産、動産等の財産を調査し、換価可能な財産を調査し、換価可能な財産を差し押さえ、税負担の公平性、公正性の観点から適切な滞納処分を実施する。				<p>・滞納者に対し滞納処分を実施し、317件の差押えと、251件の執行停止を行いました。今後につきましても適切に滞納処分を実施し、執行停止の要件に該当する場合は早期に実施していくことが必要です。</p> <p>・外部アドバイザーによる研修会を1回、相談会を年23回開催し41件の困難事案についてアドバイスをいただきました。問題解決につながることも、職員の知識の習得及び資質向上にも繋がっているため、継続して行っています。</p>	指標に係る評価
事業費	837千円	活動指標	滞納処分の実施件数	達成率	<p>預貯金220件、給与24件、年金6件、保険17件、その他債権等50件の、計317件の差し押さえを実施した。目標件数には達しなかったが、前年度の活動指標実績を20ポイント上回った。</p>	
			目標	B		
			実績			
			単位		件	
担当課	市民環境部収納課	成果指標	市税収納率(現年分)	達成率	令和5年度収納率は、現年度については目標値を上回った。	
			目標	A		
			実績		99.4	
			単位		%	

No.47	事務事業名	収納率向上事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	税金は本来自主納付であるが、滞納者や交通手段がない高齢者等に対して自宅等を訪問して納税交渉、納税相談及び徴収を行い、滞納整理を促進する。				<p>滞納者及び交通弱者の納税折衝には必要不可欠で、継続して行っていかなければならない事業です。現状を維持しながら継続した事業実施を行っていきます。</p>	指標に係る評価
事業費	17,983千円	活動指標	臨戸訪問徴収	達成率	<p>督促や催告に応じない滞納者や交通手段がない高齢者等には、自宅等を訪問して納税交渉したり徴収をする必要があります。活動指標については目標件数に達しなかったが、継続して行っていく必要があります。</p>	
			目標	B		
			実績		290	
			単位		件	
担当課	市民環境部収納課	成果指標	市税収納率(現年分)	達成率	令和5年度収納率は、現年度については目標値を上回った。	
			目標	A		
			実績		99.4	
			単位		%	

事業評価結果(No.1～No.182)

No.48	事務事業名	河川等水質調査事業			評価に対する今後の方向性	②維持・充実
事業内容	専門機関に水質調査を依頼・実施。継続調査を行うことで監視の強化を図り、水質管理を行う。				今後も水環境保全の基礎資料となるべく、継続して水質調査を実施します。	
					指標に係る評価	
事業費	6,224千円	活動指標	市内河川調査箇所数(水質調査)		達成率	専門分野であるため、専門機関に委託し、効率的に事業を実施しています。
			目標	45	A	
			実績	45		
			単位	箇所		
担当課	市民環境部環境課	成果指標	河川水質基準AA値(BOD)		達成率	平成28年度よりBOD値では95%以上の割合で水質基準AAを維持しており、良好な水質にあります。
			目標	45	B	
			実績	44		
			単位	箇所		

No.49	事務事業名	環境活動推進事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	市民・事業者・市それぞれの役割、責任、環境への取組を確認しつつ、社会環境、自然環境、生活環境、地球環境、環境行政についての施策を確認しながら環境保全への取り組みを進める。				第2次北杜市環境基本計画による基本方針及び施策について、進捗状況を随時確認し、施策を推進します。	
					指標に係る評価	
事業費	156千円	活動指標	環境審議会開催回数		達成率	目標、指針に係る事務・事業の内容や今後の課題などを環境審議会において報告します。
			目標	2	A	
			実績	2		
			単位	回		
担当課	市民環境部環境課	成果指標	一般廃棄物総排出量		達成率	廃棄物の排出量については、令和3年度に策定した北杜市一般廃棄物処理基本計画により再精査を実施しました。
			目標	11,452	B	
			実績	14,068		
			単位	t		

No.50	事務事業名	環境教育普及啓発事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	市がグリーン北杜、キープ協会等と連携し、省エネ、再生可能エネルギー、自然資源活用、廃棄物削減、自然保護などの環境問題に関わる内容について、環境学習プログラム等により体験型授業を中心とした環境学習会や親子学習会を実施するほか、環境教育リーダー養成講座や子ども環境フェスタを開催する。				新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、実施形態や対象者の見直しを行いながら環境教育や子ども環境フェスタを実施します。また、教育は目に見えた効果がすぐに得られるものではなく継続性が重要であることから、今後も引き続き環境教育を実施していくことで、環境問題に取り組んで行く意識改革と、環境問題への関心を実際の解決行動に結びつけられる人材の育成を図ります。	
					指標に係る評価	
事業費	5,159千円	活動指標	事業実施回数		達成率	インフルエンザによる実施回数の減、対象者数の減により、実施回数は目標を下回っていますが、環境学習プログラム事業、環境教育リーダー養成講座、子ども環境フェスタ、幼児教育等環境教育は必要回数を実施しています。
			目標	38	B	
			実績	27		
			単位	回		
担当課	市民環境部環境課	成果指標	受講、参加人数(延べ)		達成率	実施回数や対象者数の減により参加人数は減少していますが、環境学習プログラムや幼児教育プログラムにおいては、児童・園児が興味を持って参加しており、今後も引き続き環境教育の実施が必要です。
			目標	1,489	B	
			実績	609人(動画再生数2,194回)		
			単位	人		

事業評価結果(No.1～No.182)

No.51	事務事業名	新エネルギー推進等事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	再生可能エネルギーの普及促進やクリーンエネルギー利活用の検討など、新エネルギーに関する検討・推進を行う。 また、市の新エネルギー事業に対する審議、提言を行う。				地域に存するエネルギーを生かした新エネルギーの更なる普及促進、ゼロカーボンシティの実現には、本組織の役割は重要であり、今後も施策の核となる組織として機能させていく方針です。		
					指標に係る評価		
事業費	72千円	活動指標	新エネルギー推進機構会議開催回数		達成率	A	新エネルギー推進機構の理事10名により会議を開催し、本市の新エネルギー事業等に対して、各分野の立場から貴重な意見及び提言を聴取することができました。
			目標	2			
			実績	2			
			単位	回			
担当課	市民環境部環境課	成果指標	新エネルギー推進機構会議開催回数		達成率	A	「再生可能エネルギー設備設置補助金の拡充」「電気自動車等購入費補助金」の有効性について意見をいただきました。 また、「公共施設への太陽光発電設備及び蓄電池導入事業」や「北社サイト太陽光発電所の今後の運用」についても、情報及び意見をいただきました。
			目標				
			実績				
			単位				

No.52	事務事業名	地域環境美化活動推進事業			評価に対する今後の方向性	④方法改善	
事業内容	地域環境委員会を各町別にて開催。環境関連事業について、行政との連絡調整やごみ減量化の推進、ごみ及び資源物収集所の管理などの依頼、指導を行うことで、市民への環境に対する理解を深めてもらい、より一層自然環境を創造する活動を推進する。				今後も地域環境委員会を開催し、委員にごみ及び資源物の排出について広く周知を図ることでより正確に排出できるよう努めます。		
					指標に係る評価		
事業費	1,976千円	活動指標	地域環境委員会開催回数		達成率	A	市内8地区において地域環境委員あて各総合支所地域市民課を中心に会議を開催し(書面開催含む)、活動内容を確認していただきました。
			目標	8			
			実績	8			
			単位	回			
担当課	市民環境部環境課	成果指標	地域環境委員数		達成率	A	市内8地区において地域環境委員により排出時の分別指導等を行っております。
			目標	252			
			実績	252			
			単位	人			

No.53	事務事業名	環境パトロール実施事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	峡北シルバー人材センター及び中北地域廃棄物対策連絡協議会監視パトロール員による監視活動、不法投棄物の撤去処理を併せて実施する。				不法投棄の多発地区(他県、他市からの投棄が目立つ県道沿い)を重点的にパトロールするなど発生防止対策の強化を行います。		
					指標に係る評価		
事業費	7,930千円	活動指標	不法投棄監視パトロール実施日数		達成率	B	各総合支所職員の協力により、巡回しているスタッフとの連携を密にして巡回する区域等を判断しています。
			目標	620			
			実績	613			
			単位	日			
担当課	市民環境部環境課	成果指標	不法投棄物撤去処理量		達成率	A	不法投棄監視パトロールの成果があり、年々、不法投棄が減少傾向であります。
			目標	135			
			実績	135			
			単位	t			

事業評価結果(No.1～No.182)

No.54	事務事業名	一般廃棄物収集・運搬事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	市内で発生した生活系一般廃棄物を、行政区等が管理するごみステーションからの拠点収集により、環境保全上支障が生じないよう効率的、確実に運搬する。また、リサイクル推進事業との連携により減量化を推進する。				生活系一般廃棄物の減量化に向けての取り組みを強化し、廃棄物処理法に規定されている市と排出者(住民)それぞれの責務を明確化することで、より安全で効率的な収集運搬に取り組めるよう努めます。		
					指標に係る評価		
事業費	132,651千円	活動指標	ごみステーション数		達成率	ごみステーションは増加傾向にありますが、確実な収集運搬が行われている状況にあります。	
			目標	713			A
			実績	713			
			単位	箇所			
担当課	市民環境部環境課	成果指標	生活系一般廃棄物収集運搬量(可燃・不燃)		達成率	生活様式の多様化等により在宅時間の変動があることから、ごみの排出量は年度により変動がある状況であります。	
			目標	5,800			B
			実績	6,880			
			単位	t			

No.55	事務事業名	適正処理困難物等収集事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	一般廃棄物は、市町村に処理義務があるが、広域処理施設で処理出来ない廃棄物(タイヤ、農機具、バッテリー、スプリング入りマット、ボイラー、温水器等)及び1辺が1.5mを超える大型粗大ごみについては、年1回、町ごとに有料収集を実施し、市で一括処理する。				市民サービスの提供という面では一定の成果があると考えますが、今後も継続して行く中で、収集量が増えいくことによる財政負担の増加や、支所が縮小されたあとの人手不足など、取り組むべき課題もある状況です。		
					指標に係る評価		
事業費	1,610千円	活動指標	収集運搬箇所数		達成率	収集実績から、本事業の周知は充分にできていると考えます。	
			目標	8			A
			実績	8			
			単位	箇所			
担当課	市民環境部環境課	成果指標	適正困難廃棄物収集運搬量(排出量)		達成率	年々排出量が増加していることから、事業周知は充分出来てはいます。この事業の成果により不法投棄の減少につながっていると考えます。	
			目標	10			A
			実績	12			
			単位	t			

No.56	事務事業名	リサイクル推進・ごみ減量化事業			評価に対する今後の方向性	④方法改善	
事業内容	一般廃棄物の分別排出の徹底を推進し、適正な資源分別収集・運搬・処理により資源化率の向上を図る。				地域環境委員会等の協力により、資源物の分別や排出方法を指導し、各地区における分別の徹底、資源化率の向上を目指します。		
					指標に係る評価		
事業費	76,145千円	活動指標	資源物の排出量		達成率	資源化率を目標に設定した排出量には届いていない状況です。	
			目標	2,100			B
			実績	1,321			
			単位	t			
担当課	市民環境部環境課	成果指標	資源化率		達成率	廃棄物の総排出量は減少傾向ではありますが、それ以上に資源物の排出量が減少しているため資源化率が向上しない状況です。	
			目標	24			B
			実績	16			
			単位	%			

事業評価結果(No.1～No.182)

No.57	事務事業名	分別収集マニュアル、収集袋等作成事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続								
事業内容	ごみ・資源物排出日程表の作成、収集袋の作成を行い、ごみの適正な分別の徹底や減量化・資源化を図るとともに効率的な収集体制を確立する。			分別の徹底を図るため、分別マニュアルについては随時更新を行います。 ごみ収集袋については、廃プラスチック適正処理の考えに基づき材質、サイズの変更等を考えています。	指標に係る評価								
事業費	15,559千円	活動指標	<table border="1"> <tr> <td>ごみ・資源物排出日程表の印刷</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>23,000</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>23,550</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>枚</td> </tr> </table>	ごみ・資源物排出日程表の印刷	達成率	目標	23,000	実績	23,550	単位	枚	A	ごみ・資源物排出日程表を配布、活用する中でごみ及び資源物の分別については、市民の間にある程度浸透していると考えられます。
ごみ・資源物排出日程表の印刷	達成率												
目標	23,000												
実績	23,550												
単位	枚												
担当課	市民環境部環境課	成果指標	<table border="1"> <tr> <td>生活系一般廃棄物収集運搬量</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>5,800</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>6,880</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>t</td> </tr> </table>	生活系一般廃棄物収集運搬量	達成率	目標	5,800	実績	6,880	単位	t	B	ごみの排出量については横ばいの状況です。
生活系一般廃棄物収集運搬量	達成率												
目標	5,800												
実績	6,880												
単位	t												

No.58	事務事業名	食品ロス削減推進事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続								
事業内容	食品ロス削減啓発キャンペーンを実施する。			意識づけから食品ロスにつなげていくことが必要であると考えます。	指標に係る評価								
事業費	29千円	活動指標	<table border="1"> <tr> <td>食品ロス削減啓発キャンペーンの実施</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>回</td> </tr> </table>	食品ロス削減啓発キャンペーンの実施	達成率	目標	1	実績	1	単位	回	A	食品ロスキャンペーンを実施することにより、食品ロスの削減を目指すことが大切なことであることが、市民の間にある程度浸透していると考えられます。
食品ロス削減啓発キャンペーンの実施	達成率												
目標	1												
実績	1												
単位	回												
担当課	市民環境部環境課	成果指標	<table border="1"> <tr> <td>家庭系ごみの減量化</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>9,054</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>8,222</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>t</td> </tr> </table>	家庭系ごみの減量化	達成率	目標	9,054	実績	8,222	単位	t	A	ごみの排出量は減少傾向にあります。
家庭系ごみの減量化	達成率												
目標	9,054												
実績	8,222												
単位	t												

No.59	事務事業名	環境保全基金活用事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続								
事業内容	事業の提案に基づいた補助金の交付を行い、実績にてその効果を確認する。環境保全基金の意向を理解いただける企業等への協力金の呼びかけ。環境保全事業、環境教育事業、南アルプス・甲武信ユネスコエコパーク関連事業を行う団体に対し、対象経費の2/3を補助。地域住民と協働で行う規模の大きい事業は100万円、その他事業は30万円を上限とする。上記事項を審査するための活用検討委員会の開催。			環境保全基金の活用検討委員会においては市民提案や各課提案事業を適正に審査できた。また、今後の活用基金活用方法において協議し、令和5年度からの審査に盛り込むことができた。	指標に係る評価								
事業費	0千円	活動指標	<table border="1"> <tr> <td>活用検討委員会の開催</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>回</td> </tr> </table>	活用検討委員会の開催	達成率	目標	2	実績	2	単位	回	A	環境保全基金の活用検討委員会は計画通りに遂行。協力金においては大口の減収とふるさと納税の影響もあり前年度を下回った。市民提案事業については縮小を余儀なくされた案件もあったが、感染予防対策を万全に行い、概ね実施できている。実績書などからも環境保全に対するモチベーションも感じ取れる。なお、SDGs研修会は開催を見送った。
活用検討委員会の開催	達成率												
目標	2												
実績	2												
単位	回												
担当課	市民環境部環境課	成果指標	<table border="1"> <tr> <td>活用検討委員会の開催</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td></td> </tr> </table>	活用検討委員会の開催	達成率	目標		実績		単位		A	環境保全基金の活用検討委員会は計画通りに遂行。協力金においては大口の減収とふるさと納税の影響もあり前年度を下回った。市民提案事業については新型コロナウイルスの影響により縮小を余儀なくされた案件もあったが、感染予防対策を万全に行い、概ね実施できている。実績書などからも環境保全に対するモチベーションも感じ取れる。なお、SDGs研修会は開催を見送った。
活用検討委員会の開催	達成率												
目標													
実績													
単位													

事業評価結果(No.1~No.182)

No.60	事務事業名	環境保全事業補助金		評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	市民、各種法人・団体等からの環境保全等を目的とした事業の提案に対し、補助金の交付を行い、実績にてその効果を確認する。 環境保全の意向を理解いただける企業等への協力金の呼びかけ。			環境保全は長期を経過し、寄与するものである。環境保全に対する市民の熱意及び企業の協力がいただける間は事業は実施すべきと考える。	
				指標に係る評価	
事業費	3,515千円	活動指標	環境保全協力金件数		達成率 B 協力金についてはふるさと納税の関係もあり金額、件数共に前年度を下回った。 市民提案型事業については規模縮小を余儀なくされた案件もあったが概ね実施できている。実績報告書などからも環境保全に対するモチベーションの高さを感じ取れる。
			目標	81	
			実績	74	
			単位	件	
担当課	市民環境部環境課	成果指標	環境保全協力金件数		達成率 A 協力金についてはふるさと納税の関係もあり金額、件数共に残念ながら前年度を下回った。 市民提案型事業については規模縮小を余儀なくされた案件もあったが概ね実施できている。実績報告書などからも環境保全に対するモチベーションの高さを感じ取れる。
			目標		
			実績		
			単位		

事業評価結果(No.1～No.182)

No.61	事務事業名	健康福祉啓発事業			評価に対する今後の方向性	④方法改善
事業内容	主催：福祉課、介護支援課及び健康増進課の合同開催 期日：令和5年11月11日(土) 内容：健康福祉講演会開催 講師：山田ルイ53世(お笑い芸人髭男爵) 演題：「僕達にはキラキラする義務などない」				福祉課、健康増進課及び介護支援課の3課での共催により、福祉・健康・介護予防に対する知識を広く市民に啓発するため、幅広い世代が参加でき、魅力あるイベントを開催していきます。	
	指標に係る評価					
事業費	421千円	活動指標	講演会参加人数		達成率	B
			目標	200		
			実績	136		
			単位	人		
担当課	福祉保健部福祉課	成果指標	来場者の満足度		達成率	B
			目標	100		
			実績	98.2		
			単位	%		

No.62	事務事業名	成年後見制度利用促進事業			評価に対する今後の方向性	②維持・充実
事業内容	成年後見制度に関する相談や関係機関による支援会議等を開催するため、成年後見制度利用促進に伴う中核機関を設置する。				関係機関による定例会やチーム支援会議の開催により、情報共有を図るとともに、市民等に対する相談体制の充実や制度の普及啓発を積極的に行い、制度の利用促進を図ってまいります。	
	指標に係る評価					
事業費	5,197千円	活動指標	チーム支援会議の開催		達成率	A
			目標	29		
			実績	29		
			単位	回		
担当課	福祉保健部福祉課	成果指標	新規相談件数		達成率	A
			目標	71		
			実績	71		
			単位	件		

No.63	事務事業名	高齢者祝福事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	敬老祝金：9月15日の敬老の日から一週間の「敬老週間」に敬老祝金(満88歳)を支給する。支給については、民生委員児童委員に安否確認を兼ねて配布を依頼。 また、100歳に到達した高齢者宅を市長が訪問し、祝金と花束を贈り、長寿を祝福する。				市民の長寿を祝う意識の高揚を図り、事業の趣旨及び対象者やその家族からも継続が望まれます。	
	指標に係る評価					
事業費	5,025千円	活動指標	88歳敬老祝金		達成率	A
			目標	362		
			実績	362		
			単位	人		
担当課	福祉保健部福祉課	成果指標	市内小学生による敬老の手紙発送数		達成率	A
			目標	362		
			実績	362		
			単位	通		

事業評価結果(No.1～No.182)

No.64	事務事業名	お楽しみ給食サービス事業		評価に対する今後の方向性	④方法改善		
事業内容	北杜市社会福祉協議会への委託事業で、社協各支所単位で実施している。各地区民生委員児童委員、ボランティア等に協力をお願いし、各地区で年4回の給食サービスと年1回の栄養補助飲料の提供を行っている。			地域の民生委員が対象者宅を訪問し、高齢者との面会による安否や健康状態の確認のほか、対話等の機会が設けられることから、対象者や民生委員からの意見いただきながら、効果的な配布方法を検討し、継続していきます。			
				指標に係る評価			
事業費	1,317千円	活動指標	お楽しみ給食配食数		達成率	お楽しみ給食については、当初の予定数はクリアしていませんが、入院や外出等の対象者の都合によりキャンセルになったものであり、希望する対象者には配食が提供できています。	
			目標	2,337			A
			実績	2,214			
単位	食						
担当課	福祉保健部福祉課	成果指標	給食の配食により安否を確認できた件数		達成率	民生委員児童委員が直接対象者宅を訪問するため、対象者の安否確認ができています。また、配布時に対象者と交流が図られるため、安否確認と高齢者の孤独感や不安の解消に繋がっています。	
			目標	3,785			A
			実績	3,785			
単位	件						

No.65	事務事業名	外出支援サービス事業		評価に対する今後の方向性	④方法改善		
事業内容	庁内のサービス調整会議により認定された高齢者が、通院の際にタクシーを利用する場合、初乗り分を助成するタクシー券を月2枚支給する。			判断基準をサービス調整会議の中で諮りながら、制度の利用促進を図るため事業内容の改善について検討していきます。			
				指標に係る評価			
事業費	81千円	活動指標	サービス対象者数		達成率	利用申請をするものの長期入院や施設入所等の事情により利用実績のない方がいます。更新申請の際には、必要の有無の確認を行っています。	
			目標	20			B
			実績	16			
単位	人						
担当課	福祉保健部福祉課	成果指標	サービス利用率		達成率	登録者の支給枚数に対する利用枚数の割合が低い要因は、対象が高齢者であるため、年度途中での長期入院、施設入所、死亡などのケースがあるためとなります。	
			目標	360			C
			実績	133			
単位	枚						

No.66	事務事業名	ふれあいペンダント事業		評価に対する今後の方向性	④方法改善		
事業内容	庁内のサービス調整会議により認定された高齢者が、急病等の緊急時に、自宅に設置された機械のボタンを押すことでNPO法人安心安全見守りセンターに通報され、協力員の支援のもと、迅速かつ適切な対応を図ることができる。			高齢化の進行と高齢者のみ世代の増加が増加傾向にあることから必要性は高く、継続して事業展開していきます。ただし、事業には固定電話が必要ですが、固定電話のない家庭や携帯電話が普及してきていることから、新しい仕組みでの事業継続も視野に入れて検討していく必要があります。			
				指標に係る評価			
事業費	2,013千円	活動指標	設置台数状況		達成率	市の保有台数は100台であり、現在の設置台数はおよそ4～5割になります。返却者は、死亡、入院、施設入所等によるものであります。	
			目標	100			C
			実績	40			
単位	台						
担当課	福祉保健部福祉課	成果指標	緊急通報件数		達成率	実際に緊急を要する通報は10件を満たさない状況ですが、緊急時には対応できています。また、緊急時に対する安心感が、高齢者の不安解消と健康な生活の確保につながっています。	
			目標	5			A
			実績	5			
単位	件						

事業評価結果(No.1～No.182)

No.67	事務事業名	タクシー利用料金助成事業		評価に対する今後の方向性	①拡大・充実
事業内容	対象者の申請に基づき、タクシー利用券(650円×3枚/月×交付決定をした月からその年度の3月までの月数)を交付する。			引き続き、手帳の交付時に、対象となる手帳所持者には制度の案内・説明を行っていく。 また、腎臓機能障がいにより人工透析を定期的に行っている重度心身障害者(児)を新たに対象者としたことから、受診等の利用拡大につながっていくと思われるが、自動車税の減免対象者も増加しているため、利用者数の増加はそれほど見込めないとと思われる。 令和5年度に市と協定を結ぶ介護タクシー事業所が増えたため、今後も協定を結ぶ事業所を増やしていき対象者が利用しやすくなるよう努めます。	
指標に係る評価					
事業費	343千円	活動指標	タクシー利用券利用者数	達成率	障害者手帳の交付の際に、対象となる方に案内をしている。 タクシー利用券の利用率は前年度より減っていますが、交付人数は増えています。
			目標	50	
			実績	33	
			単位	人	B
担当課	福祉保健部福祉課	成果指標	タクシー利用券利用枚数	達成率	タクシー利用券の交付枚数は減りましたが、利用率は増えました。
			目標	1,701	
			実績	528	
			単位	枚	C

No.68	事務事業名	ボランティア養成及び地域交流事業		評価に対する今後の方向性	④方法改善
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者総合支援センターが支援の対象としている3障害(知的・身体・精神)について、講師から各障害についての概要や関わり方を学び、各障害に対する理解を深めていただき、地域活動支援事業(デイケア)でのボランティア活動をしていただく。 ・就労支援事業所等の各種出し物及び出店販売を行うことによって、地域住民に就労支援事業所等の活動内容を知ってもらうとともに、障害を持つ方とその家族や地域住民とが交流する機会を作り、障害に対する理解の輪を広げる。(直近では、令和5年11月1日に須玉ふれあい館にて開催) 			ボランティア養成講座は、通常の事業内容まで回復。今後も事業を継続していきます。 ほかほかハートまつりについては、懸案事項でありました開催時間の短縮等を行いました。障がい者本人及び事業所から軽スポーツ等の実施希望も出てきているので、事業内容の在り方を今後も検討していきます。	
指標に係る評価					
事業費	10千円	活動指標	ボランティア養成講座及びフォローアップ研修(隔年実施)参加人数	達成率	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症が治まりつつあったことから通常通りボランティア養成講座を実施し、令和5年度については隔年のフォローアップ研修を健康増進課と合同で実施しています。 ほかほかハートまつりについて、新型コロナウイルス感染症の影響で令和元年度より開催を見送っていましたが、令和5年度については開催時間を1日から半日に変更、参加者数を100人程度に規模を見直し実施しています。
			目標	20	
			実績	10	
			単位	人	A
担当課	福祉保健部福祉課	成果指標	ボランティア登録者数	達成率	ボランティア登録者数については増加しています。今後も現状を維持していきます。
			目標	30	
			実績	39	
			単位	人	A

No.69	事務事業名	相談支援事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	来所、訪問、電話などにより相談に応じ、必要な情報の提供や助言を行うものである。福祉サービスの利用援助、社会資源の紹介、専門機関等の情報提供、虐待の防止及び早期発見のため関係機関と連絡調整を行うとともに、権利擁護のための必要な援助を行うものである。			障害者の相談支援場所として、現状を維持し事業を実施していきます。	
指標に係る評価					
事業費	8,630千円	活動指標	相談実人員	達成率	相談件数については、実数及び延べ人数ともに目標を大きく上回る件数で推移しています。
			目標	360	
			実績	645	
			単位	人	A
担当課	福祉保健部福祉課	成果指標		達成率	
			目標		
			実績		
			単位		

事業評価結果(No.1～No.182)

No.70	事務事業名	地域活動支援センター事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	障害者総合支援センターにおいて週5回、創作活動(料理、絵手紙、習字、工作、手芸等)・農園芸作業(野菜作り、花の栽培等)・軽スポーツ(卓球、グラウンドゴルフ、ペタンク、散歩等)・社会見学のための外出などのプログラムを実施している。できるだけプログラムが自主的にできるよう、指導員2名が支援しながら運営している。来所が困難な方については、曜日により地区ごとに送迎を行ない、自分の車、公共の交通機関を使える方や徒歩で来られる方は自力で来所してもらっている。				地域活動支援サービスの場として、現状を維持し障害者総合支援センターがさぐるまを有効に活用し実施していきます。		
					指標に係る評価		
事業費	6,186千円	活動指標	参加実人員		達成率	B	デイケア参加数については、新型コロナ感染症拡大のため利用可能人数を15人から10人に減らす措置を取っています。また、利用者本人や家族、各種障害者サービス提供事業者等が利用を控えている状況なので減少しています。新型コロナ感染症が5類に移行したことから通常の参加数に増やす予定です。
			目標	2,000			
			実績	1,812			
			単位	人			
担当課	福祉保健部福祉課	成果指標	達成率		達成率		
			目標				
			実績				
			単位				

No.71	事務事業名	障害者総合支援センター管理事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	障害者の地域活動支援や基幹相談支援センターとしての役割を担う場所として、当施設の適正な維持補修管理を行い。光熱水費の使用、公用車の管理運用も適正に行うものである。				障害者の基幹相談支援センター及び地域活動支援の場として、現状を維持し施設を有効に活用していきます。		
					指標に係る評価		
事業費	3,285千円	活動指標	デイケア参加数		達成率	B	本人及び家族、各種障害者サービス提供事業者の相談に応じ、地域活動支援事業(デイケア)利用対象者を発見し利用を促進しています。相談件数も年々増加しており、市HPや広報において障害者総合支援センターの周知を図っています。
			目標	60			
			実績	41			
			単位	人			
担当課	福祉保健部福祉課	成果指標	達成率		達成率		
			目標				
			実績				
			単位				

No.72	事務事業名	被保護者就労支援事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	就労支援員は、被保護者からの求職相談に応じ、求職の方法・意識・心構え等について助言したり、ほくとハッピーワーク等と連携しながら、求人情報の収集・提供を行う。また、必要に応じて、履歴書の書き方や面接の受け方等について助言したり、就労が継続するよう、就業中の被保護者の相談に応じる。				本事業については効果的な事業であると考えておりますが、被保護者で働ける世帯(高齢者、母子、障害者、傷病者以外の世帯)の減少により、就労支援の対象者が減少しています。しかし、社会情勢の変化への対応ができるようしながら、支援対象者や支援内容はこれまでどおりを維持して実施していきます。		
					指標に係る評価		
事業費	3,494千円	活動指標	就労支援者数(延べ)		達成率	A	担当ケースワーカーと連携し、被保護者の意向を踏まえ就労希望者全員の支援を行いました。
			目標	12			
			実績	12			
			単位	人			
担当課	福祉保健部福祉課	成果指標	就職者数(延べ)		達成率	B	一部の方については、個人の能力、家庭の事情、雇い先の都合等により就労に至りませんでしたが、支援した5割以上の方が就職できました。
			目標	12			
			実績	8			
			単位	人			

事業評価結果(No.1～No.182)

No.73	事務事業名	医療扶助適正実施推進事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	医療扶助相談員を配置し、後発医薬品の利用促進、頻回受診・重複受診の防止を図るとともに、医療レセプト点検の委託により、医療行為と請求が適正に行われているかを確認する。				医学的見地から後発医薬品の使用が認められない場合や、薬局で在庫切れとなっていた場合などやむを得ない場合を除き、概ね後発医薬品が利用されるようになりましたが、この状況を継続していくためにも、引き続き被保護者及び医療機関の理解が得られるよう取り組みが必要となります。	指標に係る評価	
					指標に係る評価		
事業費	3,662千円	活動指標	指導対象の抽出数		達成率	毎月レセプトデータを分析し、多受診等の恐れがある方、後発医薬品の利用が可能と思われる方に対して、指導を行いました。	
			目標	12			A
			実績	12			
			単位	回			
担当課	福祉保健部福祉課	成果指標	後発医薬品使用割合		達成率	後発医薬品の利用割合は、全国平均で78.7%、山梨県内平均で76.9%であり、本市の88.73%(89%)は極めて高い水準となりました。	
			目標	75			A
			実績	89			
			単位	%			

事業評価結果(No.1~No.182)

No.74	事務事業名	高齢者緊急一時保護事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	養護者からの虐待を受けた者、並びに介護者の事情や認知症により在宅で生活することが困難となったとき、介護保険法第8条第9項に規定する短期入所生活介護を行う社会福祉法人等に対象者を一時保護する。			本来は、虐待や介護者の急病などの事案が発生しないことが望ましい状態です。そのためには、高齢者虐待に関する正しい知識の普及啓発と介護者の負担軽減を図る必要があります。引き続き普及啓発に努め、虐待の発生が疑われる場合等については、適切に対応するための人員(社会福祉士)の確保に努めていきます。 また、不測の事態が起きないことがよいですが、介護者の急病時にも本事業が利用できるようにしていきます。	
指標に係る評価					
事業費	299千円	活動指標	普及啓発活動回数 目標 20 実績 12 単位 回	達成率 B	事案が発生した場合に緊急に対応するものです。保護件数が増えることがないよう虐待防止等の普及啓発活動に力を入れ予防に努めています。
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	達成率	達成率	虐待等の事実に対して緊急に対応するものであり成果を問う事業ではないため、成果指標はありません。 令和5年度は、高齢者虐待2件、介護者の急病2件の事案で一時保護を実施しました。本事業は、虐待の事実確認や介護者の状況等、本人・家族に適切に対応することで安心安全を確保した生活を送ることにつながります。そのため、高齢者虐待通報や相談があった場合には、適切な対応がとれる体制を整備しています。

No.75	事務事業名	介護予防・生活支援サービス事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	・通所型サービスを週1~2回実施し交流や外出の機会を設け、運動機能の向上や生きがいがつくりを行う。各事業所の特性を活かし、高齢者の状態に応じた活動を行い、参加者自らが介護予防に積極的に取り組めるよう支援する。 ・訪問型サービスでは安定した生活を送れるよう、居宅に訪問し、本人の状態に合わせた生活支援を行う。 ・サービスC事業では、要支援者を対象に筋力元気あっぷ事業を年間3クールに分けて開催する。			介護人材が不足する中で住民主体型のサービスの創設が重要であることから団体育成に努める必要があります。社会福祉協議会との連携を強化し、住民と協働した取組みを行い、総合事業と合わせた支え合い地域づくりを進めていきます。	
指標に係る評価					
事業費	72,623千円	活動指標	通所型サービスBの実施箇所 目標 4 実績 1 単位 箇所	達成率 C	ボランティア等による訪問型サービスBが1カ所に減少し運営されました。 通所型サービスBは昨年度より1箇所減り1団体のみの実施となりました。
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	要支援者・事業対象者が要介護認定に移行しない率 目標 80.0 実績 82.2 単位 %	達成率 A	総合事業利用者が要介護認定に移行しなかった方が目標値を上回りました。

No.76	事務事業名	介護予防ケアマネジメント事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	介護予防サービスの計画を作成し、自立に向けたサービスを提供し、目標達成状況の評価を行う。			継続して職員のスキルアップを図り、高齢者が有する能力に応じ、自立した生活が送れるよう適切なマネジメントを実施します。高齢者が増加することで対象者が増加しますので業務の効率化も図ります。	
指標に係る評価					
事業費	1,001千円	活動指標	ケアマネジメント実人員 目標 580 実績 643 単位 人	達成率 A	高齢者が増加しているため対象者も増加しています。対応できる職員を確保し対象者に適切にケアマネジメントを実施しています。
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	支援を行い、自立になった人数 目標 10 実績 23 単位 人	達成率 A	対象者に必要なサービスが提供出来るようなケアマネジメントを実施し、自立支援に向けて支援し、成果が見えています。

事業評価結果(No.1～No.182)

No.77	事務事業名	介護予防普及啓発事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	①介護予防講演会:開催1回、福祉・健康介護をテーマに健康増進課等との共同開催を行う。 ②はつらつシルバーのつどい事業:保健福祉推進員等が市の指定した専門講師を招いて、地区公民館等で介護予防講座を開催する。 ③介護予防応援WEBサイト製作事業:介護予防に役立つ情報を集約し、市民に情報発信するためのWEBサイトをホームページ上に開設し、情報発信に努める。 ④人生100年時代のマネジメント講座:健康、口腔、栄養、お金等をテーマに各専門講師を招いた講座を開催する。 ⑤フレイル予防事業:トレーナーやサポーターの育成や研修を実施し、地域ごとにフレイルチェックを開催する。				①介護予防講演会 ②はつらつシルバーのつどい ③人生100年時代マネジメント講座の各事業を計画通り実施するとともに、介護予防応援Webサイトの動画や写真のリニューアル、掲載内容の充実を行うことで、介護予防の普及啓発を図ります。		
					指標に係る評価		
事業費	1,420千円	活動指標	介護予防講演会参加者数(隔年)	達成率	福祉・健康介護をテーマに健康増進課等との共同開催をしました。 はつらつシルバーのつどい事業で、地区公民館等で住民が主体となり講師を招き介護予防講座を開催しています。好評なため、今後周知拡大していきます。		
			目標	170			B
			実績	136			
単位	人						
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	高齢者の住民主体の通いの場の設置数	達成率	補助金改正し、設置数は減少しましたが、介護予防を目的とした通いの場が残りました。今後も活動をPRすることで設置数の増加につなげていきます。		
			目標	65			B
			実績	44			
単位	箇所						

No.78	事務事業名	介護予防サポートリーダー養成事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	養成講座、フォローアップ研修を実施し、介護予防サポートリーダーの育成を図るとともに、介護予防事業への参加を通じて、高齢者の特徴やかかわり方を学び、それぞれの住む地域の公民館等で、高齢者が定期的に交流が図れる「公民館カフェ」「高齢者通いの場」等の担い手として活躍できるように支援を行う。 令和5年度 173名(令和6年3月31日現在)				介護予防サポートリーダーも高齢になるため、毎年、新規の方を対象とした介護予防サポートリーダー養成講座が必要となります。地域での介護予防の普及や実践を行っていく上でも、介護予防サポートリーダーのフォローアップ研修は重要ですので、継続し支援していく必要があります。		
					指標に係る評価		
事業費	733千円	活動指標	介護予防サポートリーダーの登録者数	達成率	介護予防サポートリーダー養成講座を開催し、新たに15名のサポートリーダーが登録となりました。フォローアップ研修を10回開催(延べ339名参加)し、知識の取得や技術のスキルアップが図られました。		
			目標	165			A
			実績	173			
単位	人						
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	地域活動の参加者数	達成率	普及啓発事業や介護予防サポートリーダーの養成を継続し設置数の増加を目指します。		
			目標	450			A
			実績	914			
単位	人						

No.79	事務事業名	介護支援ボランティア事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	ボランティア登録者が「受入施設で行ったボランティア活動」や「市等が行う介護予防に資する講演会等への参加」の活動を行うごとにポイントを付与し、年度末に本人の申し出により活動交付金を交付することで、ボランティア継続のモチベーションアップ、住民主体の介護予防活動の創出や自身の介護予防につなげる。				当該制度のPRをイベント・情報誌等で広く行い、ボランティア登録者数、事業者数等を増やし、高齢者の社会参加活動を通じた介護予防を推進していきます。		
					指標に係る評価		
事業費	834千円	活動指標	ボランティア研修の開催	達成率	情報誌「つながる笑顔」の発行やセミナー開催により、ボランティア情報の周知に力を入れました。		
			目標	5			A
			実績	8			
単位	回						
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	ボランティア新規登録者数	達成率	ボランティアの登録者が毎年増加し、ボランティアの輪が広がっています。今後も、多くのボランティア登録者が増えるよう、イベント、講座等において呼びかけを行います。		
			目標	5			A
			実績	10			
単位	人						

事業評価結果(No.1～No.182)

No.80	事務事業名	地域リハビリテーション活動支援事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	地域における介護予防の取組を機能強化するため、通所介護事業所、訪問介護事業所、住民主体の交流の場等にリハビリ専門職を派遣し、自立支援の観点から効果的に介護予防に取組めるよう技術的助言を行っていく。			今後も事業を継続するため、参加者、従事者のニーズにあった充実した事業が展開できるように、事業の改善に努めます。 また、専門職のスキルアップに向けた研修への取り組みについても実施していきます。 なお、地域密着型サービス事業所等への機能訓練・口腔機能向上・栄養改善の取組を推進するため、継続して市内事業所において開催していきます。		
				指標に係る評価		
事業費	113千円	活動指標	住民主体の交流の場への支援		達成率 C	高齢者通いの場への派遣はありませんでしたが、地域密着型サービス事業所に対してオンラインで機能訓練・口腔機能向上・栄養改善の取組を指導しました。支援者の自立に対する意識や介護予防の必要性を確認することにつながっており、介護予防の推進が図られています。
			目標	10		
			実績	0		
			単位	回		
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	元気高齢者の割合		達成率 B	ボランティアが中心となって活動している高齢者通いの場や介護保険事業所等にリハビリ専門職を派遣することで、介護予防・自立支援への意識が高まることにつながるため、今後も周知事業を推進していきます。
			目標	87.3		
			実績	86.1		
			単位	%		

No.81	事務事業名	高齢者交流の場促進事業		評価に対する今後の方向性	⑥縮小・継続	
事業内容	①住民主体のボランティアによる通いの場を地域で月1回～週1回以上開催し、レクリエーションや運動、交流などを行う団体に、活動費の補助を行い、地域での支え合いの環境づくりや高齢者が地域で社会参加できる介護予防活動の育成や支援を行う。 ②高齢者交流の場運営団体交流会の開催(隔年)			面積が広い本市にあっては、身近に通いの場あることが理想ですが、地域によってバラつきがあることが課題です。補助金交付額が増加したため補助金適正化ガイドラインに沿って見直しをしました。		
				指標に係る評価		
事業費	1,352千円	活動指標	高齢者交流の場補助金交付数		達成率 B	補助金交付の説明会を開催し、制度の理解を図りました。また、事務手続きについてもスムーズに行えるよう指導しましたが、設置数は昨年度より減少しました。
			目標	53		
			実績	39		
			単位	箇所		
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	高齢者の住民主体の通いの場の設置数		達成率 B	補助金を改正したところ、設置数が昨年度より減少しましたが、補助金交付の説明会を開催し、制度の理解を図りました。また、事務手続きについてもスムーズに行えるよう指導した結果、45か所の支援を行うことができ、より適正に運営できる通いの場が残りしました。
			目標	65		
			実績	44		
			単位	箇所		

No.82	事務事業名	総合相談事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	電話や来所による相談の受付後、必要に応じ、家庭訪問等による実態把握とチームアプローチで相談支援を行う。			高齢者の増加に伴い、認知症の方、身寄りのない方、8050問題等支援困難ケースや虐待対応が増加しています。また、問題が重度化してからセンターに相談が入ることがあらゆる機会をとらえてセンターの周知を図ります。課題解決が図れるよう職員のスキルアップを図ると共に人員体制を整備し機能強化を図ります。		
				指標に係る評価		
事業費	3,506千円	活動指標	総合相談件数		達成率 A	相談件数及び新規の相談件数は増加しています。独居、身寄りのない方、身寄りがない方も支援が受けられない方、地域との関わりを持たない方や虐待など支援困難ケースの相談が増加しています。民生委員会議や区長会等で地域包括支援センターの周知をすることで市民に周知ができています。
			目標	4,200		
			実績	7,232		
			単位	件		
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	総合相談解決件数		達成率 A	総合相談に寄せられた相談を100%対応できるよう管理し、その結果100%対応できました。
			目標	7,232		
			実績	7,232		
			単位	件		

事業評価結果(No.1～No.182)

No.83	事務事業名	権利擁護事業		評価に対する今後の方向性	①拡大・充実
事業内容	高齢者虐待への対応、虐待防止法の周知・啓発活動。成年後見制度の普及・啓発活動。 高齢者が消費者被害に遭わない為の啓発活動。			権利擁護支援が必要な場合において、支援困難な状況になる前から予防的アプローチができるように、普及啓発を行いながら早期発見に努めます。特に、身寄りのない高齢者の増加から地域包括支援センターの強化を行い、関係機関と連携しながら権利擁護支援を行える体制をより一層整えられるようにしていきます。	
指標に係る評価					
事業費	63千円	活動指標	普及啓発活動回数 目標 20 実績 24 単位 回	達成率 A	地域の高齢者を見守る民生委員に対して、高齢者虐待や消費者被害についての普及啓発に務めました。合わせて、成年後見制度の利用ニーズの増加に合わせて、介護保険関係事業等に普及啓発を行いました。
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	高齢者虐待通報相談件数 目標 15 実績 9 単位 件	達成率 A	高齢者虐待の相談通報件数や成年後見制度が必要な事案は毎年増加しています。普及啓発の成果が見られ、早期対応に繋がっています。

No.84	事務事業名	地域包括支援センター運営事業		評価に対する今後の方向性	①拡大・充実
事業内容	地域包括支援センターの運営。 地域包括支援センター運営協議会の開催。			介護保険法に基づき運営を行っているため、今後も継続運営を行います。 虐待や困難事例等の複雑化・増加により、支援に係るアプローチも増加している現状があります。困難事例への対応を的確にタイミングを逃さず支援するには、三職種(主任介護支援専門員、保健師、社会福祉士)のチームアプローチは不可欠で、それぞれの専門性を発揮することで地域包括ケアの推進につながります。 今後さらに増加する多問題を内包する事例への支援に対応するためには、専門職の確保充実をすることが必要で、3職種全ての専門職の正規職員を確保できるよう、職員の育成計画を考えていくことが重要になります。	
指標に係る評価					
事業費	36,552千円	活動指標	地域包括支援センター運営協議会開催回数 目標 2 実績 4 単位 回	達成率 A	地域包括支援センター運営協議会を開催し、センターの職員体制を含め業務の評価及び意見を聴取することで業務の適切、公正かつ中立な運営の確保につながっています。また、介護保険策定計画において実施した調査結果を協議会で共有することで、地域課題を把握することにもつながり、課題解決に向けて、取り組みを検討する機会にもつながっています。
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	達成率	達成率	成果指標としての数値は出にくいですが、地域包括支援センター運営協議会を開催することにより、事業評価を効率的に実施することができ、結果をいかして効果的な次年度の計画立案が行なっています。

No.85	事務事業名	地域ケア会議推進事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	支援困難型地域ケア個別会議・自立支援型地域ケア個別会議等を開催し地域課題を抽出し、抽出された地域課題を解決するために地域ケア推進会議で検討する。			自立支援型地域ケア個別会議や支援困難型地域ケア個別会議は、個別の生活課題から地域の生活課題を抽出するためのツールとして機能しています。高齢者の生活課題が複雑化している中で医療、介護等の専門家から課題に対する意見は貴重であり課題解決のための意見にもなっています。地域ケア推進会議は課題解決のための意見をまとめ上げる機能と必要に応じて政策提言をする機能があるので継続して開催します。	
指標に係る評価					
事業費	209千円	活動指標	支援困難型地域ケア個別会議開催回数 目標 8 実績 19 単位 回	達成率 A	支援困難型地域ケア個別会議は必要の方に対して随時開催し年間9件に対して19回開催しました。自立支援型地域ケア個別会議は年間計画に基づき4回8件を検討しました。個別のケースから地域の高齢者の生活課題の抽出をしました。
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	地域課題のカテゴリーの抽出 目標 5 実績 12 単位 件	達成率 A	地域包括ケアシステムを構築するためには、各会議を開催する中で個別の課題から地域課題を抽出し、ネットワークや地域づくり・資源開発等の政策提言をしていく必要があります。令和5年度は、地域ケア推進会議の開催には至りませんでしたが、高齢者の見守り体制構築に向けて庁舎内外の関係部署に対して行う予定のアンケート内容を検討し、高根総合支所地域市民課に協力を得て疑似的に実施しました。

事業評価結果(No.1～No.182)

No.86	事務事業名	介護給付等費用適正化事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	・住宅改修の点検 受給者の動線の確認と理学療法士、作業療法士の意見を参考にケアプランとの整合性を点検、施工指導を行う。 ・介護給付費通知 受給者本人(家族)に対し、サービスの請求状況・費用等について通知する。 ・ケアプラン点検 介護支援専門員が作成した居宅介護サービス計画書等の記載内容を事業者から提出や訪問調査により点検・指導する。				限られた財源や時間を有効活用し、効果を最大限に上げるため、効率的にケアプラン点検等を実施できるよう、適宜、PDCAサイクルによる進捗管理を行います。		
	指標に係る評価						
事業費	0千円	活動指標	住宅改修の事前確認件数		達成率	第6次ほくとゆうゆうふれあい計画に位置付けられた介護給付等費用適正化事業の取組と目標の数値と整合しています。	
			目標	90			B
			実績	80			
単位	件						
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	不適切な給付の発見件数		達成率	国保連の給付適正化システムから提供される情報を活用し点検を行った結果、不適切な給付は見られませんでした。	
			目標	0			A
			実績	0			
単位	件						

No.87	事務事業名	家族介護支援事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	介護者等の交流を促進し、精神的負担の軽減を図るとともに、適切な介護知識や技術を習得できるよう教室を開催する。				要介護者の増加に伴い、家族介護者が精神的、身体的に大きな負担を抱えるケースも増えています。家族介護者が抱えている問題を共有し、社会全体で家族介護者を支えていくためには、今後も介護者交流会を継続していく必要があります。		
	指標に係る評価						
事業費	250千円	活動指標	交流会の開催回数		達成率	健康づくりを兼ねた講演や、定期的な交流会を開催しています。目標回数より多く実施ができています。	
			目標	6			A
			実績	14			
単位	回						
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	交流会の参加者数		達成率	介護者のみならず、支援者も参加して交流が行われています。目標人数より多くの方が参加しています。	
			目標	250			A
			実績	307			
単位	人						

No.88	事務事業名	介護用品支給事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	介護用品(紙おむつ等)を次の限度額の範囲内において、月に1回在宅へ直接配達(現物支給)する。 ・要介護4・5 月限度額6,000円 * R3より課税世帯の場合年6万円までの支給制限あり ・要介護1～3、要支援1・2で介護認定調査票における排尿・排便が全介助の者 月限度額4,000円 ・要介護1～3、要支援1・2で介護認定調査票排尿・排便が一部介助の者 月限度額2,000円				現在、地域支援事業の任意事業で予算措置されているが、国が事業見直しの方向を示してきている。R6年度からの国の第8次介護保険計画においても、地域支援事業の交付金対象となっているが、国からの事業見直し状況や、事業の性質を鑑み、介護用品を必要とする高齢者を介護する者の身体的・精神的・経済的負担を軽減することである目的を考慮の上、今後の事業の内容や、財源について、協議していく必要があります。		
	指標に係る評価						
事業費	4,713千円	活動指標	要介護者認定件数(おむつ支給者数)		達成率	介護用品支給事業実施要綱に基づく、在宅の要介護者の支給認定の決定を行っています。	
			目標	170			A
			実績	224			
単位	人						
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	支給回数(延べ人数)		達成率	介護用品を支給することで、介護者の精神的、経済的負担の軽減につながっています。	
			目標	1,500			B
			実績	1,470			
単位	件						

事業評価結果(No.1～No.182)

No.89	事務事業名	成年後見制度利用支援事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	①成年後見制度の申立てに係る費用の助成(収入印紙代、郵便切手代、診断書及び鑑定料その他申立てに必要なもの) ②成年後見人等の報酬に係る費用の助成(在宅生活の場合は月額28,000円、施設入所の場合は月額18,000円)			成年後見制度を利用促進していくための中核的な機関の設置がれたため、必要時には連携を図り、成年後見制度が必要な方が適切に制度活用ができるようになっていきます。	
				指標に係る評価	
事業費	35千円	活動指標	普及啓発活動回数		達成率 B
			目標	20	
			実績	12	
単位	回	成年後見制度を知ってもらえるように、関係機関にポスター及びパンフレットを配布しました。			
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	申立て費用、報酬の助成をした数		達成率 A
			目標	4	
			実績	8	
単位	人	成年後見制度の利用促進を目的とし、実務的な所管を福祉課に設け、中核的な機関が設置されたため、必要時には連携を行い対応しました。			

No.90	事務事業名	認知症サポーター等養成事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	一般市民・小中高校・民生委員などの希望者に対して、認知症の正しい理解と認知症の方への対応方法を学ぶ「認知症サポーター養成講座」を開催し、地域で認知症の人や家族を支えるサポーターを養成する。また認知症サポーター養成講座の企画・運営を行うキャラバン・メイトへのフォローアップ研修を行い、自主的な活動の場を増やす。			今後も市民が認知症についての理解を深め、地域全体で支援できる体制を構築するため、幅広い年齢層の市民に対して認知症サポーター養成講座を実施していきます。また、養成講座を受けた方へステップアップ講座の受講を促し、実際に地域で活動ができる体制の構築を目指していきます。	
				指標に係る評価	
事業費	242千円	活動指標	認知症サポーター養成講座の開催数		達成率 A
			目標	20	
			実績	24	
単位	回	キャラバンメイトのチームによる認知症サポーター養成講座の開催回数は目標値を上回っており、キャラバンメイトが主体的に活動できています。			
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	認知症への理解及び認知症サポーターの役割の理解度		達成率 B
			目標	90	
			実績	73	
単位	%	認知症サポーター養成講座修了者数は毎年増加しており、啓発活動は進んでいます。認知症サポーターの役割の理解については、講座実施前後で理解度は上がっていますが、目標値である理解度90%には及んでいません。			

No.91	事務事業名	在宅医療・介護連携推進事業		評価に対する今後の方向性	②維持・充実
事業内容	1.医療機関・介護保険事業者等マップ作成。2.医療・介護関係者等による会議の開催。3.医療・介護関係者間の情報共有ツールの整備。4.在宅医療・介護連携相談窓口の設置。5.多職種対象の「グループワーク」や「研修会」の開催。6.在宅医療・介護の市民向け講演会等の開催。			在宅医療・介護連携推進に向けて、今年度はプランを作成し取り組みを明確にしています。今後はプランに基づいて関係者がとらえ合いを取組を進め、推進会議を中心にPDCAを図りながら、より良い在宅医療・介護連携の実現を目指して体制づくりを継続していくことが重要になります。	
				指標に係る評価	
事業費	3,669千円	活動指標	医療・介護関係者の研修会開催回数		達成率 A
			目標	3	
			実績	10	
単位	回	市民の医療や介護における生活圏域が市内のみでないため近隣の関係職種を交えて連携をしていく必要があります。今年度は、山梨県央連携中枢都市圏における研修会を協働で実施したことにより、在宅医療・介護従事者が研修会に参加して更にスキルアップすることができ、市域を超えて様々な内容を連携する必要性について考える機会となりました。			
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	在宅医療・介護の市民公開講座参加人数		達成率 A
			目標	100	
			実績	178	
単位	人	コロナ過で市民への普及啓発が難しい状況にありましたが、5類に移行したため、講演会を開催し、在宅医療等を考える機会となりました。身寄りのない高齢者が増加している状況で、多くの市民や関係者を交えてACPなど終活について考える機会に繋がりました。			

事業評価結果(No.1～No.182)

No.92	事務事業名	生活支援体制整備事業		評価に対する今後の方向性	②維持・充実
事業内容	①第2層生活支援コーディネーターを配置し、地域課題の把握や分析、地域住民・関係機関との地域ネットワークの構築、協議体の設置等を行う。 ②地域の中学校区域といわれる第2層協議体を各町に設置し、住民主体型の支え合い地域づくりを構築する。 ③生活支援・介護予防サービスの体制整備に関する協議体を開催し、協議体の機能と役割、今後の取り組み等について協議を行う。			高齢者が住み慣れた地域で生活できるよう、在宅生活を支えるすそ野を広げるため、生活支援・介護予防サービスの開発や担い手の養成、地域住民や介護事業所などの関係者間のネットワークを構築し、話し合いの場である協議体の設置に向けて地域に向けて支援をすると共に、生活支援体制を充実させていきます。 また、地域の多様な主体(住民、民間企業等)と連携・協働を図り、生活支援サービスの創出や既存の社会資源の把握、担い手の発掘・育成、支援を必要とする高齢者と結びつけるための取組等を行っていきます。	
指標に係る評価					
事業費	9,847千円	活動指標	第1層協議体の会議の開催数 目標 3 実績 0 単位 回	達成率	令和5年度より、地域包括ケア推進会議と第1層協議体を一体的に行うこととなったが、開催はなし。第2層生活支援コーディネーターを2名配置。地域支えあい地域づくりの話し合いの場となる第2層協議体の設置に向けて、市社会福祉協議会と連携を図り毎月定例会を実施すると共に、啓発活動として支え合いの地域づくり事業の推進を図るため、「支え合いのまちづくりフォーラム」を開催しました。
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	「支え合いまちづくり勉強会」の開催 目標 3 実績 2 単位 回	達成率	住民向けの啓発活動である「支え合いのまちづくりフォーラム」開催後、地域づくりに関心がある住民との勉強会を2回開催し、新たな社会資源の担い手や協議体への参加者となり得る人材を把握することができました。

No.93	事務事業名	認知症総合支援事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	①認知症の早期診断、早期対応に向けた支援体制を構築するため、「認知症初期集中支援チーム」を配置する。 ②認知症地域支援推進員を配置し、認知症の人や家族を支援する相談業務や医療・介護の連携の強化を図る。 ③認知症ケアに携わる多職種協働のための研修会などを行う。 ④認知症の人や家族を初期段階から支援するチームオレンジの設置や、認知症の人を見守る認知症高齢者等支援ネットワーク体制を整える。			今後も認知症への理解を深めるため一般市民や関係機関への普及啓発を行います。認知症になっても住み慣れた地域で適切な医療・介護の提供を受けられるような体制を整備し、認知症の人や家族が安心して生活できる地域づくりを行っていきます。	
指標に係る評価					
事業費	7,219千円	活動指標	認知症初期集中支援チームの配置 目標 2 実績 1 単位 箇所	達成率	認知症初期集中支援チームは1チーム配置し、八ヶ岳南麓地域の方への支援を行っています。塩川釜無川流域地域への支援拡大が課題です。チームオレンジは現在1チームで活動を行っています。今後さらなるオレンジチームの設置が求められます。
担当課	福祉保健部介護支援課	成果指標	多職種協働研修会 目標 2 実績 2 単位 回	達成率	多職種協働研修会を2回開催し、認知症の理解と支援方法等について研修とグループワークを行いました。多職種が協働して認知症の理解を深めることで、在宅医療や介護の現場において、認知症への対応力や専門性の向上が図れています。また、顔の見える関係作りの一助ともなり、連携を図ることにつながっています。

事業評価結果(No.1～No.182)

No.94	事務事業名	救急医療体制負担金			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	小児救急医療事業費への負担金 小児救急医療研修会への参加 こども救急ガイドブックの配布				今後も引き続き、安心して受けられる医療体制づくりのため、救急医療体制を維持していく必要があります。	
					指標に係る評価	
事業費	4,876千円	活動指標	小児救急延べ患者人数		達成率	小児救急受診患者は年々増加しています。
			目標	195		
			実績	324		
			単位	人		
担当課	福祉保健部健康増進課	成果指標	小児救急医療センターの設置数		達成率	小児救急医療センターは、県内に2センター設置されています。
			目標	2		
			実績	2		
			単位			

No.95	事務事業名	休日夜間急患診療体制整備事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	休日の日中及び平日の夜間時の救急医療体制を韮崎市・甲斐市(旧双葉町)と共同で北巨摩医師会へ委託し、診療事業を実施(在宅当番医制) また、患者の受入れに対応できる医師等医療従事者を確保するため、輪番病院を委託(病院群輪番制)				今後も引き続き、安心して受けられる医療体制づくりのため、在宅当番医制及び病院群輪番制を維持していく必要があります	
					指標に係る評価	
事業費	33,255千円	活動指標	休日及び夜間における当番医数		達成率	休日夜間時に受診する人数は、新型コロナウイルスが5類に移行したことに伴い、受診者が増加し、特に休日の患者が急増しました。
			目標	44		
			実績	44		
			単位	病院		
担当課	福祉保健部健康増進課	成果指標	休日及び夜間における患者延べ人数		達成率	延べ診察日数は、ほぼ横ばいです。
			目標	888		
			実績	2,173		
			単位	人		

No.96	事務事業名	健康づくり推進事業			評価に対する今後の方向性	⑥縮小・継続
事業内容	いいことチャレンジ2023 ・市民が、9月の健康づくり普及月間にあわせて実施した健康づくり活動を報告し、取り組んだ健康づくりの内容を周知することで市民の健康づくりのきっかけづくりとする。 ・第3次健康増進計画の категория に着目した取り組みを意識して実践できるように促すようにし、今年度は「こころ」と「休養」をテーマに推進を図る。				第3次健康増進計画を策定するために実施した市民アンケートでは、いいことチャレンジの認知度は21.6%で、市民のおよそ8割が事業を知らないという結果でした。健康増進計画重点テーマの推進を図りながら、引き続き周知をすすめ、より定着するために事業を長く続け、9月だけでなく年間を通して健康づくりにチャレンジしていける環境づくりをしていきます。	
					指標に係る評価	
事業費	133千円	活動指標	いいことチャレンジ2023普及啓発手段数		達成率	いいことチャレンジ2023を9月の健康増進普及月間にあわせて実施しました。事業を広く周知するため、案内チラシを全戸配布他、公共施設や市内商業施設や温泉施設への設置、食生活改善推進員、母子愛育会、保健福祉推進員等の組織や中学校保護者などに配布、本庁舎や総合支所へのぼり旗設置や広報紙・ホームページ・CATV・LINEへの掲載など、周知を積極的に行いました。
			目標	8		
			実績	8		
			単位	手段		
担当課	福祉保健部健康増進課	成果指標	いいことチャレンジ2023参加者数		達成率	令和2年度から一旦落ち込んだ報告件数ですが、令和4年度からは報告者数がコロナ禍以前より増加しています。第3次健康増進計画の categoria に着目した「こころ」と「休養」の取り組みは38%と令和4年度より29ポイント向上しました。
			目標	2,600		
			実績	2,543		
			単位	人		

事業評価結果(No.1～No.182)

No.97	事務事業名	食生活改善推進員養成・活動事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 新しい食生活改善推進員を養成するために講習会を実施する。 食生活改善推進員が地域で開催する研修会や勉強会を支援する。 食生活改善推進員は食を通じた健康に関する知識・情報・技術を身につけ、習得したものを地域の人々に講話や調理実習で周知していく。 			<p>食生活改善推進員の組織を維持し、地域における活動をさらに推進していくことが、地域の食育を推進し、自分の健康を自分で守るための知識を市民が深めることに繋がります。また、食生活改善だけでなく、母子や介護、福祉に係る地域に密着したボランティア活動も行っています。会員が徐々に減少していますが、現状の活動が維持できるよう新規会員を増やすとともに、より効果的な活動方法を検討していきます。</p>		
				指標に係る評価		
事業費	1,545千円	活動指標	養成講習会開催回数 (19.5時間1クール)	達成率	<p>養成講習会を1クール実施し、17名が新会員となりました。代表者研修会は、包括連携協定を締結している㈱はくばくによる大麦の勉強会と、大塚製薬による熱中症予防の研修を実施しました。情報提供だけでなく、調理実習も行うことができ、知識・技術の向上を図ることができました。</p>	
			目標	1		A
			実績	1		
単位	回					
担当課	福祉保健部健康増進課	成果指標	地区活動回数	達成率	<p>食生活改善推進員による地域での地区伝達講習会は、新型コロナウイルス感染症が感染症法上5類に移行したことを受け、活動拡大を目指しました。しかしながら、感染症に対する不安や各地区の方針などもあり、地域によって活動状況に差が出ました。一方で、調理を伴った活動や集団を対象にした活動も少しずつ再開することができ、参加者数増加につながりました。</p>	
			目標	160		B
			実績	118		
単位	回					

No.98	事務事業名	健康づくり推進協議会運営事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 第3次北杜市健康増進計画の策定、推進、評価を審議する。 健康づくりに関する知識の啓発・普及に関すること等について審議する。 保健、医療、福祉、教育等の代表者15人に2年間の任期で委嘱する。 			<p>各種団体の代表者で構成される健康づくり推進協議会での意見は、市民の意見を反映したものです。委員の意見を事業に反映することや市の事業を委員へ説明することで理解を深めていただくことができます。お互いに協働して健康づくり事業を推進するための大切な機会ととらえて継続して実施していきます。</p>		
				指標に係る評価		
事業費	76千円	活動指標	協議会開催回数	達成率	<p>第3次北杜市健康増進計画に基づいた議題とし、今年度は重点目標「こころ」「睡眠」「休養」についてご意見をいただきました。予定通り3回開催できました。メディアと睡眠の関係など、教育関係者なども多く、活発な意見が出ました。3回目開催時には、重点目標に添った市の事業の説明と、令和6年度の重点目標「身体活動と運動」についての意見をうかがう事も出ています。</p>	
			目標	3		A
			実績	3		
単位	回					
担当課	福祉保健部健康増進課	成果指標	運動をしていない人の割合	達成率	<p>第3次北杜市健康増進計画の中で、指標を「週2回以上運動する人の割合」から「運動をしていない人の割合」としました。令和元年度は、52.4%のところ令和4年度は50.6%と減少しています。健康に関する正しい知識を周知することで、更なる減少を目指しますが、効果的な情報周知ができるよう、健康づくり推進協議会で委員のご意見をいただいています。</p>	
			目標	50.0		B
			実績	45.5		
単位	%					

No.99	事務事業名	自殺対策強化事業		評価に対する今後の方向性	②維持・充実	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成事業(地域の支援者の育成・確保):ゲートキーパーの養成 普及啓発事業:こころの体温計チェックサイトの開設、9月の自殺予防週間・3月の自殺対策強化月間の際に広報に記事を掲載、こころの健康相談窓口のチラシ・リーフレットの配布、こころの健康づくり講演会の実施 メンタルヘルス事業:市内高校生への講演会、小中学生への授業 ハイリスク地対策:市内ハイリスク地への対策の実施 			<p>自殺は追い込まれた上での死であり、その対策は、行政と地域が一体となって取り組んでいく必要があります。一人でも多くの命を救うためには、継続的な活動が必要となります。市民の自殺を防ぐための普及啓発活動に加え、ハイリスク地での自殺を防ぐための対策事業の実施をしていきます。</p>		
				指標に係る評価		
事業費	5,302千円	活動指標	ゲートキーパー養成講座開催回数	達成率	<p>ゲートキーパー養成事業は、はじめて一般住民を対象に開催し、合計46名がゲートキーパーの役割について理解を深めることができました。高校生メンタルヘルス事業では、ストレスコーピングを中心に、市内2つ高校の高校生457名に実施しました。</p>	
			目標	2		A
			実績	2		
単位	回					
担当課	福祉保健部健康増進課	成果指標	自殺率(居住地)	達成率	<p>居住地ベースの自殺率です。自殺率が減少していくためには、市民・地域・市が一体となって一人ひとりのこころの健康と地域で支える体制づくりが必要です。自殺対策計画に基づく事業を続けていくことが自殺率減少につながっていきます。</p>	
			目標	12.0		B
			実績	21.7		
単位	%					

事業評価結果(No.1～No.182)

No.100	事務事業名	保健福祉推進員活動事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続		
事業内容	・研修会の開催 1回目：委嘱状の交付、推進員の役割と活動について説明 2回目：北杜市の現状説明、健康セミナー 3回目：1年間の活動の振り返り			地域での担い手不足や、他の役職との兼務の負担を訴える地域もあり、地区ごとの選出数の見直しや、保健福祉推進員の役割、今後の活動内容について、地域のニーズを把握しながら検討していく必要があります。保健福祉推進員になることで、地域の実情を把握しやすく、顔なじみの関係で健康づくりの活動を誘い合っていくことで、地域に密着し継続した活動につながるため、地域の健康づくりの要として今後も継続していけるように研修会の内容等を工夫していきます。			
				指標に係る評価			
事業費	659千円	活動指標	研修会実施回数		達成率	研修会を、3回計画し全て予定通り開催することができました。2月開催の第3回目の研修会については、長坂地区が降雪の中、高根地区が降雪後の開催となった事なども影響し全体的に参加率は少なくなっていますが、予定していた全ての地区での開催ができました。	
			目標	3			A
			実績	3			
単位	回						
担当課	福祉保健部健康増進課	成果指標	地域の健康や活動の理解度		達成率	研修会は、保健福祉推進員の役割、活動内容、地域の健康課題について研修を行い、その後の研修会では、活動をしていく中で周囲がどの様に活動をしているのかわかり、自分たちの地域で活かせることを目的としてグループワークを中心とした研修会を実施しました。参加型の会としたこともあり、終了後のアンケートは全ての会で、90%以上の数字が出ています。	
			目標	100			B
			実績	96.7			
単位	%						

No.101	事務事業名	健康相談事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続		
事業内容	・本庁で総合相談窓口を開設し、市民の健康問題について、対面・電話・訪問等による指導、助言を行う。 ・総合健診結果報告会として各地区を巡回し、精密検査の受診勧奨や個々の生活状況にあった生活習慣の改善に向けた指導、支援を行う。 ・口腔内の環境を改善し歯周疾患の増加を防ぐため、総合健診時に歯科衛生士による歯科相談、歯磨き指導等を行う。			生活習慣病や重症化予防に対する相談指導は、市民の身体的負担の軽減に加え、医療費の抑制にもつながるため、継続した取り組みを行う必要があります。市民が自身の健康状況を知り、適切な医療を受ける助けとなることで、健康寿命を延伸する効果が期待でき、生き生きとした健康的な市民が増えます。生活習慣の改善や数値の改善には、市民自身の気づきや行動の変容、長期的な継続が必要となります。改善に向けた専門職の寄り添った相談体制を維持するとともに、自身の健康に関心を持ち、行動できる市民を増やすための周知活動も積極的に実施していきます。			
				指標に係る評価			
事業費	392千円	活動指標	所内相談窓口開設日		達成率	全体の所内相談数は、R元は約1700件、R2は約3500件、R3は約3700件、R4は約2800件となっており、令和5年度は2865件とほぼ横ばいの状況です。相談内容も個別性が高くなっており、専門職が市民に寄り添った相談を実施しました。引き続き、相談窓口を毎日開設し、対応していきます。	
			目標	243			A
			実績	243			
単位	日						
担当課	福祉保健部健康増進課	成果指標	総合健診で血圧が正常な人の割合		達成率	第3次健康増進計画の指標に合わせ、成果指標の目標数値を修正しました。保健指導については総合健診の判定に基づき、血圧や血糖値などの生活習慣病に関する指導を対面で実施しました。また、精密検査の受診勧奨を電話・訪問・通知と手段を工夫して行いました。生活習慣の改善を行っても結果が数値に現れるのには時間がかかりますが、重症化予防のための指導を今後も継続していきます。	
			目標	63.7			B
			実績	58.1			
単位	%						

No.102	事務事業名	健康診査事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続		
事業内容	各種がん検診(子宮頸がん検診を除く)は、総合健診として8地区の公共施設にて実施します。 ・胃がん検診：胃部X線検査 ・肺がん検診：胸部X線検査、肺ヘリカルCT検査 ・大腸がん検診：便潜血検査 ・肝がん検診：腹部超音波検査 ・乳がん検診：乳房X線(マンモグラフィ)検査、乳腺超音波検査 ・前立腺がん検診：PSA検査 子宮頸がん検診は医療機関に委託して実施。(子宮頸がん検診：細胞診検査)			がんによる死亡率を減少させるために、今後もがん検診を実施し市民に受診の機会を提供していきます。また、がん検診受診の必要性について機会をとらえて周知や受診勧奨を実施するとともに、受診しない理由などを調査分析し、周知方法や勧奨方法を工夫していきます。			
				指標に係る評価			
事業費	80,989千円	活動指標	がん検診の実施日数		達成率	各町の人口や受診者数に応じて、各会場で3～7日間の健診を実施しています。前年度の実績により、4～6月に40日間と10～11月に5日間の合計45日間実施しました。	
			目標	45			A
			実績	45			
単位	日						
担当課	福祉保健部健康増進課	成果指標	大腸がん検診受診率		達成率	第3次健康増進計画の目標数値に合わせて指標を変更しました。がん検診の受診率は、新型コロナウイルス感染症の影響で減少しましたが、少しずつ回復しています。子宮頸がん検診は、令和3年度から2年に1回の検診となりましたが、令和5年度の受診率は前年度より増加しました。新たな数値目標に向けて、改めて受診率向上について状況を分析しながら取り組んでいく必要があります。	
			目標	23.1			B
			実績				
単位	%						

事業評価結果(No.1~No.182)

No.103	事務事業名	健康教育事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病予防教室:病態別健康教室 健康教室 地区別健康教室:出前講座 市民健康公開講座 運動施設、自主グループ一覧表作成 				「気づき築く健康ほくと」の「気づき」については、氾濫する情報の中から正しい情報を知る機会が必要であり、それが市の役割と考えています。 健康診断の受診で自分の体の現状を知ると同時に、ポピュレーションアプローチとして多くの市民に必要な情報を伝え、健康につながる行動を選べる機会として健康教育の場を設けていきます。		
					指標に係る評価		
事業費	504千円	活動指標	健康教室開催数		達成率	新型コロナウイルス感染症が五類になった事から、活動を再開する地区もあり出前講座の回数が増加しました。健康教室は「かかりつけ医による講演会」として身近な市内の開業医に講師をお願いし、シリーズ化をして市民の健康管理の一助として継続していきます。市民公開講座は北杜市福祉啓発事業として、社会的にも関心が高い、引きこもりについてタレントのルイ53世さんに分かりやすく講義をしていただき、好評を得ました。	
			目標	40			B
			実績	47			
			単位	回			
担当課	福祉保健部健康増進課	成果指標	健康教室参加者数		達成率	出前講座の回数が増加したことや、健康教室の開催で参加者数が目標値に近い数字になっています。ただ、保健福祉庁新死因のグループワークの中でも聞かれた意見ですが、まだ、感染に対する恐怖心を抱き生活をしている人もいることから、積極的な出前講座の開催ができない地域もあるようです。令和6年度は、徐々に人流が戻ってくる中で、住民の健康に関して興味を持つ、身近な課題を提供できるようにしていきたいです。	
			目標	900			B
			実績	822			
			単位	人			

事業評価結果(No.1~No.182)

No.104	事務事業名	後期高齢者健康診査事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	山梨県後期高齢者健康診査事業実施計画に基づき、後期高齢者医療被保険者を対象に、集団検診による特定健診の検診項目(腹囲を除く)を実施する。			受診率向上のため、引き続き高齢者への事業の周知を行います。	
事業費	0千円	活動指標	達成率		健康増進課と国保年金課高齢者医療担当と国保担当で連絡会議等を行うなど情報を共有する中で受診率向上の方策に努めていますが、健康診査事業の活動主体は健康増進課であるため、活動指標は未入力とします。
			目標		
			実績		
担当課	福祉保健部国保年金課	成果指標	健康診査受診率		目標達成のため、高齢者の健康管理に対する意識の向上を図ります。 感染症予防対策を行い、また、昨年に引き続き受診の事前予約やWEBからの予約を行うなどの工夫をしたことで、受診率は増加しました。
			目標	27.97	
			実績	27.16	
			単位	%	B

No.105	事務事業名	特定健康診査・保健指導事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	北杜市特定健康診査等実施計画に基づき、総合健診(集団健診)及び人間ドックにおいて、国民健康保険被保険者の40歳~74歳の受診対象者に対して、特定健康診査・特定保健指導を実施する。			健診対象者への希望調査を行い、市内各町の巡回健診や医療機関で受診する人間ドックを実施しました。巡回健診は45日間9ヶ所、特定保健指導(巡回健診)は24日間8ヶ所で行いました。 引き続き健康増進課と連携して受診勧奨していきます。	
事業費	69,460千円	活動指標	特定健診周知件数		特定健診受診率を上げるため、国保連と連携し新たな事業に取り組みながら健診受診への周知啓発をしていきます。
			目標	8	
			実績	8	
担当課	福祉保健部国保年金課	成果指標	特定健康診査受診率		令和6年度以降も受診率60%を達成出来るよう、国保連と連携し未受診者対策をしていきます。
			目標	60	
			実績	51(暫定)	
			単位	%	A

No.106	事務事業名	疾病予防事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	レセプト点検の強化、医療費通知の実施、第三者求償事務の充実、医療機関における適正受診の普及啓発、柔道整復療養費の適正化への取組、ジェネリック医薬品希望カードの作成やジェネリック医薬品差額通知などの医療費適正化対策を実施する。			引き続き医療費適正化対策を行い、医療費を抑制していきます。	
事業費	10,291千円	活動指標	ジェネリック医薬品利用促進通知発送数		ジェネリック医薬品利用促進通知発送数を上げるため、通知発送作業は継続し、医療費を抑制していきます。
			目標	408	
			実績	408	
担当課	福祉保健部国保年金課	成果指標	ジェネリック医薬品利用率		ジェネリック医薬品利用率を上げるため、通知発送作業は継続し、医療費を抑制していきます。
			目標	80.0	
			実績	81.4	
			単位	%	B

事業評価結果(No.1～No.182)

No.107	事務事業名	子ども・子育て会議事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	「北杜市子ども・子育て支援事業計画」の基本施策等について、計画期間である令和2年～令和6年度(令和5年度)の進捗状況について評価検証を行う。また、子育て施策全般について必要に応じ意見を聴取し、施策に反映させていく。				必要に応じて会議を開催し、子育てに関する多様化したニーズに対し、意見を収集し、実行した事業の評価と検討を繰り返し、よりよい施策に反映していきます。	
指標に係る評価						
事業費	278千円	活動指標	子ども・子育て会議開催回数	達成率	子育て支援に関する会議であり、必要に応じて開催しています。そのため、開催回数等の目標は設定せず、実績数値のみとします。	
			目標	A		
			実績		4	
			単位		回	
担当課	こども政策部子育て政策課	成果指標	子ども・子育て会議議題件数	達成率	子育て支援に関する会議であり、必要に応じて開催しています。そのため、議題件数等の目標は設定せず、実績数値のみとします。	
			目標	A		
			実績		16	
			単位		件	

No.108	事務事業名	ひとり親家庭医療費助成事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	ひとり親家庭の親と子に対して、医療費の一部負担金として負担すべき額を医療費助成金として支給し、医療費を無料化する。医療費助成金の支給は、窓口無料化または償還払いによって行う。対象者の所得税が非課税等の所得制限がある。北杜市の独自施策として、入院時食事療養費の助成も償還払いにて令和元年12月から実施している。令和3年6月には制度改正し、その対象を中学3年生までから、高校3年生までに拡大した。				ひとり親家庭の経済的負担の軽減のため、現状維持を保ちます。	
指標に係る評価						
事業費	18,437千円	活動指標	助成件数	達成率	ひとり親家庭の医療費の助成を行っています。	
			目標	A		
			実績		7,026	
			単位		件	
担当課	こども政策部子育て政策課	成果指標	受給家庭数	達成率	ひとり親で対象となる世帯の医療費に対し助成を行っています。	
			目標	A		
			実績		205	
			単位		件	

No.109	事務事業名	子ども医療費助成事業			評価に対する今後の方向性	①拡大・充実
事業内容	高校3年生までの子どもの入院・通院にかかる医療費の一部負担金の額を、保護者に対し医療費助成金として支給し、医療費を無料にする。助成金の支給は、窓口無料化または償還払いによって行う。※令和3年10月から対象年齢を、中学3年生までから高校3年生までに拡大した。				北杜市独自の施策として、入院時食事代の助成については令和元年12月から拡大し、医療費助成対象の範囲については令和3年10月から高校3年生まで拡大したところです。	
指標に係る評価						
事業費	159,688千円	活動指標	助成件数	達成率	子育ての経済的負担を軽減するとともに、子どもの健やかな成長に寄与するための医療費の助成を行っています。	
			目標	A		
			実績		73,658	
			単位		件	
担当課	こども政策部子育て政策課	成果指標	受給者数	達成率	子育ての経済的負担を軽減するとともに、子どもの健やかな成長に寄与するための医療費の助成を行っています。令和3年度に医療費助成対象を高校3年生まで拡大したことから、制度変更の周知も広く行いました。	
			目標	A		
			実績		5,499	
			単位		人	

事業評価結果(No.1～No.182)

No.110	事務事業名	放課後児童クラブ事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	小学校の放課後や夏休み等の長期休業中に支援員等の指導のもと、児童が遊びや生活を通して成長発達することを基本として保育等を行う。			年度初めに登録申請をされた児童数を基に、支援員等の配置を見直したり、受け入れの学年分けを見直したり、小学校の空き教室等の利用を学校と協議するなどして、待機児童を出さないための運営に努めます。 児童数が減少傾向にありますが、放課後児童クラブの利用率は上昇傾向にあります。子ども・子育て支援事業計画による推計状況を基に、必要に応じて事業等の拡大も検討する必要があります。事業の拡大にあたっては、支援員等の確保と育成も必要となります。	
指標に係る評価					
事業費	134,814千円	活動指標	待機児童数	達成率	15施設全体としては730名の定員内に収まっています。ただし、核家族化、共働き、自営の保護者の増加の傾向が見られ、地域によっては(高根東・高根西・長坂・小淵沢)年度途中からの新規受け入れが難しい場合があります。支援員不足が、追加受入ができない要因にもなっています。
			目標	A	
			実績		0
			単位		人
担当課	こども政策部子育て政策課	成果指標	登録児童数(R4.5.1時点) 成果指標は定員数	達成率	年度初めに登録申請をされた児童数を基に、支援員等の配置を見直したり、受け入れの学年分けを見直したり、小学校の空き教室等の利用を学校と協議するなどして、待機児童を出さないための運営に努めました。
			目標	B	
			実績		730
			単位		678 人

No.111	事務事業名	児童館運営事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	(1)健全な遊びを通じて、児童の集団及び個別指導の実施並びに中学生、高校生等の自主的な活動に対する支援を行う。(2)母親クラブ、子どもクラブ等の地域組織活動の育成助長及びその指導者の養成を図る。(3)子育てに対して不安や悩みを抱える母親からの相談に応じるなど、子育て家庭の支援を行う。			各児童館で英語教室や囲碁教室、親子3B体操の実施など、児童や乳幼児親子が参加できるプログラムを行っており、子ども達にも楽しんでもらっています。 新型コロナウイルスが5類に移行したので、基本的な感染防止対策を継続しながら児童等の受け入れを行いました。 イベントについては、対策を講じながら実施しました。	
指標に係る評価					
事業費	12,625千円	活動指標	開館日数	達成率	新型コロナウイルスが5類に移行したが、基本的な感染防止対策は継続し、児童等の受け入れを行いました。
			目標	A	
			実績		1,000
			単位		951 日
担当課	こども政策部子育て政策課	成果指標	利用者数	達成率	新型コロナウイルスが5類に移行したが、基本的な感染防止対策は継続し、児童等の受け入れを行いました。 イベントについては、対策を講じながら実施しました。
			目標	A	
			実績		15,000
			単位		15,108 人

No.112	事務事業名	放課後子ども教室事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	地域の方々にスタッフとして協力していただき、子どもたちを対象とした学習や様々な体験・交流活動を行い、地域社会全体の教育力の向上を図るとともに、子どもたちの健全な育成を推進する。			概ね月2回程度の実施をしている。放課後子ども教室、児童館と合わせて今後も児童の放課後の安全な居場所として現状維持での実施を行いたい。	
指標に係る評価					
事業費	4,170千円	活動指標	登録率	達成率	新型コロナ5類移行により本格的に全教室で活動を再開した。登録率については、児童や親からの期待もありコロナ前の状態へ戻った。また、スタッフ数は毎年の課題ではあるが不足が続いている。今後も児童への活動周知とスタッフの募集を強化していきたい。
			目標	A	
			実績		50.0
			単位		48.0 %
担当課	こども政策部子育て政策課	成果指標	延べ参加者数	達成率	目標値を達成することができた。
			目標	A	
			実績		6,000
			単位		5,061 人

事業評価結果(No.1～No.182)

No.113	事務事業名	保育園施設整備事業			評価に対する今後の方向性	①拡大・充実	
事業内容	北杜市立保育園整備計画に基づく、保育園の施設整備を行う。 令和5年度は旧小淵沢東保育園、旧小淵沢西保育園解体に伴う設計業務委託、みどり保育園屋上防水改修設計業務委託を実施。また、白州保育園・西部こども園の大規模改修に係る設計業務委託、仮設園舎リース契約等を実施。				施設整備については、北杜市立保育園整備計画に基づき、地域の方、保護者などの意見を反映させながら、施設整備を進めています。		
					指標に係る評価		
事業費	25,603千円	活動指標	施設整備取組み数		達成率	整備計画に基づき白州保育園・西部こども園の大規模改修に取り組んでいます。 令和5年度については、旧小淵沢東保育園、旧小淵沢西保育園の解体に係る設計業務委託及びみどり保育園の屋上防水改修の設計業務委託を行いました。また、白州保育園・西部こども園の大規模改修に係る設計業務委託、仮設園舎リース契約等を締結しました。	
			目標	1			A
			実績	1			
			単位	施設			
担当課	こども政策部こども保育課	成果指標	統合した小淵沢保育園の入園児数		達成率	小淵沢東保育園、小淵沢西保育園を統合し、小淵沢保育園を整備しました。小淵沢保育園の令和5年度入園児童数は91名です。	
			目標	96			A
			実績	91			
			単位	人			

No.114	事務事業名	保育実習生受入事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	実習生受入広報活動及び実習受入を行い、本市の魅力を伝える。				実習生が北杜市で保育士として働くことを目指せるよう、積極的な受け入れを行います。		
					指標に係る評価		
事業費	271千円	活動指標	実習生受入数(大学生)		達成率	保育園活動においてコロナの影響はあったが、積極的に実習生の受入れを行いました。	
			目標				A
			実績	17			
			単位	人			
担当課	こども政策部こども保育課	成果指標	実習生のうち職員採用数(会計年度任用職員含む)		達成率	実習生の中には1年生も含まれていたため、職員採用には至りませんでした。	
			目標	1			B
			実績	0			
			単位	人			

No.115	事務事業名	保育業務ICT化推進事業			評価に対する今後の方向性	①拡大・充実	
事業内容	・タブレット端末の購入 ・保育業務支援システムの導入 ・市内私立保育園等のICT化推進に係る補助金				保育士の意見や現場確認を行いながら、端末を増やすなどICT環境を整えていきます。		
					指標に係る評価		
事業費	12,754千円	活動指標	保育業務支援システム導入保育園		達成率	保護者の利便性の向上と保育士の業務負担軽減のために、公立保育園の全園に保育業務支援システムを導入することが出来ました。	
			目標	13			A
			実績	13			
			単位	園			
担当課	こども政策部こども保育課	成果指標	保護者アンケートによる保育園満足度		達成率	保護者の公立保育園に対する満足度も非常に高くなっています。	
			目標	100			A
			実績	98.96			
			単位	%			

事業評価結果(No.1~No.182)

No.116	事務事業名	交通安全対策乳幼児用補助装置購入補助金		評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	保護者からの申請により、チャイルドシート等の購入費用の2分の1(限度額2万円)を助成します。			チャイルドシート(乳幼児用補助装置)の装着義務は法定から20年が経過し、その趣旨や装着の重要性は広く周知され、初期の目的は十分に達成されていますが、市独自の子育て支援施策として継続していきます。		
				指標に係る評価		
事業費	1,310千円	活動指標	助成件数		達成率	
			目標	92		A
			実績	92		
			単位	件		
子育て支援施策の一つとして子育て世代の経済的負担の軽減に寄与しています。						
担当課	こども政策部ネウボラ推進課	成果指標	満足度		達成率	
			目標	100		A
			実績	100		
			単位	%		
経済的負担の軽減になり、満足しているとの声が多く聞かれました。						

No.117	事務事業名	ファミリーサポートセンター運営事業		評価に対する今後の方向性	④方法改善	
事業内容	地域において育児の援助を行いたい者(協会員)と育児の援助を受けたい者(依頼会員)を組織化し、市がアドバイザーを設置し、連絡調整を行う中で、育児の援助を行います。 依頼会員:448人 協会員:62人 両方会員:25人 その他:0人 計:535人 活動件数:1,056件			協会員の高齢化により依頼会員のニーズと合わないケースが増えてきています。協会会員の更なる確保のために周知等に工夫が必要です。地域の市民が互いに育児を支援することにより、子育てと仕事等の両立を図り、安心して子どもを産み育てることのできる社会づくりを推進していきます。		
				指標に係る評価		
事業費	343千円	活動指標	活動件数		達成率	
			目標	719		A
			実績	1,056		
			単位	件		
核家族化等で活動件数は増加しているため、必要な子育て支援事業であります。						
担当課	こども政策部ネウボラ推進課	成果指標	満足度		達成率	
			目標	100		A
			実績	100		
			単位	%		
利用者から子どもの送迎等、とても助かっているとの声が聞かれました。						

No.118	事務事業名	ファミリーサポートセンター事業補助金		評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	育児の援助を受けたい者(依頼会員)から育児の援助を行いたい者(協会員)へ支払われる報酬の一部を補助します。 依頼会員:448人 協会員:62人 両方会員:25人 その他:0人 計:535人 活動件数:1,056件			協会員の高齢化により依頼会員のニーズと合わないケースが増えてきています。協会会員の更なる確保のために周知等に工夫が必要です。地域の市民が互いに育児を支援することにより、子育てと仕事等の両立を図り、安心して子どもを産み育てることのできる社会づくりを推進していきます。		
				指標に係る評価		
事業費	364千円	活動指標	補助金対象時間数		達成率	
			目標	2,050		B
			実績	1,681		
			単位	時間		
活動件数は増加していますが、1件あたりの活動時間は減少しています。協会会員への報酬は活動時間が反映されているため、事業の実施は協会会員のボランティア精神に支えられています。						
担当課	こども政策部ネウボラ推進課	成果指標	活動件数		達成率	
			目標	719		A
			実績	1,056		
			単位	件		
出生数は減少していますが、核家族化等で活動件数は増加しています。						

事業評価結果(No.1~No.182)

No.119	事務事業名	利用者支援事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	子ども・子育て支援法に基づき、保護者等が子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、保護者等の相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行うとともに、関係機関との連絡調整を総合的に実施します。				利用者支援専門員2名が、子育て支援拠点や放課後児童クラブ等を訪問し、保護者や職員とコミュニケーションを図る中で虐待の早期発見や、専門相談員、保健師などへのつなぎを行っていく体制を維持していきます。また、より効果が見えるように、関係機関へつないだ件数を把握していきます。	
指標に係る評価						
事業費	7,313千円	活動指標	相談件数	達成率	新型コロナウイルス感染症の5類移行により、健康教室の受付での声掛けを終了したため相談数が減少しましたが、乳児訪問では、子育ての不安解消のため助産師教室・マタニティ教室への参加を積極的に促すことができました。また、相談内容に応じて適切に専門職につなげることができました。	
			目標	A		
			実績			
			単位		件	
担当課	こども政策部ネウボラ推進課	成果指標	関係機関につないだ件数	達成率	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、予約数の緩和や実施見合わせの解除などがあり、庁内連携として紹介できる教室などが増加しました。今後も積極的につなげていけるよう、相談者の様子を注意深く観察していきます。	
			目標	A		
			実績		233	
			単位		件	

No.120	事務事業名	子育て応援金支給事業			評価に対する今後の方向性	①拡大・充実
事業内容	出生時(出生後、最初の住民登録が北杜市の者) 第1子 10万円、第2子 30万円、第3子以降 30万円 第3子以降 満3歳に達する年度 20万円 満7歳に達する年度 50万円 ※支給条件あり				市民が安心して出産・子育てができる環境づくりに子育て応援金が寄与しているか、検証が必要です。	
指標に係る評価						
事業費	33,000千円	活動指標	子育て応援金支給件数	達成率	出生数の減少により令和4年度よりも件数が減少しています。	
			目標	A		
			実績		142	
			単位		件	
担当課	こども政策部ネウボラ推進課	成果指標	子育て応援金受給者の定住率	達成率	若干名の転出者がいますが、転勤等のやむを得ない事情がある方です。	
			目標	B		
			実績		97.1	
			単位		%	

No.121	事務事業名	つどいの広場事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	市内4カ所のつどいの広場において、子育てアドバイザーが子育て親子に、(1)子育て親子の遊びの場等の提供と交流の促進、(2)子育て等に関する相談、援助の実施、(3)地域の子育て関連情報の提供、(4)子育て及び子育て支援に関する講習等の実施などの事業を行います。				他の施策の充実や、少子化に伴い、利用者数は少ない状況ですが、乳幼児期には不可欠な事業であります。令和6年度からは日曜日開催を行うことで、父親も含めた家族の憩いの場としてより利用しやすい環境を整えていきます。	
指標に係る評価						
事業費	34,006千円	活動指標	つどいの広場利用者数	達成率	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、利用者数が4つの施設とも増加しました。利用制限の緩和に伴い、イベントについても充実を図ることができました。	
			目標	A		
			実績		11,200	
			単位		人	
担当課	こども政策部ネウボラ推進課	成果指標	満足度	達成率	コロナ禍の利用制限を緩和し、昼食利用も再開したことから、利用しやすくなったとの意見がありました。	
			目標	A		
			実績		100	
			単位		%	

事業評価結果(No.1～No.182)

No.122	事務事業名	妊娠・出産包括支援事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	保健センター内に保健師・助産師が常駐する母と子の相談室を設置し、妊娠中やお産の悩み、母乳ケア、赤ちゃんの発育等の相談を行います。また、ベビーマッサージ教室などの教室を開催し、育児についての技術、関わり方等を学び、母親同士の交流の場とします。				教室や相談室に参加し、助産師・栄養士・保健師から正しい知識の提供をすることで、子育ての悩みや不安が解消され、また情報を共有することで仲間づくりにもなり、母親同士のつながりもできます。参加後の満足度は高く妊娠期や産後には必要な教室や相談の機会となっています。今後も各種教室を継続し開催していきます。		
					指標に係る評価		
事業費	7,150千円	活動指標	母と子の相談件数(延べ)		達成率	出生数の減少により、相談件数は減少しました。	
			目標	429			A
			実績	429			
			単位	件			
担当課	こども政策部ネウボラ推進課	成果指標	各種教室の参加数(延べ)		達成率	保健師の新生児訪問後、利用者支援専門員が乳児訪問を行い、状況の確認や各種教室への参加を促しています。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、参加者は令和4年度より増加しています。	
			目標	750			B
			実績	482			
			単位	人			

No.123	事務事業名	親子すくすく相談事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	子どもの特性を保護者が知ることで育児不安や言葉の発達に関して対応方法が理解できることから、子どもの発達を促し、子育てへの負担感が軽減するよう、言語聴覚士・公認心理師・保健師により個別相談を行います。				子どもの数は減少傾向にありますが、DSM-5(精神疾患の診断と統計マニュアル)が2014年に示され、吃音やゲーム依存などの幅広い疾患も含まれるようになっていきます。将来的に発達や精神的な障害につながりそうな心配事を抱えている児に対して、幅広く支援ができる体制が必要になっているため、現状の支援体制の維持が必要です。		
					指標に係る評価		
事業費	227千円	活動指標	教室参加者延べ人数		達成率	月一回、半日で行っている事業であることから、受け入れられる人数にも限界があるため、実績は横ばいの数字になります。発音の経過観察児については、10分枠の相談時間より短縮して受け入れることがあるので、1日の受け入れ定員数が固定していません。	
			目標	91			A
			実績	91			
			単位	人			
担当課	こども政策部ネウボラ推進課	成果指標	不安解消による満足度		達成率	保護者のニーズが多様化しています。言葉の発達という切り口で当事業に参加している方でも、精神面での発達支援も視野に入れた対象者がいます。その様な場合、保護者と支援者の当事業に対する目的の見方が違うこともあるため、100%の満足度を得ることは難しいです。	
			目標	100			B
			実績	87.8			
			単位	%			

No.124	事務事業名	乳児全戸訪問事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	保健師等による家庭訪問を実施し、①乳児の身体計測、問診・観察、②母の育児に関する不安や悩みの相談、③母子保健事業や子育て支援に関するサービスの説明、④支援の必要な家庭には、提供するサービスの検討や関係機関との連絡調整を行います。				全数に対し早期に状態を確認することができています。また、ケースによっては保健師でなく助産師が訪問をすることもあり、状況に即して専門性を発揮した訪問をするようにしています。		
					指標に係る評価		
事業費	57千円	活動指標	訪問件数		達成率	訪問対象者に対して実際に実施できた数値です。	
			目標	147			A
			実績	147			
			単位	件			
担当課	こども政策部ネウボラ推進課	成果指標	訪問実施率		達成率	訪問が必要な対象者に100%実施することができています。	
			目標	100			A
			実績	100			
			単位	%			

事業評価結果(No.1～No.182)

No.125	事務事業名	5歳児相談事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	・事前: 保育園で児の様子聞き取り、視力検査 ・当日: 問診、集団遊び(リトミック・フルーツバスケット)、講話(歯科衛生士・栄養士・教育委員会)、相談、身体測定、視力検査等を保護者同伴で行う。 ・事後: 保育園で児の様子聞き取り、2次相談の利用状況などの共有			ネウボラ推進課の保健師数の減少に伴い、問診や児の行動の確認などに多くのマンパワーを必要とすることから、業務の効率化の検討が不可欠です。雇い上げ保健師の活用に人材コストが必要です。		
				指標に係る評価		
事業費	204千円	活動指標	事業実施状況中の要観察者の割合		達成率 B	判定結果で、要観察となる児が多い傾向が続いています。家庭環境の多様化も進んでおり、一人ひとりの特性にあった柔軟な支援が必要です。また、すすく相談やサポートルームに適切に繋げていくことで就学への支援をしていきます。
			目標	30.0		
			実績	42.7		
			単位	%		
担当課	こども政策部ネウボラ推進課	成果指標	相談参加率		達成率 B	対象者を保育園ごとに分け、保育園と連携することで、相談者数の確保を図ることができ一定の効果がありました。欠席児は園外児が多いため、周知の方法や状況把握の仕方を検討する必要があります。
			目標	100		
			実績	93.9		
			単位	%		

No.126	事務事業名	小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	小児慢性特定疾患にかかっていることにより、長期にわたり療養を必要とする児童等が在宅で生活していくための日常生活用具を給付します。			日常生活に著しく支障のある小児慢性疾患児にとって日常生活用具は必要不可欠であるため、今後も国の要綱に基づき事業を行っていきます。		
				指標に係る評価		
事業費	0千円	活動指標	周知回数		達成率 A	該当する児童がいた場合、福祉課と連携し制度の周知を行います。令和5年度、該当者はいませんでした。
			目標	1		
			実績	0		
			単位	回		
担当課	こども政策部ネウボラ推進課	成果指標			達成率	障害者手帳からの給付が優先されるため、成果指標(補助の実績)はありませんが、対象者がいた場合には必要な事業になります。
			目標			
			実績			
			単位			

No.127	事務事業名	親子サポート教室事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	週1回開催し、個別による親子遊び、制作、描画、集団遊び等及び基本的な生活習慣の確立のための、着替え、食事、歯磨き指導を行います。スタッフは、早期発達心理士、保育士、音楽療法士。			会場の関係で定員が5～6組と少ないため、支援が必要な対象者が増えた場合には、参加者は毎週参加ではなく、2週に1回にするなど開催方法の検討が必要となります。令和5年度は、参加者が定員内であった為、毎週参加することができました。たけのこぐんぐんが閉鎖になったことにより、未就学児の個別の療育施設が市内にはない中で、親子サポート教室(ぶんぶぎ)に期待する声が聞かれます。ぶんぶぎは、未就園児を対象に行っていることもあり今後の方向性や方針については、検討が必要になってきます。		
				指標に係る評価		
事業費	460千円	活動指標	開催数		達成率 A	毎週開催することで、個別療養が必要なケースに寄り添った支援ができます。
			目標	43		
			実績	43		
			単位	回		
担当課	こども政策部ネウボラ推進課	成果指標	対象となる親子の利用組数(延べ)		達成率 A	発達の気になる子どもだけでなく、母子関係を築くための関わり方がわからない母子も参加しています。環境変化に弱い子どもたちが、就園前に集団に入る機会にもなり母親の心の準備にも役立っています。
			目標	157		
			実績	157		
			単位	組		

事業評価結果(No.1～No.182)

No.128	事務事業名	出産・子育て応援事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	①出産・育児等の見通しを寄り添って立てるための面談や継続的に情報発信を行い、必要な支援につなぎます。 ②妊娠届出時、妊娠中期(妊娠5～7ヵ月ぐらい)、出生届出後に面談及びアンケート調査を計3回実施します。なお、妊娠中期の面談は必要と思われる妊婦のみ行います。 出産応援ギフト(妊娠届出時)、子育て応援ギフト(出生届出後～乳児家庭全戸訪問までの間)を面談・アンケート回収後、現金にて給付します。 出産育児関連用品の購入費助成や子育て支援サービスの利用負担軽減等を図ります。			国の方針により、①伴走型支援と②経済的支援を令和4年度から実施しています。従前より市で実施していた事業と重複する部分もあり、今後は事業の効果について検証をしていく必要があります。		
				指標に係る評価		
事業費	39,100千円	活動指標	出産応援給付金支給件数	達成率	令和5年度は実施要綱に定められた遡及分を含んでいるため、純粋な令和5年度中の妊婦数や出生数ではありません。	
			目標	450		A
			実績	450		
単位	件					
担当課	こども政策部ネウボラ推進課	成果指標	母子手帳交付後フォローした数	達成率	母子健康手帳の交付に始まり、すべての妊婦にプランを作成し寄り添った支援を行いました。出産応援金の支給に関しても案内し、書類手続きを促しました。	
			目標	450		A
			実績	450		
単位	人					

事業評価結果(No.1～No.182)

No.129	事務事業名	農村地域新エネルギー活用推進事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業により設置した太陽光発電設備を、誘致企業が利用しづらい農地法面に設置することにより土地の有効活用を行い、商用電源利用に比べ、低炭素社会実現のために活用が望まれる新エネルギー(太陽光発電)を使用し、地球温暖化防止に貢献を行う。				地域の環境負荷低減と施設の維持管理費負担の軽減が図られることから、今後も太陽光発電施設を維持していく必要があります。		
					指標に係る評価		
事業費	19,738千円	活動指標	太陽光発電施設による発電量		達成率	恵まれた環境条件を有効に活用し、地域の環境負荷低減と農業の生産性向上が図られております。	
			目標	750,000			B
			実績	788,294			
単位	kwh						
担当課	産業観光部農業振興課	成果指標	維持管理費		達成率	売電収入により、農業施設の維持管理費が賄えており経費の削減となっております。	
			目標	34,700			B
			実績	19,738			
単位	千円						

No.130	事務事業名	北杜市農業振興公社委託事業			評価に対する今後の方向性	④方法改善	
事業内容	地域の実情に合った農地の流動化や集団化を円滑に行い、農地の有効利用を推進する。優良農地確保のため、農地中間管理機構の事業を活用しながら、耕作放棄地の解消事業や面的集積を行い、市と県と連携し、圃場整備事業の推進、大規模野菜生産企業の参入推進を図る。また、新規就農者への営農・経営相談を行い人材確保にも努める。				高齢化や農家の減少による耕作放棄地化を防ぐため、新たな担い手の確保が課題となっております。しかしながら、新規に就農する場合には、営農計画以外にも住居、地域の方々との付き合い、農業経営等、就農するまでには多くのことが必要となります。今後、農業振興公社を窓口とし総合的な相談を行えるよう検討して参ります。		
					指標に係る評価		
事業費	4,155千円	活動指標	農地中間管理事業		達成率	農地中間管理事業を活用し、優良農地の確保及び耕作放棄地の発生防止等を図ります。農業生産法人の高齢化・担い手不足が深刻化しているため、集積状況は停滞しています。	
			目標	100			B
			実績	150			
単位	ha						
担当課	産業観光部農業振興課	成果指標	農地の流動化		達成率	経営規模を拡大したい意欲ある農家や農業生産法人に対し、農地の流動化を進めたことにより効率的な生産及び安定的な経営が図られました。しかし、農家の高齢化が進み農業をリタイアする個々の農家が増加しています。	
			目標	250			A
			実績	270			
単位	ha						

事業評価結果(No.1~No.182)

No.131	事務事業名	観光PR事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	観光パンフレットの作成、観光誘客キャンペーン・観光イベント参加など、観光案内等を通して北杜市の魅力を発信し、観光客の誘客を図る。				スマートホンの普及により多くの方がWEB上での情報収集に移行している。今後もWEB上、SNSでの情報発信に重点的に取り組んでいきます。		
					指標に係る評価		
事業費	6,510千円	活動指標	観光キャンペーンの回数		達成率	観光キャンペーン重点地域(静岡県)を設定し、目標を達成しています。	
			目標	6			A
			実績	6			
			単位	回			
担当課	産業観光部観光課	成果指標	パンフレット配布部数		達成率	HPアクセス数は目標達成しています。指標にはしていませんが、市公式インスタグラムによる情報発信に重点的に取り組み、現在フォロワー数は6000を超えています。令和5年度中に4,000以上のフォロワー獲得をし、イベント・キャンペーン等と連動性のある取り組みにより、効果に繋がっています。	
			目標	40,000			B
			実績	40,874			
			単位	件			

No.132	事務事業名	観光地域おこし協力隊事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	隊員が市の観光関連団体(北杜市観光協会・清里観光振興会・北杜山守隊等)の事務や事業を支援しながら、地域住民との交流を深め、地域の活性化や情報発信など企画、活動をする。				地域課題の解決のため観光地域おこし協力隊には、積極的に地域に入り込み活動をしていただき、今後も、市は定住、定着に向けた支援を行っていきます。		
					指標に係る評価		
事業費	16,455千円	活動指標	地域おこし協力隊員数		達成率	令和5年4月1日付けで新規隊員1名を任用しています。	
			目標	5			B
			実績	5			
			単位	人			
担当課	産業観光部観光課	成果指標	協力隊終了後の定着者数		達成率	令和5年度末に1名が退任し就職のため市外に移住、11月と12月で2名が退任しています。	
			目標	3			B
			実績	2			
			単位	人			

No.133	事務事業名	世界に誇る「水の山」北杜ブランド推進事業			評価に対する今後の方向性	⑦縮小・方法改善	
事業内容	SNSを活用した情報発信、水の山webサイト更新など市内外に世界に誇る「水の山」北杜をPRする。				昨年度に続き、シビックプライドの醸成のため、水の山プロジェクトパートナー企業と連携を図り、市内3校の高校生と水の山ユースアイデアプロジェクトに取り組みます。		
					指標に係る評価		
事業費	4,272千円	活動指標	SNS投稿回数		達成率	昨年度に引き続きInstagram市公式アカウントによる投稿と「#世界に誇る水の山」を連動させ、首都圏や静岡方面にむけてSNS広告によりPRを行っています。	
			目標	104			A
			実績	201			
			単位	回			
担当課	産業観光部観光課	成果指標	水の山HP閲覧数		達成率	広告効果により、HPへの誘導が図られ、ページビュー数が大きく伸びています。また、市内の高校生と取り組んだ「水の山ユースアイデアプロジェクト」が、県内外のメディアに取り上げられ、市民の認知度向上に繋がっています。	
			目標	30,000			A
			実績	37,566			
			単位	件			

事業評価結果(No.1～No.182)

No.134	事務事業名	甲武信ユネスコエコパーク推進事業			評価に対する今後の方向性	④方法改善	
事業内容	甲武信ユネスコエコパーク推進協議会で自治体間の連携を図りつつ、市民の認知度を高め、環境保全を行っている団体の支援を行う。「北杜市甲武信ユネスコエコパーク地域連絡会」を設立し、自然環境や伝統文化を保全、利活用し、自然との共生を図り「魅力あるまちづくり」を目指す。				山林整備による景観の保全是観光資源としての魅力向上にもつながることから、財産区活動の支援は継続が必要です。		
					指標に係る評価		
事業費	1,898千円	活動指標	支援する財産区数		達成率	財産区による山林整備活動に対する消耗品購入支援を行いました。	
			目標	16			B
			実績	16			
			単位	団体			
担当課	産業観光部観光課	成果指標	活動回数		達成率	財産区による山林整備活動が実施されました。	
			目標	16			B
			実績	16			
			単位	回			

No.135	事務事業名	ツーリズム推進事業			評価に対する今後の方向性	⑦縮小・方法改善	
事業内容	令和5年度については、THE NORTH FACE連携事業による山の学校の開催、マウンテンタクシーの実証運行や、アートバスの運行など2次交通の課題解決に向けた取り組みを行う。また、サイクルツーリズムの推進のためモニターツアーを実施する。				山の学校は、参加者アンケートの結果から参加費、開催回数、内容などについて高い満足度を得ています。民間主体の運営へ移行が図られています。		
					指標に係る評価		
事業費	4,461千円	活動指標	山の学校の開催回数		達成率	7回の開催予定で年間計画をしたものの、台風の影響により1回分が中止になっています。	
			目標	7			A
			実績	6			
			単位	回			
担当課	産業観光部観光課	成果指標	山の学校延べ参加者数		達成率	年間プログラムの為、参加者側の都合がつかないケースがあります。	
			目標	128			B
			実績	87			
			単位	人			

No.136	事務事業名	観光地活性化事業			評価に対する今後の方向性	①拡大・充実	
事業内容	清里地域の活性化及び持続的な発展に向けた取り組みを実施するため、事業の具体化を検討する。				清里エリアについては、地域の観光団体である清里観光振興会の新規事業を支援していきます。増富エリアは令和5年度中に、塩川ダム湖の湖面活用やサウナイベントなど増富ラジウム映観光協会青年部を中心に事業が具体化され次年度も継続します。		
					指標に係る評価		
事業費	1,765千円	活動指標	委員会の開催		達成率	1回の委員会開催以外に、ワーキングを7回実施しています。	
			目標	1			B
			実績	1			
			単位	回			
担当課	産業観光部観光課	成果指標	住民主体による新規事業の開始		達成率	清里地域活性化に向けた計画について市へ提言を行いました。長期にわたり駅前に設置されていたピクニックバスの再活用が図られています。	
			目標	1			B
			実績	1			
			単位	件			

事業評価結果(No.1~No.182)

No.137	事務事業名	小淵沢エリア観光推進委員会運営事業		評価に対する今後の方向性	-	
事業内容	小淵沢地域の活性化を実現するため、地域の事業者の方が中心となり、情報交換をしながら、具体的な策を検討する。また、事業実施主体としての機能も有することで補助事業を実施する。			事業としては、観光地活性化事業に統合していきます。引き続きワーキンググループにおいて検討し、委員会として事業の具体化を図っていきます。		
				指標に係る評価		
事業費	36千円	活動指標	委員会の実施		達成率 A	地域の団体や民間事業者による委員会が設立されています。事業の具体化についてはワーキンググループにより実施しており、昨年度4回実施しています。
			目標	4		
			実績	1		
			単位	回		
担当課	産業観光部観光課	成果指標	新規事業実施数		達成率 B	事業の具体化に向けて事業実施主体としての機能も有する必要もあることから調整に時間を要していますが、民間企業を巻き込み、地域の主体性ある事業検討をしています。
			目標	1		
			実績	0		
			単位	事業		

事業評価結果(No.1~No.182)

No.138	事務事業名	北杜就労推進事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続								
事業内容	<p>○市内への就業希望者と市内企業のマッチングによる就職合同説明会や高校生企業説明会を開催。 ○起業を目指す方や、起業して間もない方を対象とした起業家交流会を開催。 ○働く意欲のある女性を対象に、キャリアコンサルティングを含めた総合的な支援を行うため、「ほくと就活女子会」を開催。</p>				就業希望者の支援及び市内企業の人材確保の支援は、就業希望者や企業からのニーズが高く、移住定住人口の確保及び地域経済の活性化を促進するためにも、必要な事業です。 今後さらに充実した事業とするためにも、どのような支援が効果的であるか見極めながら、移住定住促進制度等と併せて実施していく必要があります。									
指標に係る評価														
事業費	1,068千円	活動指標	<table border="1"> <tr><td>企業説明会の開催数</td><td>達成率</td></tr> <tr><td>目標</td><td>3</td></tr> <tr><td>実績</td><td>2</td></tr> <tr><td>単位</td><td>回</td></tr> </table>	企業説明会の開催数	達成率	目標	3	実績	2	単位	回	B	ふるさと就職の促進を行うためにも、市内企業の魅力を高校生や就業希望者に向け発信することができました。常に人手不足に悩む業種もあり、就業希望者とマッチングを行うことで雇用に繋げることができました。	
企業説明会の開催数	達成率													
目標	3													
実績	2													
単位	回													
担当課	産業観光部商工・食農課	成果指標	<table border="1"> <tr><td>企業説明会採用内定者数</td><td>達成率</td></tr> <tr><td>目標</td><td>15</td></tr> <tr><td>実績</td><td>4</td></tr> <tr><td>単位</td><td>人</td></tr> </table>	企業説明会採用内定者数	達成率	目標	15	実績	4	単位	人	B	採用内定者数としては減少しましたが、企業の手不足の解消と就業希望者の就職に繋がる雇用の支援として、充実した事業となりました。	
企業説明会採用内定者数	達成率													
目標	15													
実績	4													
単位	人													

No.139	事務事業名	教育ファーム事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続								
事業内容	<p>生産者の指導を受けながら、野菜又は大豆の栽培から収穫までの作業及び加工を行う。 ○小学生教育ファーム:すがたをかえる大豆づくり(原っぱ教育連携事業) ○保育園教育ファーム:市立保育園内の畑等で地元の農家の指導による野菜づくり</p>				本事業は11年を迎えているが、市の特色ある食育の取組の一つであり、今後、教育ファームを経験した子ども達が親世代になることで、家庭でも食育の推進が図られ更なる事業効果が高まることも期待できるため、今後も継続して事業を実施していきます。									
指標に係る評価														
事業費	1,654千円	活動指標	<table border="1"> <tr><td>小学校教育ファーム(大豆づくり)実施校数</td><td>達成率</td></tr> <tr><td>目標</td><td>9</td></tr> <tr><td>実績</td><td>9</td></tr> <tr><td>単位</td><td>校</td></tr> </table>	小学校教育ファーム(大豆づくり)実施校数	達成率	目標	9	実績	9	単位	校	A	すべての市立保育園、小学校において事業を実施することができました。	
小学校教育ファーム(大豆づくり)実施校数	達成率													
目標	9													
実績	9													
単位	校													
担当課	産業観光部商工・食農課	成果指標	<table border="1"> <tr><td>小学校教育ファーム(大豆づくり)参加人数</td><td>達成率</td></tr> <tr><td>目標</td><td>295</td></tr> <tr><td>実績</td><td>295</td></tr> <tr><td>単位</td><td>人</td></tr> </table>	小学校教育ファーム(大豆づくり)参加人数	達成率	目標	295	実績	295	単位	人	A	該当となる保育園年長児(6園は年中児含む)、小学3年生の全員が参加し、事業を実施しました。	
小学校教育ファーム(大豆づくり)参加人数	達成率													
目標	295													
実績	295													
単位	人													

No.140	事務事業名	八ヶ岳定住自立圏農林産物販売連携会議			評価に対する今後の方向性	③維持継続								
事業内容	<p>圏域市町村の担当者で構成する連携会議を開催し、特産品情報の共有・発信や食のイベントの共同開催などを検討し、相互連携を深める。</p>				圏域内の市町村が連携する中で効果的な事業を展開していきます。									
指標に係る評価														
事業費	0千円	活動指標	<table border="1"> <tr><td>連携会議開催数</td><td>達成率</td></tr> <tr><td>目標</td><td>1</td></tr> <tr><td>実績</td><td>2</td></tr> <tr><td>単位</td><td>回</td></tr> </table>	連携会議開催数	達成率	目標	1	実績	2	単位	回	A	連携会議を開催した。	
連携会議開催数	達成率													
目標	1													
実績	2													
単位	回													
担当課	産業観光部商工・食農課	成果指標	<table border="1"> <tr><td>連携会議開催数</td><td>達成率</td></tr> <tr><td>目標</td><td>1</td></tr> <tr><td>実績</td><td>2</td></tr> <tr><td>単位</td><td>回</td></tr> </table>	連携会議開催数	達成率	目標	1	実績	2	単位	回	A	連携会議を開催し、協議した。	
連携会議開催数	達成率													
目標	1													
実績	2													
単位	回													

事業評価結果(No.1~No.182)

No.141	事務事業名	北の杜フードバレープロジェクト事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	市内の「食」と「農」に携わる関係者による横断的な地域運営ネットワーク(協働体制)を構築することにより、販路の拡大、新産業の創出、都市と農村の交流促進等、新しい事業展開への取組を市全体で推進する。 なお、地域再生計画の認定により事業費は、地方創生応援税制を活用して実施する。			より効果的な取組内容を取り入れる中で事業を実施していきます。	
指標に係る評価					
事業費	2,600千円	活動指標	参加会員数 目標 194 実績 254 単位 名	達成率 A	効果的な取組を実施するため、フードバレー協議会において中心となる委員数名で運営委員会を組織し、毎月会議を開催しています。また、本市の水稲の品質及び食味向上を目指しおいしい米づくり研究会を立ち上げ、令和6年度に本市で開催予定の「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」に向け活動しています。
担当課	産業観光部商工・食農課	成果指標	農業産出額 目標 432 実績 805 単位 千万円	達成率 A	本事業の取組も一助となり、本市で生産された農産物の販路拡大につながっていることから、目標を上回る産出額となっています。

No.142	事務事業名	世界に誇るワイン産地化推進事業		評価に対する今後の方向性	②維持・充実
事業内容	令和5年度は、本市で生産されるワインを多くの方に知っていただけるようメディア向けのワインツーリズムのツアーを開催するとともに、プロモーション動画を制作し、周知拡大を図る。			北杜市産ワインに興味を持つ層へ情報発信し、本市に訪れてもらうことで、本市の豊かな自然環境の中で作られた個性あふれるワインの周知拡大を図り、醸造用ぶどう生産者の誘致及び確保に努め、世界に誇るワインの産地化を目指していきます。今後はワインに限らず北杜の多種多様なアルコール文化を中心とした農畜産物の発信につなげていきます。	
指標に係る評価					
事業費	4,217千円	活動指標	プロモーション動画放映店舗数 目標 5 実績 5 単位 店舗	達成率 A	プロモーション動画の放映により、市の知名度を向上させるとともに、市内の個性あふれる魅力的なワイン及びワイナリーをPRし、販路拡大による生産者の所得向上に向け、取組を進めています。
担当課	産業観光部商工・食農課	成果指標	ツーリズムのメディア発信媒体数 目標 5 実績 8 単位 媒体	達成率 A	ぶどうの収穫体験、観光及び宿泊を含めた一連の旅行プランを企画し、広報を行うことで、市産ワインの情報、自然環境や文化といった魅力を集約し、ワイン及び食に関心を持つ首都圏等の消費者へ情報を発信することができました。引き続き、市内ワイナリーへの旅行者及びファンの獲得を図り、今後のツーリズムへの参加者の増加に向けて、コンテンツの認知度及び関心の向上を図っています。

No.143	事務事業名	オーガニックビレッジ事業		評価に対する今後の方向性	②維持・充実
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 有機農業推進検討会 有機農業の生産段階の推進の取組 有機農業で生産された農産物の流通、加工、消費等の取組 有機農産物の学校給食への導入拡大に向けた取組 有機農業先進地視察 有機農産物流通改善調査 			令和4年度では、事業初年度に有機農業のPR動画の作成するなど周知し、令和5年度では、生産者や子どもたちに対し有機農業への理解を深める取組を推進しました。今後も本市の有機農業を推進し、農産物の安定した供給体制の確保、販路拡大を図り、持続可能な体制づくりを構築していきます。	
指標に係る評価					
事業費	5,780千円	活動指標	学校給食有機栽培米提供数量 目標 4,286 実績 4,474 単位 kg	達成率 A	有機農業推進に向け、学校給食への有機栽培米の導入に取組むとともに、有機米生産者又は有機転換を計画する生産者向けに水田用自動除草ロボット「アイガモロボ」を使用した生産体制構築のための講習などを開催しました。
担当課	産業観光部商工・食農課	成果指標	有機農業者数 目標 67 実績 70 単位 経営体	達成率 A	有機農業に取組む農家経営体が微増しました。

事業評価結果(No.1～No.182)

No.144	事務事業名	米粉等普及促進事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	米粉を使った商品開発に向けワークショップの開催 これまでの商品や今回開発した商品の販売会実施 北杜市産の米粉を使った新商品開発の支援				商品数は増加していますが、適切な価格なのか、材料の見直しが必要ではないか、といったそれぞれの商品のブラッシュアップを図る必要があります。ECサイトやふるさと納税返礼品としての販売にも力を入れていきます。また、市内での販売会では予想以上の反響があるため、市内での販売会を継続するとともに、より多くの市民の方に地域食材の魅力を広めていきます。		
					指標に係る評価		
事業費	1,221千円	活動指標	ワークショップ開催回数		達成率	高校生と市内事業者がワークショップを通して共同商品開発を実施し、地域資源の再発見や地域の素晴らしさを再認識できました。このことにより北杜市への郷土愛が育まれ、若者の定住及びUターンが増加につながります。	
			目標	6			A
			実績	6			
			単位	回			
担当課	産業観光部商工・食農課	成果指標	商品開発参加事業者数		達成率	高校生のアイデアを取り入れた新たな商品開発を実現できました。次世代の若者へ、稼ぐ力、地域資源や地域の魅力を伝えることで、市外進学や就職した者がやがて北杜市へ戻ってくるきっかけづくりになります。米粉を使用したオリジナルメニュー開発は、米粉使用のきっかけづくりを試みましたが、事業者が独自で実施していることもあり、想定を下回る事業者数となりました。	
			目標	6			B
			実績	7			
			単位	者			

No.145	事務事業名	市産米ブランド化推進事業			評価に対する今後の方向性	①拡大・充実	
事業内容	米・食味分析鑑定コンクール国際大会in北杜では、プレ大会の位置づけとして、1次審査にて選出された24名の生産者による官能試験を国際大会に沿った審査方法で実施する。また大会内において、基調講演や親子米粉パンケーキ教室の開催などを実施する。				令和6年度は、米・食味鑑定士協会及び米・食味分析鑑定コンクール国際大会in北杜実行委員会の共催により26回目の開催となる伝統ある国際大会「米・食味分析鑑定コンクール国際大会in北杜」を開催します。農業を取り巻く環境が厳しい状況を迎える中で、本大会の開催により、米生産者の生産意欲向上及び北杜の米のブランド化を推進することで、世界に誇る「水の山」の環境保全につながる持続可能な産業構築を図ります。また、国際大会の誘致が開催地にもたらす経済的なメリットを最大限享受すべく然るべき準備を進め、米のみならず北杜市の魅力的な自然環境、食文化を発信する機会を創出していきます。		
					指標に係る評価		
事業費	3,490千円	活動指標	米飯官能鑑定士養成講座参加人数		達成率	プレ大会では、国際大会に沿った炊飯及び官能審査などの手順等を実践により確認できました。令和6年度開催予定の「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」に向け、準備を進めていきます。	
			目標	20			A
			実績	29			
			単位	人			
担当課	産業観光部商工・食農課	成果指標	大会出品検体数		達成率	プレ大会では、市内及び県内の出品者が想定以上の検体が出品されました。国際大会では国内外からの出品が想定されるため、更なる機運醸成を図っていきます。市内生産者の水稲栽培への意識改革・生産技術の向上を図り、切磋琢磨することにより、北杜市が「日本一のお米の産地」と呼ばれる産地になることを目指していきます。	
			目標	183			A
			実績	190			
			単位	検体			

事業評価結果(No.1~No.182)

No.146	事務事業名	有害鳥獣捕獲活動支援事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	野生鳥獣による農林産物及び人畜等への被害防止を図るため、野生鳥獣の捕獲等を行う猟友会に対し、有害鳥獣捕獲報償金、有害鳥獣捕獲活動等支援交付金を交付する。			猟友会の活動は、野生鳥獣による市内の農林産物、人畜等の被害軽減につながっています。今後も継続して活動を支援していきます。	
				指標に係る評価	
事業費	3,962千円	活動指標	達成率		
			目標		
			実績		
単位					
担当課	産業観光部林政課	成果指標	農業被害額(シカ・イノシシ・サル)		達成率 A
			目標	21,700	
			実績	21,287	
			単位	千円	
			農業被害の面積、被害額ともに減少しており、取り組みの成果が表れています。		

No.147	事務事業名	北の杜づくり講座開催事業		評価に対する今後の方向性	①拡大・充実
事業内容	森林が果たす役割や森林の育成等について学ぶ講座やフィールドワークなど体験型の講座を開催する。			魅力ある企画を考えるなど、より一層参加者を増やせるように検討していきます。	
				指標に係る評価	
事業費	61千円	活動指標	講座参加者数		達成率 A
			目標	20	
			実績	38	
			単位	人	
			しいたけ植菌講座を開催し多くの参加者を迎えることが出来ました。		
担当課	産業観光部林政課	成果指標	達成率		
			目標		
			実績		
			単位		

No.148	事務事業名	北杜産材活用促進事業		評価に対する今後の方向性	②維持・充実
事業内容	○市内の間伐木材等を活用し、市内木工作家が地域の自然や文化などをモチーフに制作した木のおもちゃを誕生祝品として贈呈することで、木に触れその温もりや良さを感ぜられる機会を創設する。 ○間伐材を使ったはし作りや森の間伐体験などを通じて、将来を担う子供たちに木の良さ、木材を使う大切さ、森の重要性を学ぶ機会を創設する。			引き続き間伐材を使ったはし作りや森の間伐体験などを通じて、将来を担う子供たちに木の良さ、木材を使う大切さ、森の重要性を学ぶ機会を創設する。今後木製玩具を新生児に贈呈し、木に触れその温もりや良さを感ぜられる機会を創設する。	
				指標に係る評価	
事業費	182千円	活動指標	達成率		
			目標		
			実績		
			単位		
担当課	産業観光部林政課	成果指標	体験事業参加人数		達成率 B
			目標	40	
			実績	7	
			単位	人	
			参加型イベントについては、当日のキャンセル等により予定参加者を迎えることが出来ませんでした。木製玩具については、発注予定業者に作成日数が足りず、年度内の納品が不可能なことから令和6年度に繰越をしました。		

事業評価結果(No.1～No.182)

No.149	事務事業名	空き家等対策事業			評価に対する今後の方向性	①拡大・充実
事業内容	北杜市空き家等対策推進計画に基づき、空き家等の所有者に対して適切な管理について周知及び啓発を行った。				空家対策の推進に関する特措法、北杜市空き家対策の推進に関する条例により、必要な調査・措置・施策を講じていく。 空き家は増加傾向であるので、適切な台帳管理を行い、活用できる空き家情報の整備を行っている。	指標に係る評価
事業費	1,074千円	活動指標	苦情に対する対応割合	達成率	市民からの情報により、空き家の実態調査を行い、状況により所有者等に通知を行い、今後の管理について意向を確認する調査を行った。また、空き家等台帳に登録されている所有者等に対しても通知を行い、今後の管理について意向を確認する調査を行った。	
			目標	100	A	
			実績	100		
			単位	%		
担当課	建設部まちづくり推進課	成果指標	県マニュアルにおけるDランクに該当する空き家の解消件数	達成率	B	相続登記が完了していない案件が多く、通知を送るべき所有者等を特定する作業に時間が費やされるので、効率的に所有者等を特定できる手法を検討が必要です。
			目標	10		
			実績	3		
			単位	件		

No.150	事務事業名	景観計画推進事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	山岳・眺望景観の形成、自然景観の形成、里山・農村景観の形成、歴史・文化的景観の形成、観光リゾート地域の景観形成、暮らしの景観の形成等の良好な景観形成を推進するため、一定のルールを定め、建築物及び工作物等の新築等の行為を規制・誘導する。				平成28年2月に北杜市景観計画を変更、平成28年6月1日から北杜市景観条例を一部改正したことから、10キロワット以上の太陽光発電設備(建築物へ設置するものは除く)を届出対象行為として追加し、太陽光発電設備の新設時には景観形成基準を遵守するよう指導を行い、今後も届出・指導を継続していきます。 さらに太陽光発電設備の設置に対しては、より自然環境・生活環境との調和を図ることが求められていることから令和元年10月に条例を施行し、景観条例とあわせて指導を行っていきます。	指標に係る評価
事業費	54千円	活動指標	景観区域内行為届出件数(全数)	達成率	景観区域内建築物及び工作物等の新築等の届出審査及び景観区域内事業用太陽光発電施設(建築物への設置を除く)の新築等(変更込み)の届出に対する審査件数を指標としており、令和5年度は前年から微減となっているものの概ね例年並みの届出件数であると考えています。 なお、事業用太陽光発電施設について年々減少傾向にありピークは過ぎたものと考えています。	
			目標	218	A	
			実績	218		
			単位	件		
担当課	建設部まちづくり推進課	成果指標	景観区域内行為届出に対する適合通知件数(全数)	達成率	A	目的を達成するためには景観形成基準を満たすことが求められることから指標としており、適合するよう指導を行いました。
			目標	218		
			実績	218		
			単位	件		

事業評価結果(No.1~No.182)

No.151	事務事業名	市営住宅維持管理事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	市営住宅の維持管理を適正かつ合理的に実施するため次の事務を行う。①計画的に修繕、環境整備をして居住の安定を図る。②空室の状況をHPに掲載して入居率の向上に努める。③住宅使用料の滞納者への取組を更に強化し収納率の向上に努める。④収入申告を適切に実施し、家賃を適正に設定する。収入超過者、高額所得者への対応を適切に行う。				入居率は昨年度と同様であり、住宅困窮者を救うセーフティネットの役割である公営住宅を縮小させるべきではないため、事業を現状維持としています。また、コストについても日常的に発生する修繕があるため現状維持となります。	
					指標に係る評価	
事業費	134,591千円	活動指標	公営住宅入居戸数		達成率	B
			目標	542		
			実績	519		
			単位	戸		
担当課	建設部住宅課	成果指標	政策空き家戸数		達成率	A
			目標	230		
			実績	230		
			単位	戸		

No.152	事務事業名	市営住宅等改修事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	建物の劣化状況に応じた改修を行い、長寿命化及び居住環境の向上を図る。				北杜市公営住宅等総合活用計画・長寿命化計画に基づく整備順位により、個別改修等を順次行います。	
					指標に係る評価	
事業費	74,723千円	活動指標	市営住宅改修		達成率	A
			目標	1		
			実績	1		
			単位	棟		
担当課	建設部住宅課	成果指標	市営住宅改修		達成率	A
			目標	1		
			実績	1		
			単位	棟		

No.153	事務事業名	市営住宅解体事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	入居者が移転又は退去後に用途廃止の手続きを行い、市営住宅の解体を実施する。				北杜市公営住宅等総合活用計画・長寿命化計画に基づき、市営住宅の解体事業を実施するとともに、持続的な執行が可能となるよう事業費の平準化を図ります。	
					指標に係る評価	
事業費	6,072千円	活動指標	市営住宅解体		達成率	A
			目標	3		
			実績	3		
			単位	戸		
担当課	建設部住宅課	成果指標	市営住宅解体		達成率	A
			目標	3		
			実績	3		
			単位	戸		

事業評価結果(No.1~No.182)

No.154	事務事業名	市道管理事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	道路管理システムを有効に利用し、適正な市道の維持補修や改良を実施し、道路施設の瑕疵による交通事故の防止に努めながら、通行の安全確保を図る。				北州市道の全路線において、道路瑕疵による損害賠償に備えるとともに、損害賠償事故発生件数の減少を目指し、市道の維持管理を行う。	
指標に係る評価						
事業費	849千円	活動指標	道路管理賠償責任保険		達成率	市道全線について、道路管理賠償責任保険に加入している。
			目標	1,079	A	
			実績	1,079		
単位	km					
担当課	建設部道路河川課	成果指標	道路瑕疵による保険適用数		達成率	道路瑕疵による損害賠償件数を5件以内を目標としていたが、実績が4件となった。
			目標	5	A	
			実績	4		
単位	件					

No.155	事務事業名	主要市道除雪作業委託事業			評価に対する今後の方向性	①拡大・充実
事業内容	道路の積雪が10cmに達した場合、市委託業者による除雪作業を行う。				除雪の要望が増加する一方で、近年、除雪業務を請け負っていただける事業者が減少しています。物価や人件費の上昇に伴い、除雪作業単価も毎年上昇していることや、除雪に使用する機械への固定費の増加等が要因であり、県に準じた支給が要望されています。将来にわたり安定した除雪体制を確立するため、道路維持業務と除雪業務の一体発注等を検討する必要があります。	
指標に係る評価						
事業費	83,008千円	活動指標	除雪作業業務委託件数		達成率	除雪委託を請け負っていただく事業者数が、前年度の67者から2者減少した。
			目標	67	B	
			実績	65		
単位	者					
担当課	建設部道路河川課	成果指標	除雪延長		達成率	10cm以上の降雪時には、迅速に除雪作業ができた。除雪作業等を迅速かつ適切に実施し、冬季間の道路交通機能が確保できた。
			目標	1,000	A	
			実績	2,348		
単位	km					

No.156	事務事業名	市道除雪事業			評価に対する今後の方向性	①拡大・充実
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 凍結防止剤の散布(各総合支所の職員が専用の機械を使用し、散布) 地域等への凍結防止剤等の配布 市道上黒澤・下黒澤線ロードヒーティング 				融雪剤の散布については、主に各支所が直営で行っておりますが、予防型の早期散布が求められているなか、支所機能の縮小は融雪剤散布の負担が大きくなっており、安定した融雪剤の散布体制を早急に検討、確保する必要があります。	
指標に係る評価						
事業費	6,966千円	活動指標	融雪剤散布量		達成率	予防型の早期散布が求められているなか、要望に応えるべく、支所職員も尽力した。
			目標	62,000	A	
			実績	51,450		
単位	kg					
担当課	建設部道路河川課	成果指標	道路瑕疵(路面凍結等)による損害賠償保険適用数		達成率	達成率は、No.154「市道管理事業」において、一括で評価する。
			目標	5	/	
			実績	4		
単位	件					

事業評価結果(No.1～No.182)

No.157	事務事業名	市道維持管理事業		評価に対する今後の方向性	①拡大・充実								
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・道路パトロール ・街路灯の管理 ・市道の除草、側溝清掃、緊急修繕 ・危険木の撤去 ・原材料(砕石)支給 			各総合支所の配置人員も減少する中で、民間事業者への業務委託について、拡充を検討する必要がある。これに伴い、近年物価や人件費が上昇する中、コストも拡充する必要がある。									
指標に係る評価													
事業費	12,517千円	活動指標	<table border="1"> <tr> <td>シルバー人材センター委託</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>1,152</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1,228</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>人</td> </tr> </table>	シルバー人材センター委託	達成率	目標	1,152	実績	1,228	単位	人	A	当初計画業務量と比較し微増となったが、適正に道路管理維持管理業務を実施した。
シルバー人材センター委託	達成率												
目標	1,152												
実績	1,228												
単位	人												
担当課	建設部道路河川課	成果指標	<table border="1"> <tr> <td>道路瑕疵による保険適用数</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>件</td> </tr> </table>	道路瑕疵による保険適用数	達成率	目標	5	実績	4	単位	件		達成率は、No.154「市道管理事業」において、一括で評価する。
道路瑕疵による保険適用数	達成率												
目標	5												
実績	4												
単位	件												

No.158	事務事業名	市道補修事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続								
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・道路補修 ・区画線整備 ・交通安全対策 			各総合支所で早期の補修等を行うことにより、道路機能を確保し、道路交通の安全を図るよう努めます。									
指標に係る評価													
事業費	152,289千円	活動指標	<table border="1"> <tr> <td>補修等箇所数</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>149</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>149</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>箇所</td> </tr> </table>	補修等箇所数	達成率	目標	149	実績	149	単位	箇所	A	道路パトロールや市民からの情報提供、また要望等を受け緊急性・重要性を考慮し補修工事を行うことができました。
補修等箇所数	達成率												
目標	149												
実績	149												
単位	箇所												
担当課	建設部道路河川課	成果指標	<table border="1"> <tr> <td>補修等箇所数</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td></td> </tr> </table>	補修等箇所数	達成率	目標		実績		単位			活動指標で補修等箇所数を成果としており、道路の安全を図るよう補修工事等を行いました。
補修等箇所数	達成率												
目標													
実績													
単位													

No.159	事務事業名	市単道路新設改良事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続								
事業内容	砂利道や幅員の狭い道路を拡幅改良・舗装・側溝整備等を実施することにより、安全な車両等の通行を確保する。			北杜市道路整備基本計画を基に、これまで行ってきた事業を参考とし、効率的な事業実施に努めます。									
指標に係る評価													
事業費	280,284千円	活動指標	<table border="1"> <tr> <td>整備延長</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>701</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>701</td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>m</td> </tr> </table>	整備延長	達成率	目標	701	実績	701	単位	m	A	北杜市道路整備基本計画に基づき、優先的に整備する路線の明確化を図り、整備を段階的に行いました。
整備延長	達成率												
目標	701												
実績	701												
単位	m												
担当課	建設部道路河川課	成果指標	<table border="1"> <tr> <td>整備延長</td> <td>達成率</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td></td> </tr> </table>	整備延長	達成率	目標		実績		単位			活動指標で整備延長を成果の指標としており、限りある予算で整備を行いました。
整備延長	達成率												
目標													
実績													
単位													

事業評価結果(No.1~No.182)

No.160	事務事業名	道整備交付金事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	地域住民や観光客の交通利便性の向上と交流人口の増加を図る。また、地域をつなぐ道路ネットワークを拡大するための道路整備を行う。				北杜市道路整備基本計画を基に、これまで行ってきた事業を参考とし、関係機関との協議・検討を反映し効率的で合理的な事業実施に努めます。		
					指標に係る評価		
事業費	169,004千円	活動指標	整備延長		達成率	事業の優先度を精査し効率良く事業の執行を行い、補助金の確保のために県と調整を図りました。	
			目標	2,002			A
			実績	2,002			
単位	m						
担当課	建設部道路河川課	成果指標	達成率		達成率	整備延長を成果の指標としており、利便性向上のための整備を行いました。	
			目標				
			実績				
			単位				

No.161	事務事業名	防災・安全社会資本整備交付金事業(交安)			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	国の社会資本整備総合交付金(国庫補助率56%)を活用し、通学路等の整備を行う。				北杜市道路整備基本計画を基に、これまで行ってきた事業を参考とし、関係機関との協議・検討を反映し効率的で合理的な事業実施に努めます。		
					指標に係る評価		
事業費	56,226千円	活動指標	整備延長		達成率	設計段階において改良の規模や工法の更なる精査を行い、コスト低減に努力するほか、補助金の要望額満額確保のため県道路整備課と調整を図りました。	
			目標	94			A
			実績	94			
単位	m						
担当課	建設部道路河川課	成果指標	達成率		達成率	活動指標で整備延長を成果の指標としており、児童等が安全・安心に通行できるように歩道設置の整備を行いました。	
			目標				
			実績				
			単位				

No.162	事務事業名	防災・安全社会資本整備交付金事業(修繕)			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	橋梁長寿命化修繕計画に位置付けている橋梁及び、トンネル・カルバート長寿命化修繕計画について、定期点検及び個別計画に基づいた予防保全的な修繕を行い、安全・安心な道路ネットワークを確保する。道路のり面についても、早期の修繕・補強を行う。				長寿命化修繕計画を基に、これまで行ってきた事業を参考とし、関係機関との協議・検討を行い、効率的・効果的な事業実施に努めます。道路のり面修繕・補強を実施することにより、本来の道路機能が維持でき、地域産業と市民生活の安全確保を図ります。		
					指標に係る評価		
事業費	268,407千円	活動指標	橋梁点検		達成率	有利な補助事業の活用や点検の充実を図り、コスト縮減や安全性・信頼性・耐震性・長寿命化に努めました。	
			目標	125			A
			実績	125			
単位	件						
担当課	建設部道路河川課	成果指標	達成率		達成率	活動指標で点検及び修繕の件数を成果の指標としており、利用者が安全・安心に通行できるように事業を行いました。	
			目標				
			実績				
			単位				

事業評価結果(No.1~No.182)

No.163	事務事業名	社会資本整備総合交付金事業(改築)			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	地域住民や観光客の交通利便性の向上と交流人口の増加を図る。地域をつなぐ道路ネットワークを拡大する。				事業の優先度を精査し効率良く執行を行い、補助金の要望額満額確保のために県と調整を図りました。		
					指標に係る評価		
事業費	19,251千円	活動指標	整備延長		達成率	設計段階において、各種工法により経済比較を行い、コスト縮減に向けて努力しました。事業の優先度を精査し効率良く事業の執行を行い、補助金の要望額満額確保のために県と調整を図りました。	
			目標	64			A
			実績	64			
			単位	m			
担当課	建設部道路河川課	成果指標	整備延長		達成率	整備延長を成果の指標としており、観光道路の安全性向上のための道路整備を行いました。	
			目標				A
			実績				
			単位				

No.164	事務事業名	河川維持管理事業			評価に対する今後の方向性	①拡大・充実	
事業内容	○準用河川の堆積土砂管理(土砂の撤去、樹木の伐採)				24の準用河川のうち、3河川3地点の浚渫・伐木工事を実施した。他の河川の危険箇所においても、順次浚渫・伐木工事を実施するとともに、準用河川設備の補修も実施する。		
					指標に係る評価		
事業費	3,025千円	活動指標	準用河川緊急浚渫・伐木工事件数		達成率	準用河川の3箇所において、土砂の撤去、雑木伐採を実施した。	
			目標	3			A
			実績	3			
			単位	箇所			
担当課	建設部道路河川課	成果指標	被災件数		達成率	被災実績はなかった。	
			目標	2			A
			実績	0			
			単位	箇所			

事業評価結果(No.1～No.182)

No.165	事務事業名	公民館分館活動補助金			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	公民館分館が行う公民館活動に対して、分館から報告された世帯数を基に、事業費の一部を補助する。				地域の分館活動は、生涯学習の推進や地域交流の観点からも重要で引き続きそうした活動を支援します。		
					指標に係る評価		
事業費	8,706千円	活動指標	事業数		達成率	各分館において地域住民の生涯学習事業を計画し、文化活動やスポーツを実施しました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で事業を数年間未実施だった分館については、5類となった現在でも、少子高齢化の影響もあり、継続して事業の未実施のところが見受けられる。	
			目標	500			B
			実績	424			
単位	件						
担当課	教育委員会生涯学習課	成果指標	達成率		達成率		
			目標				
			実績				
			単位				

No.166	事務事業名	生涯学習推進事業			評価に対する今後の方向性	④方法改善	
事業内容	北杜市内で行われる各種講座等やイベント等の案内、活動状況を報告するための情報誌「まなびの杜」を年2回発行する。 発行日程：9月(当該年度後期分)、3月(来年度前期分)				市民が生涯学習講座の情報を得る手段として、広報誌やまなびの杜情報誌から得ているため有効です。		
					指標に係る評価		
事業費	890千円	活動指標	生涯学習事業啓発情報誌発行部数		達成率	市民が生涯学習の場の情報を得る手段として事業を実施し、さらに、区長を通じて全戸配布を行ったことで、市民に生涯学習の場の情報提供ができました。	
			目標	34,000			A
			実績	34,000			
単位	部						
担当課	教育委員会生涯学習課	成果指標	まなびの杜情報誌掲載講座参加者数		達成率	まなびの杜情報誌を市民配布や公共施設・民間施設に設置し、市民に学習機会の場の情報提供を行いました。が、各種事業の縮小や新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者が減少しています。	
			目標	19,000			B
			実績	18,237			
			単位	人			

No.167	事務事業名	生涯学習講座開催事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	大学との連携事業や太鼓教室等の文化継承事業等の身近で楽しく学ぶことができる生涯学習事業を行う。 また、市民が自主的に企画、運営する自主企画講座を支援する。				市民のニーズに即した講座を関係機関や庁内の関係部局と連携して開催します。また、市民が自主的に行う講座の支援を継続します。		
					指標に係る評価		
事業費	1,181千円	活動指標	学習講座開催事業数		達成率	市民の学習ニーズや年代・趣向に応じた講座や大学との連携による特色ある事業を企画しました。コロナ禍で中止していた事業を実施しました。また、市民が自主的に企画・運営する講座に対する支援を行いました。	
			目標	40			A
			実績	41			
単位	回						
担当課	教育委員会生涯学習課	成果指標	参加者数(延べ)		達成率	アンケート結果よりニーズを把握し、興味のある講座を企画開催できました。 また、講座内容の周知方法を適切に行いました。	
			目標	3,000			A
			実績	4,354			
			単位	人			

事業評価結果(No.1～No.182)

No.168	事務事業名	北杜ふれあい塾開催事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続
事業内容	東京藝術大学との官学連携や、県内出身、在住の著名な講師を招いた講演会、コンサート、ワークショップ等を開催する。 アンケート等により市民ニーズを把握して、学習講座を年間4回程度開催する。				生涯学習社会の構築を目指し、様々なテーマを連続して受講することにより、人との出会いと学ぶ楽しさを市民に実感してもらうため、さらに多くの方に受講生になってもらう必要があります。	
					指標に係る評価	
事業費	1,057千円	活動指標	講座開催数		達成率	A
			目標	4		
			実績	5		
			単位	回		
担当課	教育委員会生涯学習課	成果指標	年間受講生数		達成率	A
			目標	130		
			実績	176		
			単位	人		
前年度のアンケート結果等を参考に、社会教育委員と事業内容について計画し、計画どおり実施することが出来た。また、前年度と比べると回数が少ないという声から、新たに企画し、計画より1回多く講座を行いました。						
前年度と比べ、回数が半分以下となったが、年間受講生や参加者が増加しました。						

No.169	事務事業名	芸術文化スポーツ振興基金活用事業			評価に対する今後の方向性	①拡大・充実
事業内容	芸術文化スポーツ振興基金を活用し、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象とした一流の芸術文化スポーツ振興事業を企画する。				市内では様々な民間団体が実施する特色ある一流の芸術文化事業が企画されており、そうした民間事業者と連携し、子どもから大人まで幅広い世代への芸術鑑賞事業を開催します。	
					指標に係る評価	
事業費	1,140千円	活動指標	協力金件数		達成率	B
			目標	5		
			実績	4		
			単位	件		
担当課	教育委員会生涯学習課	成果指標	基金活用事業参加者数		達成率	A
			目標	360		
			実績	340		
			単位	人		
企業訪問や文書による依頼の時に、これまでの事業実績等をまとめた「芸術文化スポーツ振興協力金のお願い」を添付し、基金の周知に努めました。						
市内の小中学生親子を対象としたフィールドバリエ又、市内の小学4年生から高校3年生までの親子を対象としたハケ岳薪能事業を企画し、一流の芸術文化に触れる機会を創出するとともに、鑑賞事業をきっかけとした親子の交流の促進による家庭教育の観点からも効果が期待されています。						

No.170	事務事業名	北杜市文化協会補助金			評価に対する今後の方向性	④方法改善
事業内容	北杜市文化協会の活動の補助及び支援を行う。				会員の高齢化や会員数が減少している中で、協会の自立化に向けた検討を行う必要があります。	
					指標に係る評価	
事業費	3,693千円	活動指標	文化協会会員数		達成率	B
			目標			
			実績			
			単位			
担当課	教育委員会生涯学習課	成果指標	文化協会会員数		達成率	B
			目標	1,800		
			実績	1,650		
			単位	人		
会員数の減少や高齢化が進んでいますが、文化祭の開催により交流の促進と学習成果の場の提供を行いました。						

事業評価結果(No.1～No.182)

No.171	事務事業名	芸術文化スポーツ振興基金活用事業補助金		評価に対する今後の方向性	②維持・充実	
事業内容	市民のための芸術文化スポーツ振興事業を公募し、活用検討委員会により選定された有益な振興事業に対し、芸術文化スポーツ振興基金を活用し、補助金を交付する。			市内では、芸術文化・スポーツが活発に行われていることから、北杜市を芸術文化スポーツのまちとしてアピールするため、そうした活動を行う団体を積極的に支援します。		
				指標に係る評価		
事業費	4,500千円	活動指標	補助金交付件数		達成率	
			目標	20		A
			実績	21		
単位	件					
担当課	教育委員会生涯学習課	成果指標	達成率		達成率	
			目標			B
			実績			
単位						
市内で、一流の芸術文化スポーツの鑑賞機会を提供することが概ね出来た。						

No.172	事務事業名	芸術文化自主・共催事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	ホール運営検討委員会の意見等を反映させる中で、一流の芸術文化事業を展開する。芸術鑑賞機会の充実を図るため、民間や関係団体・機関等と連携し共催事業等を展開する。地域のアーティストや文化団体の発表の場を提供する。			多くの市民が芸術文化事業に触れられるよう多岐にわたる内容の事業を企画し、また、より集客力を上げるため市民のニーズの把握や事業の周知に努めています。		
				指標に係る評価		
事業費	9,058千円	活動指標	自主・共催事業実施回数		達成率	
			目標	12		B
			実績	10		
単位	回					
担当課	教育委員会生涯学習課	成果指標	入場者数		達成率	
			目標	3,300		B
			実績	2,930		
単位	人					
一定の世代に偏ることなく、子どもや若者世代にも受け入れられるイベントを行い、入場者の増加に努めました。						

No.173	事務事業名	ホール施設管理事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	専門業者による保守点検等を実施し、施設が安全に利用できるよう維持管理に努める。配置スタッフによる日常の設備点検や、操作確認を行い、利用者の安全確保に努める。利用者が利用する場合の設備等の操作方法を指導し、安全確保に努める。			各ホールの建物や舞台設備等において、修繕が必要な箇所を精査し、優先順位をつけた中で、施設の修繕を行います。		
				指標に係る評価		
事業費	80,683千円	活動指標	施設設備点検		達成率	
			目標	56		B
			実績	55		
単位	回					
担当課	教育委員会生涯学習課	成果指標	ホール施設利用数		達成率	
			目標	35,000		B
			実績	37,640		
単位	人					
新型コロナウイルス感染症が5類に移行になり、自粛されていた文化活動が再開されつつあり、ホール貸館に対しても前年度に比べて増加となりました。						

事業評価結果(No.1～No.182)

No.174	事務事業名	スポーツ推進委員活動事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	・北の杜ふるさとウォーキングや体力測定会、軽スポーツ教室等の実施 ・スポーツ推進委員の育成、資質向上を目的とする各種研修会への参加				国のスポーツ基本計画では、スポーツ推進委員が地域住民とスポーツとの懸け橋となることが求められていることから、今後も市民が気軽に参加できるようなスポーツ教室の企画運営や委員の資質向上を目指し、事業を実施していく必要があります。また、研修で得た知識等を事業内容に反映し、質の高い事業実施が求められます。		
					指標に係る評価		
事業費	2,937千円	活動指標	各種研修会数		達成率	年度当初予定していた事業をすべて滞りなく実施し、また、市スポーツ推進委員協議会が主催する事業以外に、市内学校や子どもクラブ・県スポーツ推進委員協議会主催の事業へも協力をし、市民のスポーツ実施率の向上が図れました。	
			目標	15			A
			実績	22			
			単位	回			
担当課	教育委員会生涯学習課	成果指標	各種事業・研修会等への委員参加率		達成率	様々な事業や研修会に積極的に取り組みましたが、仕事や家庭等との調整がつかず、目標の参加率の達成には至らなかったものの、事業や研修会への参加を通じて、市民のスポーツ実施率の向上、委員としての資質向上や、地域スポーツに関する情報共有、関係団体等との連携が図られ、質の高い事業を実施することが出来ました。	
			目標	80			B
			実績	71			
			単位	%			

No.175	事務事業名	生涯スポーツ推進事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	スポーツ関係団体等との連携により、地域の特性を活かした、各種スポーツイベント及びスポーツ教室を実施する。				各種教室のほとんどが定員に達しています。今後もニーズに合わせ、一流のスポーツ選手を活用した教室の開催や地域の特性を活かした事業等を継続して実施していきます。		
					指標に係る評価		
事業費	3,194千円	活動指標	各種スポーツ教室等の開催数		達成率	一流のスポーツ選手を招いた教室等を開催することで、スポーツの楽しさや素晴らしさを知る機会を創出するとともに、親子で参加できる各種スポーツ教室も行い、市民が気軽に運動できる場を提供しています。	
			目標	20			A
			実績	30			
			単位	回			
担当課	教育委員会生涯学習課	成果指標	各種スポーツ教室等への参加者数		達成率	各種教室のほとんどが定員に達するなど、スポーツに対する市民のニーズは高く、子ども達が、スポーツに親しみ、安心してスポーツを体験できる貴重な機会となっています。	
			目標	1,000			B
			実績	921			
			単位	人			

事業評価結果(No.1～No.182)

No.176	事務事業名	学校給食管理事業		評価に対する今後の方向性	④方法改善		
事業内容	単独調理場1施設、給食センター3施設の適正な管理を行う。また、運営に必要な調理員を随時確保し、安全安心な給食を提供するための研修会等を開催することにより、衛生面において更なる向上化を図る。			今後の方向性として、安全安心な給食の提供を継続的且つ円滑に行っていくため、各給食施設の統合並びに調理の民間業務委託についても検討を進めていきます。また、調理員に対しては衛生的な面だけではなく、自身や周囲の安全を確保するための指導及び研修についても、これまで以上に積極的な開催を目指します。			
指標に係る評価							
事業費	268,712千円	活動指標	給食施設数		達成率	市内給食4施設における厨房機器等の定期的な保守点検を行い、整備計画に基づいた機器の更新を計画的に実施しました。また、随時調理員の確保に努めましたが、高齢などの理由による自主退職が相次いだため、目標値の達成には至りませんでした。	
			目標	4			B
			実績	4			
単位	数						
担当課	教育委員会学校給食課	成果指標	食中毒件数		達成率	調理員に対する衛生管理の研修会及び、ミーティング時における指導等を徹底したため、調理場からの食中毒発生件数については0件となりましたが、調理現場での労務災害が2件発生しました。	
			目標	0			B
			実績	0			
単位	件						

No.177	事務事業名	小中学校給食事業		評価に対する今後の方向性	③維持継続		
事業内容	給食を提供する上で、児童生徒に必要な栄養価やカロリーを確保し、安全安心な給食の提供を実施する。			安全・安心な給食の提供については、食材が安定的に供給されることが最も重要となりますが、昨今における気候の変動及び物価の高騰は食材価格にも大きな影響を及ぼしています。また、燃料の高騰、人手不足による人件費の高騰、配送料の高騰など、食材価格に転嫁される社会的要素が多数予測されますので、今後は国及び県の補助金や交付金などを積極的に活用するよう心掛け、安定的な給食事業の実施に努めていきます。			
指標に係る評価							
事業費	172,255千円	活動指標	給食提供数		達成率	給食提供数の目標値は児童生徒数を基に算出しています。昨年は新型コロナウイルスの感染拡大に伴う学級閉鎖の影響等によって実績数が下がりましたが、本年は影響が少なかったため、昨年度の実績値を上回りました。	
			目標	617,147			B
			実績	590,137			
単位	食						
担当課	教育委員会学校給食課	成果指標	一食あたりの単価(小学校)		達成率	子育て支援を目的として1食あたり小学校23.05円・中学校41.07円を市が補助することによって、必要な栄養価やカロリーの安定的な確保に努め、成長期にある児童生徒の発達に寄与しました。また、同じく子育て支援を目的とした給食費の無償化についても実施し、保護者への経済支援を図りました。	
			目標	263			B
			実績	272			
単位	円						

No.178	事務事業名	地産地消給食事業		評価に対する今後の方向性	②維持・充実		
事業内容	地元農家や商店との連携を図るため、事前に綿密な打ち合わせ等を行い、年間スケジュールに沿った旬の野菜等を給食で提供するための体制を推進する。			学校給食物資取扱契約業者からの供給品目・提供期間・提供量等を調査し、栄養士との情報提供及び情報共有を図ることによって、地産地消率の向上化を図ります。また、併せて郷土食や献立内容に対する研究についても促進を図っていきます。なお、今後についても学校給食感謝祭の定期的且つ継続的な開催に努めていきます。			
指標に係る評価							
事業費	9,322千円	活動指標	地産地消対象数		達成率	主要野菜の10品目について、地元産や有機食材を積極的に献立へと取り入れるよう努めました。また、食育を推進するための学校給食感謝祭を市内の小中学校にて開催し、地元野菜農家と交流をすることで、児童の地産地消への理解を深めることに寄与しました。	
			目標	10			A
			実績	10			
単位	品目						
担当課	教育委員会学校給食課	成果指標	給食における地産地消率		達成率	地産地消率は年々上昇している傾向にはありますが、令和5年度は市内の農産物が夏の猛暑による影響で、主にたまねぎ等の重量がある野菜が不作であったため、目標値の達成には至りませんでした。	
			目標	49.5			B
			実績	44.7			
単位	%						

事業評価結果(No.1～No.182)

No.179	事務事業名	資料館施設維持管理事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 各施設における設備の保守点検 施設周辺環境整備(草刈等) 				市の歴史文化の魅力を発信する施設であるとともに、貴重な文化財を後世に保存し伝えていく重要な施設であり、今後も適切に管理しながら維持していきます。		
					指標に係る評価		
事業費	36,782千円	活動指標	施設周辺環境整備回数		達成率	設備等について定められた保守点検を行うとともに、草刈等を定期的に行なうなど、施設の適切な維持に努めています。	
			目標	5			A
			実績	5			
単位	回						
担当課	教育委員会学術課	成果指標	機器等の修繕件数		達成率	保守点検で不具合が見つかったときには、迅速に修繕を行いました。	
			目標	8			A
			実績	8			
単位	件						

No.180	事務事業名	資料館施設運営事業			評価に対する今後の方向性	④方法改善	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 企画展の開催 年5回程度 講座等の開催 年5回程度 学芸員出前講座の開催 年20回程度 学校団体の受入れ並びに学校への出張授業 年30回 				「飛び出せ！学芸員事業」については、市民への認知も少しずつ高まり定着しつつあります。一方で来館者は、市民以外の交流人口が多くを占め、市民の利用が低調です。今後は地域公民館活動等との連携を進め、「飛び出せ！学芸員事業」を実施していくとともに、企画展を開催することで市民の来館者増に努め、「地域で市民に届く学芸活動」を展開します。		
					指標に係る評価		
事業費	4,405千円	活動指標	企画展開催数		達成率	企画展、講座を概ね計画どおりに開催しました。	
			目標	6			A
			実績	6			
単位	回						
担当課	教育委員会学術課	成果指標	施設見学者数		達成率	コロナによる行動制限が廃止されたことにより、各館来館者がもどってきており、昨年を上回る来館者がありました。	
			目標	6,000			A
			実績	7,863			
単位	人						

No.181	事務事業名	浅川兄弟顕彰事業			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 出版物の刊行 企画展の開催 読書感想文コンクールの開催 				基金を活用しながら、今後も出版物などを活用し、浅川兄弟の功績を市民等に広く周知、顕彰していきます。		
					指標に係る評価		
事業費	7,815千円	活動指標	企画展等の開催		達成率	予定通り企画展を開催することができました。	
			目標	1			A
			実績	1			
単位	回						
担当課	教育委員会学術課	成果指標	浅川関係出版物販売数		達成率	抱川市との姉妹都市交流20周年を記念し、写真パネル展と浅川兄弟記念公園の整備を行い、市内だけでなく国外へも兄弟の業績への理解を広めることができました。浅川兄弟学習漫画の販売も堅調で、目標の冊数以上の売り上げがありました。	
			目標	100			B
			実績	122			
単位	冊						

事業評価結果(No.1～No.182)

No.182	事務事業名	環境保全基金活用事業費(増富出張所)			評価に対する今後の方向性	③維持継続	
事業内容	・県立北杜高校のサッカー部を中心とした生徒の協力のもと、地域住民等との協同での、増富地域内の道路・河川等の環境美化活動を行い環境保全を図る。 ・地元小学校の児童を対象として、増富地域の住民等を講師に迎え、地域内に生息する貴重な生物を発見・観察することにより自然の尊さを学んでもらう。				環境美化事業については、学校側と協議をしながら、継続していきます。 環境教育事業については、地元小学校の4年生の校外事業の一環であり、年間計画に含まれている。また振り返りとして子どもからの感想からも、当事業が環境保全について理解度の向上が繋がっている。		
					指標に係る評価		
事業費	163千円	活動指標	環境美化事業実施数		達成率	環境美化事業については、県立北杜高校サッカー部を中心とした生徒により実施することができました。 環境教育事業については、地元住民の方を講師に迎え実施することができました。	
			目標	1			A
			実績	1			
単位	回						
担当課	須玉支所増富出張所	成果指標	環境美化事業参加人数		達成率	地元住民の方を講師として、水田にてドジョウやタニシなど日頃目にしない希少生物の採取を行い、採取したドジョウなどは、学校へ持ち帰り水槽にて観察を続けるなど環境保全向上につながる事業となりました。 また、増富ラジウム温泉の湧水地にも行き、温泉を手に取りラジウムの効能などについて学んでもらうことができました。	
			目標	70			A
			実績	68			
単位	人						